

平成28年6月15日 水曜日

公 報

(号外第19号)



県 章

沖縄県公報

定期発行日

毎週火・金曜日

(当 日 が 県 の 休 日 に
当たるときは休刊とする。)

目 次

公 告

- 財政状況の公表（財政課） 1

公 告

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、平成27年10月1日から平成28年3月31日までの期間に係る財政状況及び公営企業の業務状況を別冊のとおり公表する。

平成28年6月15日

沖縄県知事 翁 長 雄 志

平成28年6月15日 水曜日

公 報

(号外第19号)

発行所 沖縄県総務部 総務私学課 電話番号 098-866-2074

印刷所 文進印刷株式会社 〒901-0306 糸満市西崎町五丁目10番地の14
--

平成28年6月15日 水曜日

公 報

(号外第19号別冊)



県 章

沖縄県公報

定期発行日

毎週火・金曜日

(当 日 が 県 の 休 日 に
当たるときは休刊とする。)

財 政 事 情

目 次

1 平成28年度予算編成の基本的考え方	1
2 平成28年度重点施策	1
3 平成28年度重点施策事業一覧	-13
4 当初予算の規模	-37
5 一般会計予算の概要	
(1) 岁入予算の状況	-38
(2) 岁出予算の状況	-43
6 特別会計予算の概要	-53
(1) 農業改良資金特別会計	-54
(2) 小規模企業者等設備導入資金特別会計	-54
(3) 中小企業振興資金特別会計	-55
(4) 下地島空港特別会計	-55
(5) 母子父子寡婦福祉資金特別会計	-56
(6) 下水道事業特別会計	-56
(7) 所有者不明土地管理特別会計	-57
(8) 沿岸漁業改善資金特別会計	-57
(9) 中央卸売市場事業特別会計	-58
(10) 林業改善資金特別会計	-58
(11) 中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計	-59
(12) 宜野湾港整備事業特別会計	-59
(13) 國際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計	-60
(14) 産業振興基金特別会計	-60
(15) 中城湾港（新港地区）整備事業特別会計	-61
(16) 中城湾港マリン・タウン特別会計	-61
(17) 駐車場事業特別会計	-62
(18) 中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計	-62
(19) 公債管理特別会計	-63
7 公営企業会計予算の概要	
(1) 病院事業会計	-64
(2) 水道事業会計	-65
(3) 工業用水道事業会計	-67
8 平成27年度予算の補正概要	
(1) 岁入予算の補正状況	-69
(2) 岁出予算の補正状況	-71
(3) 特別会計予算の補正状況	-73
9 県債及び一時借入金の状況	
(1) 県債の状況	-74
(2) 一時借入金の状況	-74
10 平成27年度の予算執行状況	
(1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況	-76
(2) 特別会計歳入歳出予算の執行状況	-80
11 平成27年度下半期の公営企業等の業務状況	
(1) 沖縄県病院事業の業務状況	-84
(2) 沖縄県水道事業の業務状況	-89
(3) 沖縄県工業用水道事業の業務状況	-93

1 平成28年度予算編成の基本的考え方

平成28年度は、沖縄21世紀ビジョン基本計画の中間年であり、同計画で掲げた目標すべき将来像の実現に向けた諸施策について、これまでの成果を踏まえ、残された課題に対応するとともに、沖縄振興をさらに加速させるための取組を力強く推進していく重要な年である。

このため、平成28年度予算の編成に当たっては、以下の点を踏まえ、沖縄の持つ優位性と潜在力を生かした施策を戦略的に展開するとともに、一つひとつの施策・事業の効率性や実効性の向上に取り組むこととする。

- (1) 「平成28年度重点テーマ」を踏まえた施策の推進
県の施策全般に通底する基本的かつ重要なコンセプトとして設定された以下の「平成28年度重点テーマ」(平成27年9月15日沖縄県振興推進委員会決定)に沿った施策を重点的に推進することとする。
 - ①アジアを視野に入れた産業の展開へ「アジア経済戦略構想の実現」
 - ②豊かさが実感できる社会へ「新たな状況への対応」
 - ③人口減少の克服と魅力ある地域社会の形成へ「地方創生の推進」
 - ④県民一人一人に豊かな人生を「健康長寿おきなわの復活」
 - ⑤県民の生命や暮らし、美ら島の自然と文化を守る「安全・安心・安らぎの確保」
- (2) 「沖縄県P D C A」及び沖縄振興交付金事業の評価の反映
沖縄21世紀ビジョン基本計画の着実な推進を図るために「沖縄県P D C A」及び沖縄振興交付金事業の評価の検証結果等を適切に反映させ、施策・事業の効果的な推進を図ることとする。
- (3) 「第7次沖縄県行財政改革プラン」の推進
「第7次沖縄県行財政改革プラン」(以下「第7次行財政改革プラン」という。)を着実に推進するとともに、中長期的な視点に立った「選択と集中」を徹底して、限りある財源を効率的かつ重点的に配分することとあわせて、社会経済情勢が常に変化する中、施策・事業の進捗状況や効果を検証し、必要に応じて見直し・改善を図ることとする。

2 平成28年度重点施策

〔基本方針〕

(1) 県政運営に取り組む決意

沖縄県においては、これまで基地問題をはじめ、経済、文化、教育、福祉、保健医療など様々な分野における課題の解決に取り組んでまいりました。辺野古新基地建設に反対し、普天間飛行場の県外移設及び早期返還、危険性の除去に全力で取り組むとともに、経済面では、昨年9月にアジア経済戦略構想を策定しました。北京、香港、マカオ、台湾、シンガポール、ハワイなど近隣諸外国、各地域へトップセールスを実施し、経済・文化交流を促進するとともに、しまくどうばをはじめとするウチナーハン文化の普及促進、子どもたちの学力向上などにも積極的に取り組んできました。

完全失業率や有効求人倍率、小中学校の学力テストにおける全国平均との差など改善の傾向が顕著な指标も出てきており、県政運営の成果は着実にあがりつつあります。しかししながら、課題は未だ山積しています。沖縄県は次なる1年に向けて、拡大するアジアのビジネスチャンスを逸することなく開花・実現するためにスピード感とスケール感をもつて対応してまいります。沖縄のソフトパワーを活用した施設展開をさらに強化し、沖縄のもつ強みを活かして、県経済の発展及び県民生活の充実を図ります。

基地問題については、県民の過重な基地負担の軽減を実現するべく、具体的な取組を着実に実施します。

特に、辺野古の新基地は造らないということを引き続き県政運営の柱にし、普天間飛行場の県外移設を求めてまいります。

世界一危険とも言われる普天間飛行場の固定化は絶対に許されないと考えており、5年内の運用停止を含めた危険性除去について、政府に強く求めています。

今後とも、関係各方面と丁寧に対話を重ね、沖縄県のさらなる飛躍と県民福祉の向上に向け、全力で県政運営に取り組み、「誇りある豊かさ」を実現してまいります。

(2) 沖縄を取り巻く現状の認識

国際社会においては、グローバル化が急速に進行する一方で、国際テロリズムや地域紛争に伴う膨大な数の難民の発生、持続可能な開発と気候変動への対応などが大きな課題となっています。

我が国の経済は、日本銀行及び内閣府の発表によると、景気は一部に弱さもみられるものの、緩やかな回復基調が続いているとされています。他方、アジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気を後退させるリスクもあり、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとされています。また、高齢化を伴う人口減少の時代を迎え、地方創生に向けた取組が全国的に推進されているところです。

沖縄県内の経済は、観光開港連携が前年を上回るなど、堅調な動きを維持し、景気は拡大しています。

平成27年の入城観光客数は、約776万人となり、うち外国人客が約150万人となるなど、過去最高を大きく更新しました。アジア各地との間の直行便数も、平成23年・3月末の週45便から本年1月末には週152便と大幅に伸びており、那覇空港における国際貨物取扱量も、平成20年度の1千800トンから平成26年度の18万5千トンと100倍以上の増加となっています。

また、県内外資系企業による新たなリゾートホテルや大規模商業施設の進出なども続いています。

年平均の完全失業率は、平成26年の5.4パーセントから平成27年には5.1パーセントと改善し、平成27年12月の有効求人倍率も0.91倍と、復帰以降の最高値を5ヶ月連続で更新するなど、雇用情勢は着実に好転しています。

その一方で、求人と求職のミスマッチの解消、若年者等の高い離職率や、従業員の正規雇用化などの雇用の質の改善などが課題となっています。

また、沖縄県の子どもの貧困が深刻な状況にあり、貧困の世代間連鎖の防止などが大きな課題となっていますが、これらを解決に向けて全力で取り組みます。

周辺諸国との関係については、尖閣諸島の問題など厳しい状況もありますが、国において、関係改善に向けた取組も模索されており、沖縄県としても、文化や経済など多面的な分野の交流を通じ、諸国民との信頼の構築を図り、地域の平和と発展に貢献してまいります。

TPP協定については、今後、各において議会承認など国内手続が進むられるとのことであり、国の対応を注視しつつ、県経済及び県民生活への影響を踏まえ、適切に対応してまいります。

東日本大震災の復興支援については、被災県における方針を踏まえ、被災された方々の生活再建に向けた支援を継続します。

(3) 今後の沖縄振興に向けた取組

平成28年度は、沖縄21世紀ビジョン基本計画の中間地点に当たり、これまでの取組の成果を踏まえ、残された課題に対応するとともに、後期5年に向けて、沖縄振興をさらに加速させていくべき重要な年です。これまでの行政評価等の結果を踏まえた中間評価を実施し、必要に応じて基本計画の改定を行い、一層の沖縄の発展につながる施策展開を図ります。

沖縄がもつ地域力、文化力、伝統力、人間力、自然力、離島力、共生力、経済力などをトバワーカーを活かし、「経済発展」、「生活充実」、「平和創造」の3つの視点から、施策を展開します。

「経済発展」については、アジア経済戦略構想の実現に向けて、「アジア経済戦略課」を設置し、推進計画を着実に実施することにより、成長著しいアジアのダイナミズムと連動した観光リゾート産業や情報通信関連産業などのリーディング産業の拡充・強化、国際物流拠点の形成に取り組みます。

また、那覇港の大型クルーズ船に対応した港湾施設整備基地を建設し、航空開港産業クラスターの強化を図るとともに、那覇空港へ航空機整備基地を建設し、航空開港産業クラスターの形成を図ります。

さらに、4万平方メートルの展示スペースを有する大型MICE施設の「中城湾港マリントン地区」への建設に民間活力を導入して取り組み、平成32年度の供用開始を目指します。これにより、本島東海岸地域の振興による県土の均衡ある発展及び沖縄観光のさらなる飛躍につなげます。

「生活充実」については、「しまくとうば」をはじめとするウチナー文化の普及促進をさらに進めます。沖縄が世界に誇る空手については、「空手振興課」を設置し、沖縄伝統空手を独自の文化遺産として保存・継承・発展させるための取組を一層強化するとともに、平成28年度に供用開始する「沖縄空手会館」を拠点として、国内外からの空手家の受け入れ体制の強化や、国際大会等の開催などに取り組み、世界中に1億人いるともいわれる空手愛好家が憧れる「空手発祥の地・沖縄」を世界へ発信します。

新たに30億円の「沖縄県子どもの貧困対策推進基金」を設置し、市町村の実情に応じた取組を支援するなど、子どもの貧困対策を効果的に推進します。また、経済・労働団体や市民団体等で構成する「沖縄県民会議（仮称）」を立ち上げ、県民運動として展開します。

「黄金っ子応援プラン」等を踏まえ、市町村が実施する保育所整備や、認可外保育施設の認可化などへの支援を行い、平成29年度末までの待機児童の解消に向けた取組を推進します。

女性が輝く社会づくりなどにも、市町村と連携して全力で取り組みます。

また、県立北部病院の「地域周産期母子医療センター」認定に向けて、「新生児集中治療室（NICU）」を整備するなど、安全・安心な医療提供体制の整備、充実を図ります。

沖縄の「離島力」の向上に向けて、海底光ケーブルの敷設や、陸上部における超高速

ロードバンド環境の整備により、情報格差の解消を図るとともに、水道広域化による離島地域の水道水の安定供給と料金低減を取り組みます。離島の重要性や魅力に対する認識を深める「島たび事業」を新たに実施し、離島地域の活性化等を図ります。離島の充実的な教育指導が可能となる少人数学級を小学校4年生まで拡大するなど、学校教育の充実に取り組みます。

県外難関大学等へ進学する学生に必要な入学支度金及び月額奨学金を支援する給付型奨学金制度を新たに創設し、大学等進学率の改善を図ります。

また、グローバル人材の育成を目指し、県内高校生の国際的感覚を養う契機とするため、高校生へのバスポート取得支援について意向調査等を行い、実施に向けた取組を進めます。さらに、増加傾向にある特別支援学校の児童生徒の受け入れに応じるために、那覇市内の特別支援学校の設置に向けて取り組み、障害のある児童生徒の教育の充実を図ります。

「平和創造」については、平和の発信、国際交流、国際協力を積極的に展開するとともに、基地問題の解決に全力を尽くし、豊かな生活に導く跡地利用を推進します。

今年10月には、平和を希求する「沖縄の心」を世界に発信し、国際平和の創造に貢献するため、「第8回沖縄平和賞授式」を実施します。

また、世界各国に住む県系人が「オキナワ」に集い、そのルーツ、アイデンティティを確認する「第6回世界のウチナーンチュ大会」を開催します。交流を通してウチナーネットワークを発展・継承することで、沖縄独自のソフトパワーを国内外へ発信し、万津染の精神の次世代への継承、若者の海外への飛躍を促進します。

基地問題について、沖縄県は日米安全保障体制の必要性は理解しています。しかしながら、戦後70年を経た今もなお、国土面積の約6.6ペーセントである沖縄県に約74ペーセントの米軍専用施設が存在する状況は、異常としか言いようがありません。日本の安全保障は、日本国民全体で真剣に考えるべきです。このような沖縄県の主張に対しては、国内外において、理解が広がりつつあります。

普天間飛行場の移設については、引き続き建白書の精神に基づき、辺野古の新基地建設に反対し、県外移設を求めてまいります。昨年3月に返還されたキャンプ端慶観（西普天間住宅地区）の跡地利用については、国、宜野湾市、琉球大学、地主会等の関係者と連携し、国際医療拠点の形成を目指します。平成28年度の県政運営に当たっては、「アジア経済戦略構想の実現」、豊かさが実感できる社会に向けての「新たな状況への対応」、「地方創生の推進」、「健康長寿おきなわの復活」、「安全・安心・安らぎの確保」の5項目を平成28年度の「重点テーマ」として設定し、沖縄振興を力強く推進する施策に取り組みます。

沖縄を取り巻く状況は、今までに大きく変化しています。そのような中、沖縄県の果たすべき役割や使命、責任はきわめて重大です。

沖縄においては、組織や思考の縦割りにとらわれず、県政の重要課題や問題点を共有し、困難な課題に意欲的かつ柔軟、的確に応じる県庁づくりに取り組むとともに、限りある行政資源の下で、より大きな成果を上げる行政運営を進めます。

(4) 内閣府予算

平成28年度内閣府沖縄関係予算については、沖縄振興交付金1,613億円、沖縄科学技術大学院大学開運整費167億円、那覇空港滑走路増設事業費330億円、拠点返還地利用地推

進交付金10億円、沖縄子供の貧困緊急対策事業に要する経費10億円を含む、総額3,350億円が確保されています。

厳しい国家財政状況の中で、各方面の御尽力により次年度沖縄振興予算は所要額を確保されたところです。

沖縄県としては、国及び市町村と連携し、より適切に各種施策を実施してまいります。

〔施策の概要〕

第1 沖縄の「経済」を拓く－経済発展プラン－

【自立経済基盤の創出】

経済振興については、「沖縄県アジア経済戦略構想」の実現に向けて、海外事務所や民間との連携強化をはじめ関連施設を効果的、効率的に展開します。

また、自然環境、文化資源、スポーツ及び農林水産物をはじめとする産業資源の附加值化を促進し、各産業分野において沖縄ブランドの確立を図ります。

【社会資本・産業基盤の整備】

那覇空港については、「経済」を拓くための成長のエンジンと位置付けており、滑走路増設事業を促進するとともに、増大する旅客需要に対応するため、国内線と国際線ターミナルビルを連結する施設の増築を促進するなど、ターミナル機能の拡充・強化を図ります。

那覇港については、総合物流センターの整備を推進するなど、国際交流・物流機能の強化を図ります。

中城湾港については、航路の拡充等や、産業支援港湾としての整備を着実に進めるとともに、クルーズ船の受け入れについても積極的に取り組みます。

本部港については、物流及び人流機能のさらなる向上を図るとともに、大型クルーズ船に対応する岸壁等の整備を推進します。

幹線道路網については、那覇空港自動車道及び沖縄西海岸道路の整備を引き続き促進するとともに、南部東道路等の整備を推進し、本島南北軸・東西軸を結ぶハシゴ道路ネットワークの早期構築に取り組みます。

また、大型MICE施設へのアクセスを円滑にする県道浦添西原線の整備を推進します。沖縄都市モノレールは、首里駅から沖縄自動車道（西原入口）までの延長整備を推進し、平成31年春の開業を目指します。石嶺駅の先行開業についても、関係機関と連携しながら、引き続き検討します。

鉄軌道を含む新たな公共交通システムについては、5つのステップで段階的に検討を進めしており、引き続き県民や市町村等と情報共有を図りながら、平成28年内の計画案策定に向けて取組を進めます。

【沖縄らしい観光リゾート地の形成】

豊かな自然環境、特色ある島々、独自の歴史・文化など、沖縄のソフトパワーを活用した魅力あふれる世界水準の観光リゾート地の形成に取り組み、平成33年度までに観光収入1兆円超、入城観光客数1,000万人超の達成を目指します。

アジア最大の航空会社商談会「ルーツアジア」が、我が国で初めて平成29年3月に沖縄で開催されます。新しい就航地としての沖縄の魅力を発信し、国際航空路線のさらなる拡充を図ります。

大型MICE施設の整備を進めるとともに、集客効果の高い觀光施設の誘致等に取り組みます。

外国人観光客などの情報通信環境の利便性の向上等を図るため、県内フリーWi-Fiの統合環境の整備等に取り組みます。自然・歴史・文化など沖縄固有の資源を活用したエコツーリズムや農林水産業と連携し

たグリーンツーリズム、ブルーツーリズムなどの体験交流型観光を推進するとともに、やんばるの山村資源を取り組みます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えたナショナルチームの強化合宿、事前キャンプ等の誘致や同大会で活躍する県出身選手の育成を図るなど、スポーツコンベンションの推進及び競技力の向上に取り組みます。

【産業の振興と雇用の創出・安定】

情報通信関連産業については、長期的な戦略を構築し、国際競争力を高めるため、官民一体となった沖縄IT産業戦略センター（仮称）の設置に向け取り組みます。また、国際情報通信ハブの形成を目指し、沖縄と首都圏、アジアを直接結ぶ高速通信基盤等を活用したアジアとの双向向ビジネスの展開を支援します。

さらに、先進的なIT技術を活用した研究開発等や他産業との連携による付加価値の高いサービスの創出、高度IT人材の育成を促進します。国際物流拠点の形成に向けて、国際航空物流ハブや海上物流の拡充を進めるとともに、ハブ機能を活用するグローバル企業や物流関連企業の集積を促進します。

また、全国の優れた特産品を迅速にアジアへ届ける流通プラットフォームの構築を推進するとともに、大型国際商談会「沖縄大交易会」を民間と共同で開催します。科学技術の振興については、平成27年度に策定した「沖縄科学技術振興戻ドマップ」をもとに、沖縄科学技術大学院大学、琉球大学及び沖縄工業高等専門学校等を核とする産学官連携のイノベーションシステムを構築し、新事業・新産業を創出する国際的な産業クラスターの形成を推進します。

また、アジアにおける先端医療拠点の形成を目指し、再生医療などの先端医療技術開発や感染症予防ワクチン等の実用化に向けた研究開発の推進など、先端医療技術等の研究基盤を引き続き構築します。

企業誘致については、国際物流拠点産業集積地域や情報通信産業振興地域、経済金融活性化特別地区等の特区や各種税制優遇措置等を活用し、アジア市場にビジネスを開拓する企業等の集積に取り組みます。

県産品の販売促進については、沖縄物産フェアの拡充や県内企業の販路開拓の支援等により、県産品の県外、アジア市場への販路拡大に努めます。好調な観光客の消費需要を着実に取り込み、県内商業の活性化に取り組みます。さらに、海外事務所などのネットワークを有効に活用し、観光誘客、県産品の海外展開、投資誘引等、戦略的な施策を展開します。

また、泡盛などの酒類産業については、サポートイング産業の強化を図るとともに、産官・企業間連携の推進、高度技術の開発、戦略的製品の開発などに取り組みます。県内ものづくり産業の振興については、サポーティング産業の強化を図るとともに、産業官・企業間連携の推進、高度技術の開発、戦略的製品の開発などを引き続き支援するとともに、沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律に基づく酒税軽減措置の延長を求め、県内酒類製造業の振興と経営基盤の強化を図ります。

中小企業・小規模事業者については、市町村や関係機関と緊密に連携し、経営革新や創業の促進、経営基盤の強化、資金調達の円滑化など総合的な支援に取り組みます。クリーンエネルギーの推進については、エネルギーマネジメントシステムの実証や沖縄の地域特性を活かした再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。

また、沖縄－ハイクーリンエネルギー協力に基づく施策を展開し、島しょ型のエネルギー技術開発や関連企業の海外展開及び国際貢献を促進します。

石油製品の安定供給については、県民生活及び経済活動への影響が生じないよう、国と連携して対応してまいります。雇用の安定については、若年者の離職率の高さや求人と求職のミスマッチ等の課題に引き続き取り組みます。雇用の質の改善については、優れた人材育成の取組を行っている企業の認証制度のさらなる活用を促進するとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進、従業員の正規雇用化、働きやすい環境づくりなど待遇改善に取り組む企業への支援など各種施策を展開します。

【農林水産業の振興】

沖縄の地域特性を活かした農林水産業の振興については、戦略品目による拠点産地の形成、生産基盤の整備、6次産業化のほか、「地理的表示保護制度」の活用などにより、さらなるブランド化を推進するとともに、アジアなどへの海外輸出、販路開拓に積極的に取り組みます。

島しょ県の流通条件の負担軽減については、引き続き輸送コストの低減対策を推進するとともに、卸売市場における物流対策の強化を図ります。農地利用についても、新規就農者や法人経営体等扱い手の農地利用拡大に取り組みます。

水産業については、新規漁業就業者を対象とした漁具等の漁業経費の支援等を実施し、漁業就業者の確保・育成に取り組みます。また、漁船が自由かつ安全に操業できる漁場を確保するため、ホテル・ホテル訓練区域における使用制限の解除対象水域の拡大及び対象漁業の拡充を求めてまいります。日台漁業取決めの影響緩和のための基金100億円を活用し、漁業者の安全管理の確保や水産経営の安定化など、水産業の振興に取り組みます。

第2 沖縄の「幸せ」を拓く－生活充実プラン－

【地域力の向上・くらしの向上】

県民一人一人ががんば蘭ティア、NPO活動などへ主体的に参加できる仕組みづくりや、県民や地域組織、企業等の多様な主体が連携した取組を促進します。移住者受入に取り組む市町村の創意工夫を支援するため、沖縄県移住受入協議会を開催し、県と市町村間の連携を強化します。

また、県外都市部において移住フェアを開催するなど、Uターン者や移住者の持続的受入に向けた取組を積極的に推進します。鹿児島県と連携し、奄美との移動やすい環境づくりを進め、奄美群島との交流を促進します。モノレール旭橋駅周辺地区市街地再開発について、平成30年度の事業完了を目指したバスターミナル地区の整備を支援します。

【美ら島の自然環境保全】

「奄美・琉球」の世界自然遺産登録に向け、国や地元自治体等と連携し、やんばる地域の国立公園化や外来種対策など自然環境の保全に取り組みます。新たに「環境再生課」を設置し、沖縄県自然環境再生指針を踏まえた自然環境再生モデル事業に取り組むとともに、サンゴ礁保全に向けたオニヒトデ対策など、自然環境の保全・

再生・適正利用を図ります。

また、絶滅が危惧されるジュゴンの生息状況等の調査を実施し、保護施策のあり方等、希少生物の保全に向けた取組を推進します。
垂れ流し特性を活かした沖縄らしい景観や環境共生型社会の形成を目指した取組を進めるとともに、緑化施策を充実し、全島緑化を推進します。
ゼロエミッション・アイランドに向けて、流域下水道から発生するハイオガスを活用した再生可能エネルギー発電事業を推進します。

また、公共開発による産業廃棄物管理型最終処分場の平成30年度供用開始を目指し、実施設計を進めます。

【誇り高きワチナ文化の普及促進】

「しまくとうば」の次世代への継承については、「しまくとうば」普及推進計画のもと、市町村、学校、団体等と連携し、県民への普及促進に取り組みます。
また、空手の振興に積極的に取り組みます。
組踊、琉球舞踊、沖縄芝居などの伝統文化や、染織物、陶器、漆器などの伝統工芸の後継者育成に取り組むとともに、国内外への発信力の強化を図ります。
沖縄の歴史文化の核となってきた指定文化財の保護に努めるとともに、「沖縄県史」及び「歴代宝案」の編集刊行を取り組みます。
「工芸の杜（仮称）」の整備に取り組み、市場ニーズに対応した製品開発等を行うとともに、県産工芸品の普及、販路拡大を図ります。

【健康福祉社会の実現】

2040年までに平均寿命日本一を取り戻すため、次世代や働き盛り世代の健康づくりのさらなる拡大を図るなど、引き続き健康長寿復活プロジェクトを推進します。
民生委員・児童委員の充足率向上と活動の活性化を図ることも、適切な福祉サービスが利用できる体制を推進します。
生活困窮者の相談支援体制のさらなる充実、地域における関係機関とのネットワークのより一層の強化に取り組みます。
障害者に対する誤解や偏見等をなくす取組を充実させるとともに、地域生活への移行の促進、社会参加、就労支援等の地域生活支援を行います。

【子育て・高齢者施策の推進】

安心して妊娠、出産し、子どもを健やかに育てることができるよう、相談体制等の充実、子ども医療費の助成を行うとともに、低体重児出生率の改善に向けた取組を推進します。
待機児童の計画的な解消や多様なニーズに対応した子育て支援及び保育サービスの充実を図ります。
「沖縄県子どもの貧困対策計画」に基づき、子どもライフステージに即して切れ目のない総合的な子どもの食困対策を推進します。
さらに、要保護児童等への支援やひとり親家庭等の自立支援にも引き続き取り組みます。
高齢者の介護サービスの充実、認知症施策の推進、社会参加の促進等、地域包括ケアシステムを構築するとともに、介護人材の確保に取り組みます。
また、入所待機者の解消に向け、特別養護老人ホーム等の施設整備の支援に取り組みます。

【医療の充実】

「北部地域及び離島緊急医師確保対策基金」等を活用し、医師の確保に取り組むとともに、看護師等保健医療従事者の養成・確保、救急医療体制の充実など、地域医療の充実強化を図ります。

県立病院については、地域の中核病院として、救急医療や小児医療、周産期医療など医療提供体制の安定確保に努めるとともに、持続的な経営健全化に向けて、引き継ぎ、経営改革に取り組みます。

また、新県立八重山病院の平成29年度の開院に向けて整備を進めます。

【安心・安全で快適な社会づくり】

人に優しい交通手段の確保に向けて、IC乗車券の船舶やタクシーへの拡張利用について検討を行います。

住環境の整備については、県営伊蔵田地の新規建設、県営神森団地、南風原団地、新川・真喜良団地等の建替を推進します。
民間住宅の省エネ化やバリアフリー化を図るため、住宅リフォームを促進します。

高齢者等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援を促進します。
少年非行防止対策や「ちゅらさん運動」をはじめとする総合的な犯罪抑止対策や犯罪被害者支援に取り組むとともに、子ども・女性・高齢者等の安全確保や警察安全相談体制の充実、飲酒運転根絶等の交通安全対策を推進します。

DV・ストーカー・性犯罪等の被害未然防止対策を強化するとともに、性暴力被害者支援の充実を図るため、性暴力被害者ワンストップ支援センターのさらなる拡充に努めます。
消費者被害の未然防止と早期救済を図るため、市町村相談体制の充実と消費者への啓発等に継続的に取り組みます。

災害に強い県土づくりのため、老朽化した橋梁の補修や海岸堤防等の改修、また、民間住宅、ホテル、病院等への耐震診断及び改修等に取り組みます。
治水・浸水対策、土砂災害対策及び高潮対策に取り組むとともに、治山対策の推進、潮流の防止、山地災害復旧・予防及び生活環境の保全を図ります。

東日本大震災の教訓を踏まえ、県民の迅速な避難行動のための体制整備や防災意識の向上、国、市町村、民間事業者等との連携による迅速な災害救助や被災者支援に備えた体制の整備等に取り組みます。

安全な水道水を将来にわたって安定的に供給するため、水道施設の計画的な更新・耐震化を推進します。
また、下水道施設の整備拡張や耐震化及び都市の浸水対策に取り組みます。

【離島の向上】

離島地域においては、港湾・空港施設の機能向上をはじめ道路・公園などの社会基盤整備を推進します。

また、情報格差の解消に向けた海底光ケーブルの敷設事業等を推進します。
離島地域の水道広域化に取り組むとともに、船舶での輸送が可能な可搬型海水淡化装置を導入します。
離島航路及び航空路に就航する船舶や航空機の購入等の支援に取り組むなど、交通基盤の整備を推進します。
生活必需品等への輸送経費等の助成については、対象離島を拡大し、割高な生活コスト

の低減に取り組みます。

また、離島航路及び航空路の交通コスト低減や安定した保健医療サービスの提供のほか、寄宿舎「群星（むるぶし）寮」及び交流拠点の機能を併せ持つ沖縄県立難民児童生徒施設の整備に取り組みます。

沖縄離島体験交流促進事業を引き続き実施するとともに、新たに「島たび事業」を実施します。

離島の主要産業であるさとうきびや畜産などの農林水産業の生産性向上、担い手の育成・確保対策を推進し、製糖業の効率化や合理化、経営安定化に取り組むとともに、地元特産品の販売力強化を支援します。

【教育の振興】

学校教育については、少人数学級を拡大するとともに、小中学校のさらなる学力向上を図るため、教員の指導力向上、学力向上の検証システムの構築など、学校の授業改善に取り組みます。また、正規教員率の改善にも引き続き取り組みます。

開拓高校及び球陽高校へ併設型の中学校を設置し、本県を牽引する高い志をもった人材の育成を図るとともに、給付型奨学制度の創設等により、大学等進学率の改善に取り組みます。

また、特別支援教育についても充実を図ります。

特色ある教育を実践し、個性豊かな人材育成に貢献している私立学校を支援し、私学教育の充実、多様な人材の育成を図ります。

家庭教育の充実を図るため、「やーなれー」事業を推進するとともに、地域住民等の参画による学習補助や学校支援、子ども達の放課後の安心・安全な居場所づくり、保護者等向けの家庭教育支援などに取り組みます。

また、不登校、深夜徘徊などについて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等により、未然防止、早期発見及び早期解決に取り組みます。

書環境の充実を図るとともに、「知の拠点」となる新県立図書館の整備を進め、県内全域の公平な教育と文化の発展、生涯学習の振興を図ります。

海外への短期研修に高校生240名、海外留学に高校生や大学生等100名を派遣するなど、グローバル人材の育成に取り組みます。

第3 沖縄の「平和」を拓く－平和創造プラン－

【沖縄から世界へ、平和の発信】

沖縄平和賞授賞式の実施や平和祈念資料館における戦争体験証言等の記録などを通じて、恒久平和を願う沖縄の心を広く国内外へ発信し、次世代への継承を図ります。

沖縄戦の歴史の状況を後世に伝えるため、国と連携し、戦の記録が確実に残るよう取り組みます。

【国際交流・協力の推進】

世界のウチネットワークの強化、拡大及び次世代への継承を図るために、市町村及び各種団体等とも連携して様々な交流を推進します。

芸能や空手に加え、紅型などの伝統工芸、物産等を活用した展覧会、イベントを開催す

るなど、沖縄の個性豊な文化や平和を希求する心を沖縄のソフトパワーとして世界へ発信し、相互理解に努めます。

県内の中学・高校で国際協力出前講座を実施するとともに、JICA沖縄と連携して、高校生を開発途上国へ派遣し、将来的国際協力を担う人材を育成します。

【基地問題の解決と駐留軍用地の跡地利用】

普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立承認については、承認に取り消し得べき瑕疵があるものと認められたため、取り消しており、今後も、あらゆる場において、県の考えが正当であることを主張・立証してまいります。

普天間飛行場の危険性除去については、5年内運用停止を含め危険性除去の方策について、政府と調整してまいります。

日米地位協定については、日米両政府に対して抜本的な見直しを求めるとともに、日米両政府間で締結された環境補足協定については、返還前の早期の入りなど、これまで基地を抱える地元自治体が求めてきたことが重要であり、実効性のある運用を求めてまいります。

オスプレイについては、建白書の精神に基づき、日米両政府に対して配備撤回を求める旨を求めてまいります。

また、米国ワシントンD.C.の駐在員を活用し、基地問題に関する情報収集を行うとともに、辺野古新基地に反対する県民世論及びそれを踏まえた建設阻止に向けた沖縄県の考え方や沖縄の正確な状況を米国政府、連邦議会等へ伝え、基地問題の解決に努めます。

嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還については、統合計画の確実な実施とともに、内容の具体的な説明、跡地利用計画の円滑な実施への配慮、地元意見の聽取の場の設置等を引き続き政府に対して強く求めます。

とりわけ、牧港補給地区については、7年以内の全面返還に向けて、引き続き、政府と調整を進めてまいります。

跡地利用推進法に基づく立入調査の実施等により、普天間飛行場をはじめとする跡地利用計画の策定を促進します。

戦後処理問題については、不発弾処理問題の早期解決に取り組むとともに、沖縄戦の戦没者の遺骨収集の加速化を図ります。

また、所有者不明土地問題については、抜本的解決策を講ずるよう国に求めます。

3 平成28年度重点施策事業一覧

〔新〕 平成28年度に新規に実施する事業
〔☆〕 沖縄振興特別推進交付金を活用した事業 [★] 沖縄振興公社投資交付金を活用した事業

第1 沖縄の「経済」を拓く－経済発展プラン－

事業	概要	課名	当初予算額(千円)	21世紀シニア基幹事業の本質
新 アジア経済戦略推進事業	沖縄県アジア経済戦略構想の有効な在り方等を検討するための調査業務等を行い、アジアをはじめ世界中から人や企業が集まるビジネスへととしての発展を図るための機能構築を行った。	アジア経済幹事課	16,000	3 - (4)
☆ 戰略的課題解決型観光商品等支援事業	沖縄観光の発展を図るために、国内外の観光誘客の拡大・商品(高付加価値型観光)の開発に取り組む民間事業者を戦略的に支援する。	観光振興課	224,692	3 - (2)

【自立経済発展資源の創出】

事業	概要	課名	当初予算額(千円)	21世紀シニア基幹事業の本質
☆ 沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業	コンテンツ制作段階に応じたハンズオン支援により、制作事業者のビジネススキル向上を図り、コンテンツ産業を県の新たな成長産業として振興する。	文化振興課	29,446	1 - (5)
☆ スポーツ・関連産業振興戦略推進事業	スポーツ等への積極的な挑戦を促す。 県産農林水産物の販路拡大とブランド確立を目的に、鮮度保持技術と戦略的取組を図る。	スポーツ振興課	71,815	3 - (6)
☆ 鮮度保持技術と戦略的取組によるブランド確立事業	県が管理する重要な港湾3港、地方港湾55港の改修及び機能向上等を目的として整備を行う。	港湾課	41,807	3 - (7)

【社会資本・産業基盤の整備】

事業	概要	課名	当初予算額(千円)	21世紀シニア基幹事業の本質
那覇空港整備促進事業費	那覇空港における第二滑走路等の早期供用に向けて、国と連携し整備を促進する。	交通政策課	10,852	3 - (1)
那覇港の開発整備と利用の促進等を図るため、那覇港運営組合において、国際海港港湾化を目指す那覇港の整備等を行う。	港湾課	2,440,814	3 - (1)	
新地地区及び背後圏に立地する製造業の活性化を図るため、定期航路に向けた、定期航路の実証実験を行う。沖縄本島中部車両輸送航路に向けた、コンベンションヨン拠点を形成し、緑地等の港湾施設整備を推進する。	港湾課	2,926,980	3 - (1)	
★ 中城湾港の整備	県が管理する重要な港湾3港、地方港湾55港の改修及び機能向上等を目的として整備を行う。	港湾課	1,948,000	3 - (1)
本部港の整備	那覇空港と沖縄自動車道を連絡し、高速交通サービスを提供するため、小規模な港の早期完成を促進する。区間延長約18km。	道路街路課	国直轄	3 - (1)
那覇空港自動車道の整備促進	中南部園城西海岸の地域拠点、広域交流拠点（那覇空港・那覇港）及び高規格幹線道路（沖縄自動車道・那覇港連絡道路）を相互に連絡し、物流の効率化及び交通災害の緩和を図るため、区間延長約50kmの地域高規格道路の整備を促進する。	道路街路課	国直轄	3 - (1)
沖縄西海岸道路の整備促進	那覇港と沖縄自動車道を連絡し、高速交通サービスを提供するため、小規模な港の早期完成を促進する。	道路街路課	国直轄	3 - (1)

【環境・エネルギー・資源の創出】

事業	概要	課名	当初予算額(千円)	21世紀シニア基幹事業の本質
★ ハシゴ道路ネットワークの構築(南部東道路等)	南部東道路、浦添西原線等の幹線道路の整備を推進し、本通り(南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク))の構築を図る。	道路街路課	16,354,674	3 - (1)
沖縄都市モノレール延長整備	現在の首里駅から沖縄自動車道（西原入口）までモノレール(鉄道)を含む新たな公共交通システム導入促進事業	鉄道事業科	14,173,673	3 - (1)
鉄軌道導入の実現に向け、計画案策定の取組を推進する。	交通政策課	161,292	1 - (7)	
☆ 国内需要安定化事業	国内観光客の安定的な確保を図るため、新規需要の開拓や転空路網の拡充を目的とした「ターゲットを特定した季節ごとのきめ細やかなプロモーション」を推進する。	観光振興課	604,949	3 - (2)
☆ 観光誘致対策事業	国内外での訪客プロモーション、観光関連業界・団体とのタイアップ事業等の支援を行う。	観光振興課	136,194	3 - (2)
☆ 新教育旅行推進強化事業	国内修学旅行市場の変化に対応し、安心・安全で快適な旅を提供するため、海外からの教育旅行客に取組む。	観光整備課	175,535	3 - (2)
☆ 沖縄感動体験プログラム実証事業	沖縄観光の季節変動の平準化や滞在日数・観光消費額の増加等による観光産業等の雇用環境の安定化及び地域活性化を目的に策定された「沖縄感動体験プログラム」に基づき、沖縄独自の文化・観光、スポーツ等の地域資源を活用した感動体験モデルの実証を行う。	観光整備課	78,800	3 - (2)
☆ リゾートダイビングアイランド沖縄形形成事業	インバウンドの更なる拡大を図るため、ダイビング事業者の外国人ダイバー受入のための体制整備を図る。	観光振興課	27,607	3 - (2)
☆ クルーズ船プロモーション事業	クルーズ船の寄港を拡大するため、展示会出展や船社への営業活動、情報発信等のプロモーションを実施するとともに、受入体制の強化を推進する。	観光振興課	107,944	3 - (2)
新☆ カップルアドバイザリーシークリムツアリズム拡大事業	カップルアドバイザリーサービス沖縄ラブランディング及び組数の増加、消費額の向上を図る。	観光振興課	79,719	3 - (2)
☆ フィルムマーケティング推進事業	ロケ地としての沖縄の魅力を内外へ発信し、ロケ隊の連携を図ることとともに、ロケ隊の受け入れ強化のため、旭ヶ崎町特別区域計画における映像撮影等を図る。	観光振興課	253,175	3 - (2)
☆ 沖縄再開発地区観光支援施設設置事業	沖縄県国際戦略特別区開発地区に位置すると同時に、旭ヶ崎町の連携を図る。	観光振興課	40,077	3 - (2)
☆ 観光産業実態調査事業	観光関連事業所を対象としたアンケート調査等により、観光産業の現状と課題を把握・分析し、課題解決に向けた施策立案等を行ふ。	観光政策課	10,517	3 - (2)
☆ 観光政策経営強化事業	県内ホテル等について、アドバイザーによる助言を行うとともに、観光客への対応を図る。	観光振興課	22,569	3 - (2)
☆ 観光危機管理推進事業	観光地としての安心・安全を確保するという目標にこだわるため、地域の観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理に関する取組を実施し、県内各地に普及させて拡大を図る。	観光振興課	26,426	3 - (2)
☆ 観光施設等の総合エコ化促進事業	観光関連事業者が行う省エネ設備等の導入を支援することにより、観光施設等における環境対策の推進や施設コストの低減を図る。	環境再生課	143,017	1 - (3)

事業	概要	課名	当初予算額(千元)	2.1世界貿易・外需拡大事業	2.2機械・設備・生産基盤
☆離島観光活性化促進事業	離島観光の振興を図るため、離島の魅力発信や旅行商品の造り込み等のプロモーションを推進する。	福光板興課	320,375	3 - (2)	
☆誰もが生き生き観光まちづくり事業	高齢化社会の到来や、障害者の旅行ニーズが高まる傾向にある中で、高齢者、障害者等の観光客が、沖縄を楽しめるよう必要な体験を図ることも、多様なニーズに対する質の高い観光の実現に寄与する。	福光整備課	14,890	3 - (2)	
☆観光人材育成プラットフォーム構築事業	国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成・確保し、国際観光地としての沖縄の評価確立を図る。	福光板興課	123,882	3 - (2)	
☆沖縄観光国際化ビッグバン事業	空港や港などの主要インフラ整備に併せて、海外市場開拓や集中目標200万台の達成を目指すため、市場特性等を踏まえたプロモーションを推進する。	福光板興課	1,949,598	3 - (2)	
☆戦略的MICE誘致促進事業	国内外からMICE誘致を拡大するため、展示会出展やセミナー開催、情報収集等の基盤を整備するとともに、受入体制の強化を推進する。	福光板興課	314,446	3 - (2)	
☆大型MICE受入環境整備事業	国際でのMICE誘致競争が激化している中、既存施設では対応できない大規模MICEの誘致を促進するため、受入体制を整備する。また、展示会出展やセミナー開催等を通じて、会議室等を最大限活用する。	福光板興課	8,044,290	3 - (2)	
☆外国入観光客受入体制強化事業	第5次沖縄観光振興計画で定める入城観光客に係る目標値を達成に達するため、国際観光地に相応しい国際標準の受入体制を構築する。	福光板興課	256,242	3 - (2)	
☆多言語観光案内サイト整備事業	沖縄県全城的主要観光施設等を対象に、多言語観光案内サイトの統一的な整備を行う。	福光整備課	43,247	1 - (7)	
☆沖縄特例案内土育成事業	沖縄版特例措置法に盛り込まれた沖縄特例通配案内土の育成研究修を実施する。	福光政策課	45,499	3 - (2)	
☆宮古島公園基本設計等事業	普通的観光資源よりも沖縄らしい風景づくりに必要な人材育成や技術開発、良質な公共空間の創出に向けた取組等を行う。	都心面・モノレール課	52,100	1 - (6)	
☆環境共生型観光推進事業	世界自然遺産登録の要件となる「貴重而稀少の保全と持続的利用」を担保するため、登録後の入城者数増加に対するエコツーリズム体制の強化を図り、沖縄観光の資源強化と持続可能な環境共生型観光地づくりを支援し、県全体の意識を醸成し持続可能な環境共生型観光の推進を図る。	福光整備課	27,666	3 - (2)	
☆ウェルネスリゾート構築推進事業	沖縄の自然環境や健康保養施設等を活用したウェルネスリゾート地としての体制を構築するため、エコツーリズム等に関連した事業に先進的に取り組む事業者等の支援を行う。	福光板興課	20,807	3 - (2)	
☆文化観光戦略推進事業	沖縄の特色ある文化・芸能等を観光資源として活用した観光振興の取組を促進する。	文化振興課	83,342	1 - (5)	
				3 - (2)	3 - (4)
				3 - (4)	3 - (4)
				3 - (4)	3 - (4)

【産業の振興と雇用の創出・安定】

☆新業態セグメント開拓事業	新業態セグメントとみなされた沖縄IT産業（反転）の設立による国際競争力の向上を図るため、設立に向けた取組を進めます。	情報産業振興課	36,420	3 - (3)
☆新アジアITビジネス開拓事業	県内IT企業のアジア向けビジネスの展開や、アジアIT企業との連携・協働による国内外向けビジネスの創出など、アジアのネットワークの構築や、ブリックE等の人材育成を支援するとともに、これら企業や人材等の集積環境を整備する。	情報産業振興課	118,656	3 - (3)
☆他産業との連携による産業の高度化・活性化	他産業との連携による産業の高度化・活性化	情報産業振興課	150,485	3 - (3)
☆高密度情報通信施設人材の育成	県内ITエンジニアの知識や技術力の高度化・強化を図るために、新規開拓及び観光産業等の他産業と連携・協業する取組を支援する。	情報産業振興課	137,022	3 - (3)
☆新国際物流拠点商業施設地盤貸	国際物流拠点商業施設地盤の賃貸工場を整備し、立地する企業の初期投資の縮減や早期稼業を支援する等、県内の製造業及び卸売業の振興を図る。	企業立地推進課	846,613	3 - (4)
☆航空機整備基地整備事業	那覇空港に航空機整備事業用の各納期施設等を整備することにより、航空機整備事業の誘致とともに、同産業に開拓する企業の集積を促進し、航空開港産業クラスターの形成を図る。	企業立地推進課	2,200,000	3 - (4)

事業		概要		業種		概要		課名		当期予算額 (千円)		2.1記載シナリオ 基準	
☆ 知的・産業クラスター形成に向けた研究拠点の構築	沖縄科学技術大学や琉球大学、県内外の大学・研究機関・企業等とのネットワーク構築強化、県内各大学・研究機関・企業等とのネットワーク構築強化、県内外の大学・研究機関・企業等とのネットワーク構築強化	科学技術振興課	1,184,891	3 - (5)	新地域商業活性化支援事業	商店街等の活性化を図るために、組織強化、活性化事業の策定及び活性化事業の支援を行う。	中小企業支援課	16,000	3 - (8)				
☆ 新産業研究開発支援事業	沖縄の特性を生かして新たにIT・サービス等の分野で海外に展開しようとする県内企業等に対する経費を補助するなどとともに、調査結果を踏まえた海外への販路拡大、海外展開支援を行う。合わせて、海外展開に必要な知識の提供を行う。	産業政策課	371,695	3 - (5)	新外ネットワークの構築	北京、上海、香港、台湾区及びシンドゥードラゴン等の貿易所の設置並びに委託駐在員の配置により、毎シンドゥードラゴン等を推進する。	アジア経済振興課	196,489	3 - (4)			3 - (2)	
☆ ベンチャーエンターナメントアワード支援事業	沖縄の特徴を生かして新たにIT・サービス等の分野で海外に展開しようとする県内企業等に対する経費を補助するなどとともに、調査結果を踏まえた海外展開支援を行う。合わせて、海外展開に必要な知識の提供を行う。	産業政策課	87,516	3 - (4)	戦略的基礎技術導入促進事業	県内企業のみでは実施することが難しい高度な技術について、県内企業が連携して研究開発を行ふことによって、様々な産業分野への普及効果が期待できる事例的な基盤技術を蓄積する。	ものづくり振興課	121,920	3 - (9)			4 - (1)	
☆ ライフスタイルイノベーション創出推進事業	大学等の有望な研究シーズを活用し、県内外の大学等研究機関と県内企業のマッチング支援や産学共同研究開発を実施する。	産業政策課	186,177	3 - (5)	戦略的製品開発支援事業	県内製造業に還元できるものづくり基礎技術の強化を図り、研究開発で蓄積した技術の事業化を促進するため、県内でのづくり企業に対する細やかな技術開発支援プロセスを実践する。	ものづくり振興課	151,000	3 - (9)				
☆ 先端医療産業開拓拠点形成事業	沖縄県の再生医療産業の競争力強化のため、臨床用3Dプリンタ等及び搬送・冷却技術の開発を行う。	産業政策課	289,597	3 - (5)	新健食食品ブランド化推進事業	地城資源や特性を活用したことにより、本県における競争力のあるものづくり産業を促進する。	ものづくり振興課	384,690	3 - (9)				
☆ 沖縄県医療産業競争力強化事業	我が県の医療産業を、観光、IT及び物流に繋ぐ基幹産業に育成するため、医薬品等の医療製品の開発を加速する技術の確立、商品化を行い、医療製品開発基盤の構築を目指すベンチャー等を支援する。	産業政策課	218,056	3 - (5)	流域抱盛県外展開強化事業	地城資源の開拓を図ることにより、本県における競争力のあるものづくり産業を促進する。	ものづくり振興課	79,784	3 - (9)				
☆ 企業誘致推進事業	空港及び港湾の物流機能を活用した高付加価値型のものづくり産業等の集積を図るため、海外企業が国内への投資、法的問題等についてサポートを行う窓口を設置する。	企業立地推進課	251,023	3 - (4)	中小企業課題解決・地域連携推進事業	泡盛製造業を県経済振興に寄与する移出型産業として成長させること目的として、泡盛業界の成長競争力を支援するため、多角的な取組を行い、県外展開を強化する。	ものづくり振興課	110,186	3 - (9)				
☆ 新海外ビジネス受入体制構築事業	海外企業の誘致等を促進するため、海外企業が訪問や取扱機関のPR等を通じて積極的な企業説明会を開催する。	土木総務課	27,336	3 - (8)	中小企業課題解決・推進事業	県内の中小企業者が抱える経営上の課題や業界課題の解決及び技術革新等による経営基盤強化・企業販路開拓等に取り組むことを目的として、知的資産を活用した経営担当者を中心とした、如的資産活用を広く浸透させるため、本経営手法を支援できる支援員の養成を行う。	中小企業支援課	825,048	3 - (8)				
☆ 沖縄建設産業グローバル化推進事業	新たな市場として期待されるアジア等の海外市場への参入を促進するため、海外展開へ意欲ある企業への支援を行い、県内建設企業の受注機会拡大を図る。	土木総務課	33,000	3 - (4)	企画価値可視化促進事業	県内の中小企業が抱える経営上の課題や業界課題の解決及び技術革新等による経営基盤強化・企業販路開拓等に取り組むことを目的として、知的資産を活用した経営担当者を中心とした、如的資産活用を広く浸透させるため、本経営手法を支援できる支援員の養成を行う。	中小企業支援課	33,850	3 - (8)				
★ 工業用水道設備整備事業	工業用水を安定的に供給するため、老朽化した工業用水道施設を計画的に更新し、あわせて耐震化を推進する。	施設計画課	49,858	3 - (9)	県単融資事業	県内中小企業の支援のため、事業活動に必要な資金の融資、金利の引下及び信用保証料の負担軽減を図る。	中小企業支援課	11,944,990	3 - (8)				
☆ 次世代アントレpreneur人才培养推進事業	沖縄の産業や地域を牽引し、新たな事業等を創出するエンジニアとなる起業家マインド（アントレpreneur）を有する人材を継続的に育成し、県内企業等との連携を作りを推進する。	産業政策課	34,400	3 - (8)	クリーンエネルギーの導入拡大に向けた取組	再生可能エネルギーやまだ十分に活用されていない地産エネルギーの導入拡大等を促進するための事業を実施する。	中小企業支援課	772,680	1 - (3)				
☆ 県内事業者の販売力強化	県産品の県外（国内）市場への販路拡大の総合的な支援を行なう。	アジア経済振興課	254,656	3 - (9)	新地中熱全般事業	未利用エネルギーである地中熱を活用した省エネ技術の開発、普及を実施することにより、地球温暖化対策として、酸性雨削減に寄与する。	環境再生課	27,310	1 - (3)				
☆ 沖縄型総合産業支援拠点の整備	求職者や事業主等への総合的な支援を行う「グランジョブセントサービス」において、個々のニーズに対応したランクトップサービスを実施する。	雇用政策課	547,665	3 - (10)	☆								

事業		概要		業種		概要		課名		当期予算額 (千円)		2.1記載シナリオ 基準	
☆ 知的・産業クラスター形成に向けた研究拠点の構築	沖縄科学技術大学や琉球大学、県内外の大学・研究機関・企業等とのネットワーク構築強化、県内各大学・研究機関・企業等とのネットワーク構築強化	科学技術振興課	1,184,891	3 - (5)	新地域商業活性化支援事業	商店街等の活性化を図るために、組織強化、活性化事業の策定及び活性化事業の支援を行う。	中小企業支援課	16,000	3 - (8)				
☆ 新産業研究開発支援事業	沖縄の特性を生かして新たにIT・サービス等の分野で海外に展開しようとする県内企業等に対する経費を補助するなどとともに、調査結果を踏まえた海外展開支援を行う。合わせて、海外展開に必要な知識の提供を行う。	産業政策課	371,695	3 - (5)	新外ネットワークの構築	北京、上海、香港、台湾区及びシンドゥードラゴン等の貿易所の設置並びに委託駐在員の配置により、毎シンドゥードラゴン等を推進する。	アジア経済振興課	196,489	3 - (4)			3 - (2)	
☆ ベンチャーエンターナメントアワード支援事業	沖縄の特性を生かして新たにIT・サービス等の分野で海外に展開しようとする県内企業等に対する経費を補助するなどとともに、調査結果を踏まえた海外展開支援を行う。合わせて、海外展開に必要な知識の提供を行う。	産業政策課	87,516	3 - (4)	戦略的基礎技術導入促進事業	県内企業のみでは実施することが難しい高度な技術について、県内企業が連携して研究開発を行ふことによって、様々な産業分野への普及効果が期待できる事例的な基盤技術を蓄積する。	ものづくり振興課	121,920	3 - (9)			4 - (1)	
☆ ライフスタイルイノベーション創出推進事業	大学等の有望な研究シーズを活用し、県内外の大学等研究機関と県内企業のマッチング支援や産学共同研究開発を実施する。	産業政策課	186,177	3 - (5)	戦略的製品開発支援事業	県内製造業に還元できるものづくり基礎技術の強化を図り、研究開発で蓄積した技術の事業化を促進するため、県内でのづくり企業に対する細やかな技術開発支援を行う。	ものづくり振興課	151,000	3 - (9)				
☆ 先端医療産業開拓拠点形成事業	沖縄県の再生医療産業の競争力強化のため、臨床用3Dプリンタ等及び搬送・冷却技術の開発を行う。	産業政策課	289,597	3 - (5)	新健食食品ブランド化推進事業	地城資源や特性を活用したことにより、本県における競争力のあるものづくり産業を促進する。	ものづくり振興課	384,690	3 - (9)				
☆ 沖縄県医療産業競争力強化事業	我が県の医療産業を、観光、IT及び物流に繋ぐ基幹産業に育成するため、医薬品等の医療製品の医療器具を開発する技術の確立、商品化を行い、医療製品開発基盤の構築を目指すベンチャー等を支援する。	産業政策課	218,056	3 - (5)	流域抱盛県外展開強化事業	泡盛製造業を県経済振興に寄与する移出型産業として成長させること目的として、泡盛業界の成長競争力を支援するため、多角的な取組を行い、県外展開を強化する。	ものづくり振興課	79,784	3 - (9)				
☆ 企業誘致推進事業	空港及び港湾の物流機能を活用した高付加価値型のものづくり産業等の集積を図るため、海外企業が訪問や取扱機関のPR等を通じて積極的な企業説明会を開催する。	土木総務課	251,023	3 - (4)	中小企業課題解決・地域連携推進事業	県内の中小企業者が抱える経営上の課題や業界課題の解決及び技術革新等による経営基盤強化・企業販路開拓等に取り組むことを目的として、知的資産を活用した経営担当者を中心とした、如的資産活用を広く浸透させるため、本経営手法を支援できる支援員の養成を行う。	中小企業支援課	825,048	3 - (8)				
☆ 新海外ビジネス受入体制構築事業	海外企業の誘致等を促進するため、海外企業が国内への投資、法的問題等についてサポートを行う窓口を設置する。	土木総務課	33,000	3 - (4)	企画価値可視化促進事業	県内の中小企業が抱える経営上の課題や業界課題の解決及び技術革新等による経営基盤強化・企業販路開拓等に取り組むことを目的として、知的資産を活用した経営担当者を中心とした、如的資産活用を広く浸透させるため、本経営手法を支援できる支援員の養成を行う。	中小企業支援課	33,850	3 - (8)				
☆ 沖縄建設産業グローバル化推進事業	新たな市場として期待されるアジア等の海外市場への参入を促進するため、海外展開へ意欲ある企業への支援を行い、県内建設企業の受注機会拡大を図る。	土木総務課	27,336	3 - (8)	中小企業等の総合支援の推進	中小企業に図る。財筋向正面に促進するため、知的資産を活用した経営担当者を中心とした、如的資産活用を広く浸透させるため、本経営手法を支援できる支援員の養成を行う。	中小企業支援課	22,355	3 - (8)				
★ 工業用水道設備整備事業	工業用水を安全的に供給するため、老朽化した工業用水道施設を計画的に更新し、あわせて耐震化を推進する。	施設計画課	49,858	3 - (9)	県単融資事業	中小企業に図る。財筋向正面に促進するため、知的資産を活用した経営担当者を中心とした、如的資産活用を広く浸透させるため、本経営手法を支援できる支援員の養成を行う。	中小企業支援課	9,397	3 - (8)				
☆ 次世代アントレpreneur人才培养事業	沖縄の産業や地域を牽引し、新たな事業等を創出するエンジニアとなる起業家マインド（アントレpreneur）を有する人材を継続的に育成し、県内企業等との連携を作りを推進する。	産業政策課	34,400	3 - (8)	クリーンエネルギーの導入拡大に向けた取組	未利用エネルギーである地中熱を活用した省エネ技術の開発、普及を実施することにより、地球温暖化対策として、酸性雨削減に寄与する。	環境再生課	27,310	1 - (3)				
☆ 県内事業者の販売力強化	県産品の県外（国内）市場への販路拡大の総合的な支援を行なう。	アジア経済振興課	254,656	3 - (9)	新地中熱全般事業	求職者や事業主等への総合的な支援を行う「グランジョブセントサービス」において、個々のニーズに対応したランクトップサービスを実施する。	雇用政策課	547,665	3 - (10)				

事業	概要	課名	当初予算額(千円)	2.1予算額(千円)	2.1予算額(千円)
☆雇用機会の創出、ミスマッチの解消	若年者や中高年、一人親世帯等の求職者の様々なニーズを提供し、効果的な支援を行なう。	雇用政策課	338,950 3-(10)	338,950 3-(10)	3-(7)
☆県外・海外就職へのチャレンジ	高校生の県外インター・シップ派遣や県内年長者の海外ジョブトレーニング等、県外や海外への就職希望者を対象に支援を行なう。	雇用政策課	95,098 3-(10)	95,098 3-(10)	3-(7)
☆新規学卒者の就職支援	県内の高校生や大学生等を対象とした企業説明会や研修会等を実施し、就職活動の支援を行なう。	雇用政策課	296,544 3-(10)	296,544 3-(10)	3-(7)
☆就業意識の向上	完全失業率を全国並に改善するため「みんなでジョブ運動」をはじめとした取り組みを企業や学校・教育機関・行政機関等の連携により実施し、県民一人一人の就業意識の醸起を図る。	雇用政策課	193,313 3-(10)	193,313 3-(10)	3-(7)
☆就職活動キックオフ事業	県立高等学校の卒業生の就職実践力の向上やキャリア教育コーディネーター一職事業により、高校卒業時ににおける進路未定者の減少に資する。	県立学校教育課	169,580 5-(3)	169,580 5-(3)	3-(7)
☆キャリア教育支援事業	教員のキャリア教育実践力の向上やキャリア教育コーディネーター一職事業により、高校卒業時ににおける進路未定者の減少に資する。	県立学校教育課	18,069 5-(3)	18,069 5-(3)	3-(7)
技能五輪全国大会・アビリティック全国大会他事業	技能五輪全国大会・全国アビリティックの平成30年度沖縄開催に向け、実施計画策定・選手育成等の準備を行う。	労働政策課	44,810 3-(10)	44,810 3-(10)	3-(7)
職業能力開発の充実	雇用訓練機関において、雇用訓練定員・雇用ニーズの高い職業訓練講座を実施する。	労働政策課	659,893 3-(10)	659,893 3-(10)	3-(7)
☆雇用環境の改善	「人材育成企業認証制度」や「非規従従業員の正規雇用化」等に取り組み、県内企業の雇用環境の改善を促進する。	労働政策課	132,448 3-(10)	132,448 3-(10)	3-(7)
☆女性のおしごと応援事業	仕事を両立しながら充実した生活を営むことができるよう、働きやすいたる職場環境の整備徹底のため、セミナーなど開催し、雇用の質の向上を図るため、ライフスタイルに対する支援やプログラム作成等を行う。	労働政策課	8,963 3-(10)	8,963 3-(10)	3-(7)
新規中小企業の非正規労働者等の待遇改善事業	県内中小企業の非正規労働者等の待遇改善を図るために、専門家による裁量規則の見直し等を支援するとともに、使用者向けセミナーの開催により労務管理能力の向上等を図る。	労働政策課	46,677 3-(10)	46,677 3-(10)	3-(7)
☆農業生産基盤整備	畜産特性等を生かした特色ある農林水産業の振興を図るために、地域特性に適合した基盤整備を推進する。	農地農村整備課	30,165 3-(10)	30,165 3-(10)	3-(7)
☆農地の保全強化	農地及び農業用施設に対する自然災害の発生を未然に防止する。	農地農村整備課	363,917 2-(7)	363,917 2-(7)	3-(7)
☆水産生産基盤整備事業	水産物の生産拠点である漁港において、漁港施設を整備する。	漁港漁場課	2,246,014 3-(7)	2,246,014 3-(7)	3-(7)

【農林水産業の振興】

さとうきびの生産支援	さとうきびの生産支援と品質向上のため、機械化一貫作業体系の確立、生産法人の育成及び新品种の普及を推進し、さとうきび農家の経営の安定化を図る。	糖業農産課	190,048 3-(7)	190,048 3-(7)
☆製糖事業者の支援	分蜜體製造事業者の経営安定化のために、気象災害等影響緩和対策、製造合理化対策等を支援する。	糖業農産課	1,467,006 3-(7)	1,467,006 3-(7)

事業		概要		課名	当期予算額(千元)	2.1 重点計画 基盤
☆ 6次産業化の推進	6次産業化サポートセンターの設置や6次産業化の取組に係る費用の一部補助など、6次産業化推進を図る。	流通・加工推進課	242,155	3 - (7)		
☆ 県産農林水産物輸出力強化事業	海外市場における県産農林水産物の販路拡大及び定番化を目指し、商談会やプロモーション等を実施する。	流通・加工推進課	44,715	3 - (7)		
☆ 地産地消の推進	国内外における県産食肉のブランド力強化及び販売促進を図るために、トレーサリティシステムの運用を行う。	畜産課	143,305	3 - (7)		
☆ 農林水産物流通条件不利益解消事業	県内における県産食肉の流通基盤強化と流通促進を図ることも、港湾と本州間の輸送費の一部に対する補助を行う。	流通・加工推進課	58,242	3 - (7)		
☆ 農地中間管理事業	農地の中間受け皿となる農地で中間管理機械が難農地等から農地を借り受けし、認定農業者等へ貸付けを行う活動を行なう。	農政経済課	165,251	3 - (7)		
☆ 耕作放棄地対策	荒廃した耕作地を引き受けた農家等が新たに農業生産活動を行うために必要な生産性や土づくり等、耕作放棄地等を再生するための取組を総合的に支援し、農地の確保及びその有効利用を図る。	村づくり計画課	76,961	3 - (7)		
☆ 新規就農者の育成・確保対策	農業就農の手の育成・確保のため、中長期的な一貫支援システムの構築、青年の就農における就農前後の研修及び就農後との所持を確保する。	農地支援課	1,068,393	3 - (7)		
☆ 管理担当手育成総合整備事業	未利用・低利用地を地盤の狙いに集積し、萬葉栽培園の西熱帯地域の恵まれた自然条件を活かした自給園附生産機能を整備することにより、飼養業に立脚した安定的な畜産体を育成し、地域農業の活性化を図る。	畜産課	214,491	3 - (7)		
☆ 未来のマリン・ハーバー確保、育成一貫支援事業	新規就農者の定着及び将来的な狙いとした水産教室、高校生を対象とした新規漁業就業業者に対する手の育成・確保、育成一貫支援事業の安全確保するため、広域の通信アリヤを確保できる無線機の設置等を支援する。	水産課	55,594	3 - (7)		
☆ 漁業者の安全営業の確保を支援する事業	漁業者の生命・財産等の安全を確保するため、広域の通信アリヤを確保する無線機の設置等を支援する。	水産課	79,000	3 - (7)		
☆ 持続的な漁業生産縮減拡大ためのマーケティング支援事業	漁業生産額を拡大するため、策定した魚種別のマーケティング戦略に基づき、漁業者等の販路開拓等を実施し、県産魚介類の魚価向上及び消費拡大を図る。	水産課	40,589	3 - (7)		
【美ら島の自然環境保全】						
☆ 世界自然遺産登録維持事業	奄美・旗峰県自然環境保全地のうち、やまとばる・奄美島地帯の適正な保全管理を推進するための地盤別行動計画等の策定技術の普及啓発、ボスター等を制作し普及推進する。また、希少種等の生物保護等の現況調査や対策検討を行なう。	奄美・旗峰県自然環境保全地のうち、やまとばる・奄美島地帯の適正な保全管理を推進するための地盤別行動計画等の策定技術の普及啓発、ボスター等を制作し普及推進する。また、希少種等の生物保護等の現況調査や対策検討を行なう。	自然保護課	100,491	1 - (1)	
☆ マンガース対策事業	北部地域におけるマングースの侵入防止及び捕獲を徹底し、希少種等の生態系分布域の回復を図る。	自然保護課	103,705	1 - (1)		
☆ 沖縄県自然環境再生モデル事業	沖縄らしい自然環境を次世代に継承するため、平成27年3月にサンゴ礁の生態系の保全・再生を図るために、実証事業やオニヒトデの繁殖などを実施する。	環境再生課	29,224	1 - (1)		
☆ サンゴ礁の保全再生	サンゴ礁の生態系の保全・再生を図るため、実証事業やオニヒトデの繁殖などを実施する。	自然保護課	266,959	1 - (1)		
☆ 沖縄県自然環境再生モデル事業	赤土等の流出防止活動を行なう団体への財政支援並びに「沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」に基づく「沖縄県赤土等流出防止条例」により、赤土等流出防止対策を推進する。	環境保全課	228,080	1 - (1)		
☆ 自然環境に配慮した農業	農地における赤土等流出防止対策を推進し、自然環境の保全を図る。	農地農場整備課	1,147,743	1 - (1)		
★ 新ジユゴン保護対策事業	花と緑の美ら島づくりをスローガンとして、2030年までの企画化粧品運動を効率的かつ総合的に推進するため、緑化の普及や観光振興に貢献する県民推進会議やイベントなどを開催する。	自然保護課	10,500	1 - (1)		
★ 沖縄ラージフィッシュショノミ	沖縄らしい風景街づくりの観光点から、花木等を設置し、重点管理を行うことで観光地沖縄をアピールする。	道路管理課	490,000	1 - (6)		
☆ 沖縄県再生可能エネルギー等導入推進事業	災害に強く、低炭素な地盤づくりを推進するため、県内の防災拠点や避難所等への太陽光発電や蓄電池等の導入を支援する。	環境再生課	268,352	1 - (3)		
☆ 沖縄県下水道事業における再生可能エネルギー発電事業	県流域下水道事業における再生可能エネルギー発電事業を実施する。	下水道課	-	1 - (2)		

事業		概要		課名	当期予算額(千元)	2.1 重点計画 基盤
☆ 6次産業化の推進	6次産業化サポートセンターの設置や6次産業化の取組に係る費用の一部補助など、6次産業化推進を図る。	流通・加工推進課	242,155	3 - (7)		
☆ 県産農林水産物輸出力強化事業	海外市場における県産農林水産物の販路拡大及び定番化を目指し、商談会やプロモーション等を実施する。	流通・加工推進課	44,715	3 - (7)		
☆ 地産地消の推進	国内外において県産食肉のブランド力強化及び販売促進を図るために、トレーサリティシステムの運用を行う。	畜産課	143,305	3 - (7)		
☆ 農林水産物流通条件不利益解消事業	県内における県産食肉の流通基盤強化と流通促進を図ることも、港湾と本州間の輸送費の一部に対する補助を行う。	流通・加工推進課	58,242	3 - (7)		
☆ 農地中間管理事業	農地の中間受け皿となる農地で中間管理機械が難農地等から農地を借り受けし、認定農業者等へ貸付けを行う活動を行なう。	農政経済課	165,251	3 - (7)		
☆ 耕作放棄地対策	荒廃した耕作地を引き受けた農家等が新たに農業生産活動を行うために必要な生産性や土づくり等、耕作放棄地等を再生するための取組を総合的に支援し、農地の確保及びその有効利用を図る。	村づくり計画課	76,961	3 - (7)		
☆ 新規就農者の育成・確保対策	農業就農の手の育成・確保のため、中長期的な一貫支援システムの構築、青年の就農における就農前後の研修及び就農後との所持を確保する。	農地支援課	1,068,393	3 - (7)		
☆ 管理担当手育成総合整備事業	未利用・低利用地を地盤の狙いに集積し、萬葉栽培園の西熱帯地域の恵まれた自然条件を活かした自給園附生産機能を整備することにより、飼養業に立脚した安定的な畜産体を育成し、地域農業の活性化を図る。	畜産課	214,491	3 - (7)		
☆ 未来のマリン・ハーバー確保、育成一貫支援事業	新規就農者の定着及び将来的な狙いとした水産教室、高校生を対象とした新規漁業就業業者に対する手の育成・確保、育成一貫支援事業の安全確保するため、広域の通信アリヤを確保できる無線機の設置等を支援する。	水産課	55,594	3 - (7)		
☆ 漁業者の安全営業の確保を支援する事業	漁業者の生命・財産等の安全を確保するため、広域の通信アリヤを確保する無線機の設置等を支援する。	水産課	79,000	3 - (7)		
☆ 持続的な漁業生産縮減拡大ためのマーケティング支援事業	漁業生産額を拡大するため、策定した魚種別のマーケティング戦略に基づき、漁業者等の販路開拓等を実施し、県産魚介類の魚価向上及び消費拡大を図る。	水産課	40,589	3 - (7)		

第2 沖縄の「幸せ」を拓く－生活充実プラン－

【地域力の向上・くらしの向上】

事業		概要		課名	当期予算額(千元)	2.1 重点計画 基盤
☆ 移住定住促進事業	地域の世話役養成塾や移住に関するシンポジウムの開催、移住フェアへの出展等を行うことで、移住応援活動のマッチングを実施する。	地域・離島課	27,770	2 - (7)		
☆ 新生再生可能エネルギー発電事業	県流域下水道事業における再生可能エネルギー発電事業を実施する。	下水道課	-	1 - (2)		

事業		概要		概要		課名		当初予算額 (千円)	2.中期計画 基準額
【健康福祉社会の実現】									
建設リサイクル（ゆいくる）制度活用事業	廃棄物の減量化など環境負荷を低減する循環型社会を構築するため、県内では生産の廃棄物（ゆいくる材）を認定し、公共工事等において利用推進を図る。	技術・建設業課	24,361	1 - (2)	新「みんなのヘルスアカション創出事業」	働き盛りの世代（20歳～64歳）の肥満やメタボ、弁当・物語等の食生活における健康問題を解決するため、弁当・物語等の食品において、市場開拓及びキャンペーンを実施し、健筋的な商品の供給により、健筋な食生活を実現しやすい環境を促進する。	健康長寿課	70,000	2 - (1)
公共開与施設事業	地域の理解を得て、公共開与による施設整備物管理最終処分場の整備を推進する。	環境整備課	163,737	1 - (2)	新「働き盛り世代の食育環境向上事業」	働き盛りの世代（20歳～64歳）の肥満やメタボ、弁当・物語等の食生活における健康問題を解決するため、弁当・物語等の食品において、市場開拓及びキャンペーンを実施し、健筋な食生活を実現しやすい環境を促進する。	健康長寿課	15,154	2 - (1)
【誇り高きウチナー文化の普及促進】									
☆しまくとうば普及事業	次世代～しまくとうばの普及・維承を図るため、しまくとうば普及推進会議等の全県的な取り組みを行う。	文化振興課	54,185	1 - (4)	☆沖縄空手会館の建設	沖縄の伝統空手を独自の文化遺産として保存・継承・発展させることもして、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信するための拠点として、沖縄空手会館を建設する。	空手振興課	1,175,373	4 - (1)
☆沖縄伝空手道連承・差戻事業	沖縄の伝統空手を保存・継承・発展させるため、国際ミニーナーの開催や指導者の海外派遣を行うとともに、沖縄伝空手道の中長期的施設展開をするための調査・検討等を行う。	空手振興課	72,147	1 - (4)	☆沖縄文化活性化支援事業	地域の伝統芸能、文化の保存継承及び芸術文化の創造送信を行なうため、文化発信交流拠点を活用する。	文化振興課	133,185	1 - (4)
☆アーツマネージャー育成事業	文化芸術交流拠点整備事業のものとするため、文化発信交流拠点を行なう。	文化振興課	8,610	1 - (4)	☆アーツマネージャー育成事業	文化芸術活動を支えるマネジメント人材を育成するため、実践的な講座を開催するとともに県内外への派遣研修を行う。	文化振興課	31,499	1 - (5)
☆多文化共生施設運営事業	県民と在住外国人が相互理解し、他に生存できるようにするため、日本語の理解力や自立の力の育成等により、生活に支障をきたしている在住外国人の自立の支援及び在住外国人を対象に受け入れる環境づくりを行う。	文化交流課	4,401	4 - (1)	☆琉球王国外交文書等の編集刊行及びデジタル化事業	琉球史の教育への活用や研究の発展等を図るために、琉球王国外交文書等を収集するため、琉球王国外交文書等の編集刊行を行うとともに、保存・活用のためのデジタル化・データ化を行う。	文化財課	44,757	1 - (4)
☆「みんなの文化財図鑑刊行事業	沖縄県内の指定文化財の教育普及を図るため、名称、所在、説明等を掲載した本を刊行する。	文化財課	12,640	1 - (4)	☆琉球王國文化遺産集積・再興事業	琉球王國の美術工芸品など現在では失われた当時の製作技術（手技）を伝承する。琉球王國の美術・美術館の魅力アップに資する各種取組を実施し、県民はもとより県外、海外観光客の来館者数の大増加を図る。	文化振興課	152,695	1 - (4)
☆博物館・美術館魅力アップ事業	博物館・美術館の魅力アップに資する各種取組を実施し、県民の意識の変化等を図るために、その成果を発表する。	文化振興課	93,772	1 - (4)	☆沖縄遺産のブランド開発・発信事業	遺跡を利用した新たな観光資源の創出等を図るために実施されてきた旧石器人の姿の復元等を進めるとともに、その発表の発信のため特別展等を開催する。	文化振興課	30,529	1 - (4)
☆沖縄工芸産業振興拠点施設（後称）整備事業	工芸産業の技術や技法の高度化、市場ニーズに対する応答などを図るために、工芸の振興を図る。「工芸の社（反物）」の整備を行う。	ものづくり振興課	165,871	1 - (5)	☆伝統工芸品等の感性型ものづくり産業振興事業	消費者ニーズにマッチした工芸品の開発、展示会への出展等版開拓や工芸品の販売等を通じて生活の質向上が図られるよう、生活支援や就労支援を行う。	ものづくり振興課	103,422	1 - (5)

事業		概要		課名	当期予算額(千元)	2.1 量産化・本業費
軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	18歳未満の溝度・中等度難聴児に対する補聴器購入費等の助成を実施する。	障害福祉課	3,435	2 - (3)		
精神障害者地域移行・地域定着支援事業	精神障害者の地域移行・地域定着を促進するための体制整備を行なう。	障害福祉課	10,370	2 - (3)		
障害者等の就労の拡大	障害者等に対して、就労支援や職場訓練等を実施し、社会参加と自立を促進する。	雇用政策課	74,152	3 - (10)		
【子育て・高齢者施策の推進】						
特定不妊治療費助成事業	医療保険の適用外となっている特定不妊治療に要した経費の一部を助成する。	健康長寿課	253,452	2 - (2)		
こども医療費助成事業	こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全について、対象金額の1/2を補助する。	健康長寿課	1,304,424	2 - (2)		
安心こども基金事業	保育所整備等を実施し、子どもを安心して育てることができる体制の整備を図る。	子育て支援課	1,051,153	2 - (2)		
待機児童対策特別事業	認可外保育施設の認可促進による待機児童の解消及び施設設置の質向上を図るため、施設改善、整営指導、児童の処遇向上等の支援を行う市町村に対する補助等を行う。	子育て支援課	1,620,283	2 - (2)		
待機児童解消支援基金事業	待機児童の解消を図るため、保育員の拡大に取り組む市町村に対し、交付金を交付する。	子育て支援課	1,015,720	2 - (2)		
事業所内保育統合推進事業	待機児童の解消と働きやすい環境の整備のため、事業所内保育施設の設置を推進する。事業所内保育施設コーディネーターによる設置に向けた各種支援のほか、地域型保育事業の認可を受ける施設に対する施設整備の補助等を行う。	子育て支援課	140,336	2 - (2)		
保育対策統合支援事業	保育士修習費支給事業等の保育士確保、小規模保育の取組の支援等を総合的に実施する。	子育て支援課	39,960	2 - (2)		
認定こども園施設整備事業	幼稚園と保育所双方の機能を併せ持つ認定こども園の設置を促進することにより、子どもを中心として育てるための施設の整備を促進するため、市町村が実施する認定こども園の施設整備事業へ補助する。	子育て支援課	177,134	2 - (2)		
保育士資格支給事業	認可保育所の保育士が出席又は傷病により、長期間にわたって育むことを必要とする場合の保育士資格の配達に要する子育て支援課を支援する。	子育て支援課	18,900	2 - (2)		
保育士確保対策事業	待機児童解消に必要な保育士を確保するために、保育士試験受験者向けの講座実施及び保育士の年休取得を支援する。	子育て支援課	95,396	2 - (2)		
新保育士ベースアップ支援事業	待機児童解消に必要な保育士を確保するために、経営改善等に伴う費用の一部について地元密着型サービス等の施設整備費に係る費用の一部について補助を行う。	子育て支援課	142,050	2 - (2)		
新医学生臨床研修事業費	離島へ向かうにおける医師確保を図るために、医師を養成し、養成後は、離島へ向かう医師の不足解消を図る。	保健医療政策課	380,184	2 - (6)		

【医療の充実】

事業		概要		課名	当期予算額(千元)	2.1 量産化・本業費
☆ 放課後児童クラブ支援事業	放課後児童クラブの公的施設等を促進し、環境の改善、質の向上及び利用者の負担軽減を図る。	子育て支援課	231,157	2 - (2)		
地城事業(地域子育て支援事業)	地城の事情に応じ、市町村が実施する地城子ども・子育て支援事業(地域子育て支援事業延長保育事業、地元保育事業等)へ支援することにより、多様な子育て支援の充実を図る。	子育て支援課	1,752,326	2 - (2)		
子ども・子育て支援事業	小規模保育事業や地域子ども・子育て支援事業等の実施を促進するための研修事業に従事する職員の賃質向上及び人材確保のため	子育て支援課	8,417	2 - (2)		
新井構型幼稚園教育推進事業	市町村にコーディネーターを配置して保育小の連携体制を構築し、幼児教育の充実と小学校教育への円滑な接続を図る。	義務教育課	6,948	5 - (3)		
子ども・若者育成支援と子どもの貧困対策	様々な課題を抱えた子ども・若者への支援と、貧困の連鎖を防止するため子どもの貧困対策を行う。	青少年・子ども家庭課	218,537	2 - (2)		
☆ 要保護児童等への支援	専門家配置等により、被虐待児童と家庭への支援を行なう。「おまかわ子ども信託」(トライアンフ)の活用等により児童虐待の未然防止及び早期発見に努める。	青少年・子ども家庭課	128,920	2 - (2)		
☆ 一人親家庭等の自立支援	一人親家庭に対し医療費の一部助成や就業支援、技能習得支援等の事業を実施し支援を図る。	青少年・子ども家庭課	642,159	2 - (2)		
新地域包括支援センター事業	認知症疾患センターの設置(運営委託)により、認知症の初期段階と行動心理症状や身体合併症への対応等に対応する相談窓口機能を強化する。	高齢者福祉介護課	15,814	2 - (3)		
認知症疾患センター運営事業	認知症疾患センターの設置(運営委託)により、認知症の初期段階と行動心理症状や身体合併症への対応等に対応する相談窓口機能を強化する。	高齢者福祉介護課	25,581	2 - (3)		
認定こども園の就業意識の拡大	高齢者の就業機会と生きがいの充実や社会参加を促進させるこころを目的に、県シェルバー人材センター連合及び新規就業者等に対する相談窓口や介護、地域ケア等の窓口機能を強化する。	雇用政策課	16,607	3 - (10)		
新保育士ホーム改修等事業	養護老人ホームにおいて規定に障害のある障害者等の介護がより適切に実施されるよう、既存施設の一部改修、設備整備及び人員研修の実施に要する経費を補助し、入所環境の整備を図る。	高齢者福祉介護課	22,772	2 - (3)		
介護基盤整備等基金事業	地域密着型サービス等の施設整備費に係る費用について補助を行う。	高齢者福祉介護課	1,892,711	2 - (3)		
新医学生臨床研修事業費	離島へ向かうにおける医師確保を図るために、医師を養成し、養成後は、離島へ向かう医師の不足解消を図る。	保健医療政策課	380,184	2 - (6)		

事業		概要		課名		当初予算額 (千円)		2.1世帯・2.2世帯 基準		
医師確保対策事業	将来、離島等の医療機関に從事しようとする意思のある医学生等に修学資金等を貸与し、卒業(研修終了)後につき必要な医師の養成及び確保を図る。	医師事務局が行う、県立離島品診療所への医師の進徳施設や専門医の不足による離島、へき地中核病院へ全国の品診療機関等から医師派遣等に基づく医師派遣を支援する。	保健医療政策課	救急医療用ヘリコプター活用事業	救急医療用ヘリコプターを活用して傷病者の救命率の向上、後遺症の降低を図る。	2 - (3) 3 - (11)	107,172	2 - (3) 3 - (11)	250,459	2 - (3) 3 - (11)
☆ 県立病院医師派遣補助事業	病院事務局が行う、県立離島品診療所への医師の進徳施設や専門医の不足による離島、へき地中核病院へ全国の品診療機関等から医師派遣等に基づく医師派遣を支援する。	保健医療政策課	救急医療用ヘリコプター活用事業(交付金事業)	沖縄県ドクターヘリの定期巡回飛行に対する追加補助を実施する。	沖縄県ドクターヘリの運営費に対する追加補助を行ふ。	2 - (3) 3 - (11)	374,883	2 - (3) 3 - (11)	34,483	2 - (3) 3 - (11)
新 医師派遣等推進事業	医師不足地域へ医師を派遣する体制を構築するため、派遣元医療機関に密接な連携を図る。	保健医療政策課	ヘリコプター等添乗医師等補助事業	自衛隊及び海上保安庁の協力により実施している離島等からの急患等に対する追加補助を行ふ。	離島を含めた教員は体格を維持する。	2 - (3) 3 - (11)	482,674	2 - (3) 3 - (11)	6,854	2 - (3) 3 - (11)
離島・へき地ドクターベンチ等支援事業	県内の医療機関へ勤務を希望する医師へ、情報の拡充及び情報の集約を行い、求人医療機関と求人医師のマッチングを図る。また、離島・へき地医療の充実のため各種支援を行う。	保健医療政策課	ヘリコプター等添乗医師等補助事業(交付金事業)	急患空輸へり等への添乗医師派遣協力病院への運営費を補助することにより、県内の救急医療体制の維持・確保を図る。	保健医療政策課	2 - (3) 3 - (11)	25,695	2 - (3) 3 - (11)	29,200	2 - (3) 3 - (11)
地域産科医確保事業	北辺及び離島の分娩を取り扱う病院において勤務経験のある医師が当該地域で10年以上開業する場合、その開業費用の一部に対して補助を行う。	保健医療政策課	肝炎対策事業費	保健所で肝炎ウイルス検査を実施し、陽性と判定された者等に対する医療機関での検査費用を行う。また、感染者等による早期の診断と適切な治療を提供できるよう肝疾患診療体制を整備する。	肝炎対策事業費	2 - (3) 3 - (11)	81,368	2 - (3) 3 - (11)	14,961	2 - (3) 3 - (11)
☆ 代医診療事業	離島診療所の医師が研修等の間不在になる期間、医療本部に離島診療所の医師が研修等の間不在になる期間、医療本部にて勤務経験のある者に対する意志のある者に対する意志に対し、保健医療政策課	保健医療政策課	肝炎治療促進事業費	B型・C型ウイルス性肝炎の治療に係る医療費を助成し、肝炎患者の経済的負担を軽減することにより治療の促進を図る。	肝炎治療促進事業費	2 - (3) 3 - (11)	34,497	2 - (3) 3 - (11)	93,534	2 - (3) 3 - (11)
看護師等修学資金貸与事業	県内の看護職員確保のため、看護職員を養成する施設のある者に対する意志に対し、保健医療政策課	保健医療政策課	離島病床生活環境整備事業	離島相談・支援センターの機能強化を図り、地域で生活する離島病床の相談支援や地域交流活動の促進、県外支援病院の相談・支援等を推進し、患者の自立と社会参加を促進する。	離島病床生活環境整備事業	2 - (3) 3 - (11)	136,066	2 - (3) 3 - (6)	7,330	2 - (3) 3 - (6)
☆ 代替看護師派遣事業	離島診療所看護師が研修等で不在の際に、代替看護師を派遣し、勤務環境の改善を図ることで安定的な看護職員の確保を図る。	保健医療政策課	離島特別対策推進事業	入院治療が必要となる在宅重複離島患者に対する一時的入院施設の確保等が行えるよう離島医療機関の配置や介護者の休息(レスバイト)等の一時入院事業等を実施する。	離島特別対策推進事業	2 - (3) 3 - (6)	12,062	2 - (3) 3 - (6)	12,607	2 - (3) 3 - (6)
訪問看護支援事業	在宅医療・介護サービスの充実に向けて、訪問看護師の入材育成と在宅ケアサービスの質向上を支援・推進するための拠点支援体制を構築する。	保健医療政策課	がん医療連携体制推進事業	がん診療提供やがん患者等に対する相談支援等の取組を推進する。	がん医療連携体制推進事業	2 - (3) 3 - (6)	7,551	2 - (3) 3 - (6)	45,188	2 - (3) 3 - (6)
看護師等就労促進事業	未就業看護師等に対する講習会、就労斡旋等を実施し就労促進支援事業を実施する。	保健医療政策課	地域がん医療連携拠点病院機能強化事業費	がん診療連携拠点病院におけるがん診療体制を強化し、がん医療水準の向上を図る。	地域がん医療連携拠点病院機能強化事業費	2 - (3) 3 - (6)	13,610	2 - (3) 3 - (6)	36,212	2 - (3) 3 - (6)
認定看護師の育成事業	県内の民間立看護師養成所の運営事業経費に対し、補助金を交付する。	保健医療政策課	新 北部地域周産期母子医療センター一般置対策推進事業	新 北部保健医療圏において、地域周産期母子医療センターの開設に必要な設備を整備する。	新 北部保健医療圏	2 - (3) 3 - (6)	142,035	2 - (3) 3 - (6)	187,238	2 - (3) 3 - (6)
救急医療施設運営等補助事業費	医療の高度化・専門化に対する認定看護師を養成し、県全体の医療の質の向上図る。	保健医療政策課	☆ 新県立八重山病院整備事業	八重山県においては、中核病院としての機能を發揮し、地域に必要な医療提供体制の整備を図るため、連携を行う。	県立病院課	2 - (3) 3 - (6)	24,734	2 - (3) 3 - (6)	4,622,745	2 - (3) 3 - (6)
【安心・安全で快適な社会づくり】								☆ 公共交通利用環境改善事業		
		県民及び観光客の移動便利性の向上を図る観点から、路線バスの安定的確保を図る。		保健医療政策課		交通政策課		790,309		
						790,309		1 - (7)		

2.1 重点アプローチの基本方針				
事業	概要	課名	当初予算額(千円)	実績
バス路線補助事業	地城住民の日常生活に必要な移動手段を確保するため、利用者が少ないとし補助を行う。	交通政策課	165,646	3 - (11)
利便性の高い公共交通ネットワークの構築	沖縄都市モノレールの利用促進を図るための諸事業を実施するとともに、沖縄都市モノレール株式会社の健全経営を支援する。	新規面・モノレール課	445,539	1 - (7)
公営住宅整備事業	住宅に困窮している低額所得世帯に対して、健廻で文化的な性生活の基盤となる住宅を確保する。	住宅課	7,201,265	2 - (6)
住宅リフォーム促進事業	省エネ住宅の促進・住宅の増改築・リフォームにより安全・安心で潤いのある居住環境整備を図る。	住宅課	15,000	2 - (6)
沖縄県居住支援協議会事業推進補助金	高齢者等の住宅確保配慮者の民間賃貸住宅等への入居の円滑化に資する事業を実施する沖縄県居住支援協議会の活動を促進し、同協議会が実施する事業に要する費用を補助する。	住宅課	6,000	2 - (6)
非行少年を生まない社会づくり	非行少年の検挙・補導活動を強化し、関係機関と連携した施企育成活動を推進するとともに、少年の福祉を管掌する犯規から守るために取組を推進する。	少年課 警務課	109,130	2 - (2)
安全なまちづくりの推進	「ちゅらうぢなー安全なまちづくり条例」に基づき、「暮らしで暮らしを守るまちづくりをを目指す」として暮らし、各種犯罪を抑止する。「ちゅらさん運動」を推進し、各種犯罪を抑止する。	消費・くらし安全課	38,538	2 - (4)
暴力団総合対策	暴力団犯罪や薬物輸送器事犯の取締りを徹底するとともに、関係機関・団体と連携して暴力団排除活動を推進する。	暴力団対策課	20,169	2 - (4)
国際テロ対策	テロのターダーントとなる国際海空港などハイフライインのインフラ施設に対する警護警備等を強化する。	外事課	105	2 - (4)
サイバーセキュリティ対策	サイバー犯罪に必要な専門的技術・知識を有する複数名を充てて、伝統警備等に必要な資機材を整備するとともに、伝統警備活動の強化及び各種監視活動に資する各種装備資機材の充実化を推進する。	生活保安課	10,194	2 - (4)
警察基礎の整備	警察施設の計画的整備、警官室の資質の向上、交換機能の充実・強化及び各種監察活動に資する各種装備資機材の充実化を図る。	警務課	242,218	2 - (4)
犯罪被害者等の支援	民間の犯罪被害者等団体と連携し、犯罪被害者等の早期回復等のための取組を推進する。	警務課	7,195	2 - (4)
子供・女性安全対策事業	D.V.・ストーカー被害者の安全確保対策の強化、子供・女性を性犯罪等から守るために、女性が発信活動等を推進する。	子供・女性安全対策課	11,240	2 - (4)
警察安全相談体制の整備	相談受理体制を充実させ、民風から寄せられる各種相談への適切な対応を行うとともに、関係機関との更なる連携強化を図る。	広報文教課 警務課	33,659	2 - (4)
飲酒運転根絶に向けた社会づくり	飲酒運転根絶に向けた社会づくりや根絶策等と連携して交通安全教育や交通安全活動を実施する。	消費・くらし安全課 交通安全課 交通安全課 交通安全課	100,161	2 - (4)
交通環境の整備	交通の安全と円滑を確保するための交通安全施設等の交通環境の整備を推進する。	交通規制課	1,790,318	2 - (4)

事業		概要	課名	当初予算額 (千円)	実績
DV対策推進事業	DV被害者への相談、保護及び自立支援を行うとともに、未然防止に向けた広報啓発を行う。	性暴力被害者ワンストップ支援センター基証事業及びDV防止対策事業を行うことにより、性暴力被害者等支援のネットワーク構築を図る。	青少年・子ども家庭課	95,987	2-(4)
女性のためのセーフティネット実証事業	性暴力被害者ワンストップ支援センター一体型整備事業	平成27年2月に開院した「沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター」を待合室点型シグナーメリットへ移行させるため、平成29年度の施設整備に向けた設計業務を行う。	平和協調・男女参画課	48,232	2-(4)
消費者行政活性化事業	消費者トラブルの未然防止及び被害拡大防止を図るため、市町村相談体制の充実と消費者への啓発等に取り組む。	消費・くらし安全課	17,984	2-(4)	
道路防災保全事業	沖縄県が管理する道路及び道路橋672箇について、今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、「橋梁長寿化改修計画」に基づき、從来の事務的改修、更新から防護的改修、計画的な更新を推進し、緊急時の輸送路の確保等、安心な道筋ネットワークの確保を推進する。	道路管理課	2,438,700	2-(4)	
老朽化対策緊急事業	老朽化による機能低下が確認され、いかん海岸保全施設であつて、その機能の強化又は回復を行う必要があるものにつけて、老朽化対策計画に基づいた整備を行う。	海岸防災課	362,109	2-(4)	
海岸環境整備事業	国土保全とあわせて県民及び観光客の利用活性化を目的とした海岸環境整備(護岸、堤防、養浜等)を行う。	海岸防災課	46,350	2-(4)	
民間住宅・建築物等の総合的な耐震化対策事業	本県における既存建築物の耐震化を促すため、耐震化に関する技術制度等を周知するとともに耐震診断を行う体制を構築する事業を行ふ。	建築指導課	16,100	2-(4)	
住宅・建築物安全ストック形成事業	治水対策(多自然川づくり等)	河川課	1,828,000	2-(4)	
砂防事業	砂防指定地内において、流域における荒れ地城の保全、土石流等の土砂災害から下流域に存在する人家・耕地、公共施設等を守るために、砂防擁壁、溜砂工等の砂防関係施設整備を行う。	海岸防災課	169,179	2-(4)	
地すべり対策事業費	地すべり防止区域内外において、地すべりの崩壊による被害を除去し又は軽減し人家・耕地、公共施設等を守るために、地すべり施設整備を行う。	海岸防災課	416,412	2-(4)	
急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊危険区域内の自然がけにせし急傾斜地の所有者等が防護工事を行うことが困難又は不適当な場合、法面上の防護工事を行う。	海岸防災課	93,235	2-(4)	
高潮対策事業	高潮、波浪、津波等により被害が発生するおそれのある地域について、堤防・護岸・離岸堤・対策等の海岸保全施設の新設又は改良を行う。	海岸防災課	127,722	2-(4)	

事業		概要		課名	当初予算額(千元)	2.1予算額(千元)	2.1予算額(千元)
★ 治山事業	治山対策による、森林の維持・造成を推進し、潮流害の防止、山地災害復旧・予防及び生活環境の保全を図る。	森林管理課	609,658	2 - (4)	新設備	622,321	2 - (6) 3 - (3) 3 - (11)
★ 街路整備事業（其他久茂地線、胡原泡瀬線等）	安全で快適なといふよりある道路空間を創出するとともに、交通事故による人流れ・物流の形成、緑陰の形成、景観の設置、舗装の設置、樹木の植栽等による道路空間を図る。（4車線拡幅、歩道拡幅、歩道街路課	道路管理課	3,618,487	1 - (7)	水道庁域化推進事業	13,442	3 - (11)
☆ 無電柱化推進事業	災害時の緊急輸送道路の確保、観光地等における良好な景観を図る。災害時の緊急輸送道路の確保、観光地等における良好な景観を図る。災害時の緊急輸送道路の確保、観光地等における良好な景観を図る。	道路管理課	578,700	2 - (4)	新設 離島災害暫時等給水対策事業	134,584	2 - (4) 3 - (11)
★ 都市公園整備事業	既成市街地において、老朽建築物を除むし、施設の統合及び公共交通場所を創出し、レクリエーション活動の場としての都市公園整備を行う。	都市公園・モニュメント課	3,288,793	1 - (6)	離島航路運航安定化支援事業	434,994	3 - (11)
市街開発事業	既成市街地において、老朽建築物を除むし、施設の統合及び公共交通場所を創出し、並びに防災機能の改善及び他の合理的な高度度の更新を図る。	都市公園・モニュメント課	1,704,150	1 - (7)	離島航路運航の確保・維持に対する補助を行うため、離島航路運航事業の定住条件の維持するため、離島航路運航事業	390,485	3 - (11)
総合行政情報通信ネットワーク高度化事業	東日本大震災の教訓等も踏まえた防災通信機能の拡充強化等を図るため、現行の総合行政情報通信ネットワーク（防災行政広報網）の高度度化を行う。	総合情報政策課	525,389	2 - (6)	離島航空路線の確保・維持を図るため、離島航空路線の運航に係る補助及び航空機導入費用の補助を行なう。	2,036,540	3 - (11)
★ 水道事業	将来の水需要や水源水質に適応に対応し、安全な水道水を安定的に供給するため、老朽化した管・送水施設及び浄水施設等を計画的に更新し、あわせて耐震化を推進する。	建設計画課	13,273,152	2 - (6)	離島の定住条件の整備を図るため、本並みの価格の安定と円滑な供給を図るために、離島の定住条件の整備に対する補助を行なう。	118,646	3 - (11)
★ 下水道事業	下水道事業を実施している県及び市町村において、汚水を収集・処理するための污水管渠及び処理施設等の整備・改築を行う。	下水道課	8,504,000	2 - (6)	沖縄県離島住民等交通コスト負担軽減事業	1,023,926	3 - (11)
★ 農村生活環境基礎の強化	農業集落におけるし尿、生活排水等の汚水等を処理する施設を整備する。	農地農村整備課	1,613,132	3 - (11)	離島の定住条件の整備を図るため、割高な船員及び航空運賃の低減に必要な費用を負担する。	1,919,742	3 - (11)
離島港湾の整備	県管理の離島港湾及び空港運営の効率性向上を図る。	港湾課	2,752,556	3 - (11)	離島児童生徒支援センター	24,527	2 - (3)
★ 地域の拠点港湾等の整備	県内の各港湾管理者（石垣市及び宮古島市）が行う離島港湾施設、外郭施設、係留施設、臨港交通施設の建設業、緑地等整備事業等に要する費用を補助する。	港湾課	201,862	3 - (11)	新設管理運営事業	45,998	3 - (11)
離島空港整備事業	離島空港施設の更新整備及び機能向上に向けた基礎整備、施設整備並びに維持修繕を行うとともに、耐震化対策を推進する。	空港課	2,133,488	3 - (11)	離島体験交流促進事業	251,987	5 - (2) 3 - (12)
離島空港保安管理対策事業	離島空港の基本施設及び空港保安対策施設等の維持管理を行い、航空の安全性確保及び空港運営の効率性向上を図る。	空港課	1,550,993	3 - (11)	沖縄本島地域の住民を対象に、モニターフィールドの手法を用いた離島の歴史、文化、自然等に対する心臓プロトコームの活用等を通じて、本島住民による離島への立派な足場足場により、離島を深めることとともに、離島本島との立派な足場足場により、離島の活性化を行なう。	181,806	3 - (12)
★ 定住を支える道路整備事業（石垣空港線等）	離島における自立的な地域づくりと定住支援を図るため、地域特性に応じた道路整備を推進するなどもとに、空港・港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連絡させるための整備を実施する。	道路街路課	9,796,362	3 - (11)	離島観光・交流促進事業		
☆ 離島地区の海底光ケーブル整備	離島地区において、沖縄本島と各離島を結ぶ高容量・大容量の海底伝送路を整備し、安定的かつ高精度な情報通信基盤を構築する。	総合情報政策課	3,012,006	2 - (6) 3 - (3) 3 - (11)			

【離島力の向上】

離島港湾の整備	県管理の離島港湾及び空港運営の効率性向上を図る。	港湾課	2,752,556	3 - (11)	離島児童生徒支援センター	45,998	3 - (11)
離島空港整備事業	離島空港施設の更新整備及び機能向上に向けた基礎整備、施設整備並びに維持修繕を行うとともに、耐震化対策を推進する。	空港課	2,133,488	3 - (11)	離島体験交流促進事業	251,987	5 - (2) 3 - (12)
離島空港保安管理対策事業	離島空港の基本施設及び空港保安対策施設等の維持管理を行い、航空の安全性確保及び空港運営の効率性向上を図る。	空港課	1,550,993	3 - (11)	沖縄本島地域の住民を対象に、モニターフィールドの手法を用いた離島の歴史、文化、自然等に対する心臓プロトコームの活用等を通じて、本島住民による離島への立派な足場足場により、離島を深めることとともに、離島本島との立派な足場足場により、離島の活性化を行なう。	181,806	3 - (12)
★ 定住を支える道路整備事業（石垣空港線等）	離島における自立的な地域づくりと定住支援を図るため、地域特性に応じた道路整備を推進するなどもとに、空港・港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連絡させるための整備を実施する。	道路街路課	9,796,362	3 - (11)	離島観光・交流促進事業		
☆ 離島地区の海底光ケーブル整備	離島地区において、沖縄本島と各離島を結ぶ高容量・大容量の海底伝送路を整備し、安定的かつ高精度な情報通信基盤を構築する。	総合情報政策課	3,012,006	2 - (6) 3 - (3) 3 - (11)			

事業		概要		課名	当初予算額(千円)	2.1実績(予算の達成率)
製糖事業者の支援 ☆☆☆	離島地域における企業説明会・製糖事業者の経営安定を図るために、製造合理化・製糖施設の整備、安定供給対策等を支援する。	糖業健康課	4,808,662	3 - (7)		
【教育の振興】						
複式学級の課題解消 ☆☆☆	8名以上の複式学級を有する小学校へ学習支援員としていたきめ細かな指導を行う。 別途講師を配置し、個々の学生年に応じたきめ細かな指導を行う。	学校人事課 義務教育課	105,550 13,977	3 - (11) 5 - (3)		
学力向上W e bシステム活用 事業	インターネット回線を利用して調査問題の配信と採点結果集計を行なうシステムを導入する。本システムの導入によって児童生徒個々への支援を充実するとともに、授業改善を推進することで学力の向上を図る。					
学力向上学校支援事業 ☆☆☆	学力向上推進室が学校を直接訪問し、具体的で実行性のある支援を行なうことで、訪問校の学力の底上げを図る。また、授業改善を行なうために、授業改善支援員」を派遣し、日常的な授業改善を推進する。	義務教育課 義務教育課	10,000 6,799	5 - (3)		
教員指導力向上事業 ☆☆☆	教員の指導力の向上を図るために次の事業を実施する。 ①地区別プロジェクト型研究事業 ②小学校国語授業改善研究修習会 ③中学校国語授業改善研究会					
進学力カグレードアップ推進事業 ☆☆☆	県内高等学校卒業の県外公立大学等への進学を推進するため、県外公立大学等合格者扶助プログラムや教員指導力を向上させるため、県外公立大学等の進学者を増加させ、大学等進学率を向上させる。	県立学校教育課	89,300	5 - (3)		
県外進学大学生支援事業 ☆☆☆	県内高等学校卒業の難関大学等への進学を推進し、大学等進学率の改善を図る。	教育支援課	8,750	5 - (3)		
特別支援教育の推進 ☆☆☆	障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、特別支援教育の推進を行う。	県立学校教育課	7,888,276	5 - (3)		
私学教育振興事業 ☆☆☆	私立学校の運営に要する経費の補助等により、私立学校の健全な育成及び教育内容の充実を図る。	経済科(学)課	3,890,790	5 - (3)		
家庭教育力促進「やーなれー」事業 ☆☆☆	基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上など家庭教養の改善を図るため、家庭教育に取り組む体制づくりを推進する。	生涯学習振興課	58,800	5 - (1)		
学校・家庭・地域の連携協力推進事業 ☆☆☆	学校、家庭、地域住民等が協力し、学校支援や家庭教育支援、放課後子ども教室を行なうなど、地域全体で教育に取り組む体制づくりを推進する。	生涯学習振興課	88,501	5 - (1)		
スクールカウンセラーサービス整備事業 ☆☆☆	いじめ等の悩みやストレス等を中心に抱える生徒、保護者及び教師に対するカウンセリングを行い、カウンセラーカー等の支援体制を整備し、児童生徒の置かれた環境の改善を図る。	義務教育課	163,359	5 - (3)		

第3 沖縄の「平和」を拓く 一平和創造プラン 【沖縄から世界へ、平和の發信】

沖縄平和賞事業 平和を希求するの眞常

沖縄平和賞事業	平和を希求する沖縄の心を国内外に発信するため、「沖縄平和賞」の贈賞及び受賞式等を実施する。	沖縄戦の記録を次世代に継承するため、また、平和を希求する「沖縄の心」を世界に強く発信するため、戦争本体証言の収録及び多言語化並に平和祈念資料所蔵の沖縄戦闘資料のデジタル化を行う。	「戦世の記憶」平和希望強化事業	平和賞、男女参画賞 平和賞、男女参画賞	17,631	4 — (2)
					45,762	4 — (2)

事業		概要		概要		概要	
2.1 地域活性化 基盤整備事業		2.2 地域活性化 基盤整備事業		2.3 地域活性化 基盤整備事業		2.4 地域活性化 基盤整備事業	
☆ 第6回世界のウチナーンチ大会開催事業	第6回世界のウチナーンチ大会を開催し、世界的な観客への交渉を通じてウチナーネットワークを発展させ、次世代へ継承する。	ラントンD.C.など、米国の東海岸主要都市を中心とした沖縄の芸能や空手に加え、紅型などの伝統芸能、物語等を活用し、展示会及びイベントを開催し、仲連史、自然、平和を希求する心など、沖縄を持つ魅力をバッケージ化し差し出す。	交流推進課	290,000	4 - (1)	所有者不明土地調査事業	235,619 2 - (5)
沖縄ソトパワー発信事業	県内高校生の途上国での国際協力実現活動への支援等や高教祭での国際協力実現活動への支援等により、将来の仲連ともに、貢献活動を担う人材の育成を目的とした人材を育成する。	ラントンD.C.など、米国の東海岸主要都市を中心とした沖縄の芸能や空手に加え、仲連史、自然、平和を希求する心など、沖縄を持つ魅力をバッケージ化し差し出す。	交流推進課	50,000	4 - (1)	行政改革推進費	4,924 -
☆ オキナワ国際協力人材育成事業	ラントンD.C.など、米国の東海岸主要都市を中心とした沖縄の芸能や空手に加え、仲連史、自然、平和を希求する心など、沖縄を持つ魅力をバッケージ化し差し出す。	ラントンD.C.など、米国の東海岸主要都市を中心とした沖縄の芸能や空手に加え、仲連史、自然、平和を希求する心など、沖縄を持つ魅力をバッケージ化し差し出す。	交流推進課	46,283	4 - (1)	行政管理課	4,924 -
その他							

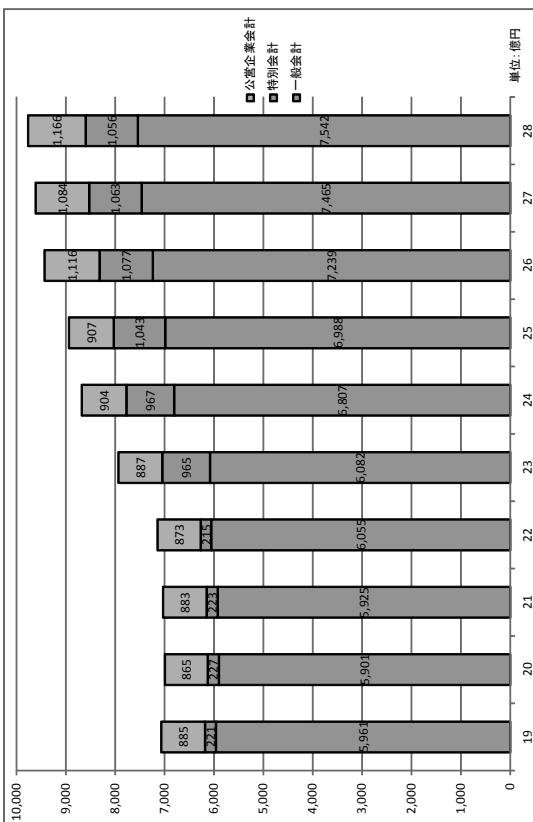
【国際交流・協力の推進】							
辺野古新基地建設問題対策事業	辺野古新基地建設問題に関する総合企画及び調整、普天間飛行場の負担緩和策等を行う。	辺野古新基地建設問題対策課	51,170	2 - (5)	環境問題対策課	34,586	2 - (5)
基地対策	在日米軍再編で示された海兵隊の兵力の削減、嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還、日米地位協定の抜本的な見直し等を目標とする働きかけをする。また、SACO合意事業の円滑、着実な実施に努める。	基地対策課	158,696	2 - (5)	環境政策課	13,250	2 - (5)
米軍施設の環境対策事業	基地に起因する環境問題に迅速かつ適切に対応することを目的として環境調査や汚染除去の手法等についてとりまとめた基地環境カラーチャートを作成する。	環境保全課	96,535	2 - (5)	環境保全課	73,696	2 - (5)
航空機騒音低減対策は城測定事業	米軍機による騒音・低周波音の状況を把握し、米軍や周に付し、米軍機の対応を求めるため、普天間飛行場周辺に係る騒音の面的実態把握及び低周波音の自動測定の実証を行なう。	基地対策課	36,628	3 - (13)	企画調整課	1,148,332	3 - (13)
地政安全政策事業	米軍基地問題に係る国際関係や安全保障等について情報収集及び情報発信を行う。	企画調整課	2,807,931	2 - (5)	企画調整課	16,129	2 - (5)
ワシントン駐在員活動事業	米国ワシントンD.C.の駐在員を活用し、引き続き、情報収集及び情報発信を行う。	企画調整課	—	—	企画調整課	—	—
☆ 大規模駐留軍用地跡地利用推進費	普天間飛行場等駐留用地跡地の円滑な利用を図るため、早い段階での跡地利用計画の策定等に係る調査・検討を行う。	企画調整課	—	—	企画調整課	—	—
☆ 特定駐留軍用地内土地取得事業	駐留用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、跡地利用推進法に基づき、特定駐留軍用地内の土地を取得し、公有地の拡大を図る。	企画調整課	—	—	企画調整課	—	—
不燃弾等処理事業	県内に埋没する不燃弾の調査・収集等を実施し、市町村の公会議など、不燃弾等の早期処理を行う。	企画調整課	—	—	企画調整課	—	—
戦没者遺骨収集事業	遺骨収集情報センターを中心として、沖縄における遺骨収集を加速化する。セニア団体及び厚生労働省の取組事業を効率化する。	企画調整課	—	—	企画調整課	—	—

4 当初予算の規模
平成28年度当初予算の規模は、第1表のとおり一般会計は前年度に比べて76億5,900万円の増加で1.0ペーセントの増、特別会計は6億9,049万9千円の減少で0.6ペーセントの減、公営企業会計は81億3,985万7千円の増加で、7.5ペーセントの増となっています。

第1表 当初予算の規模

区分	平成28年度当初予算額	平成27年度当初予算額	比較額	増減額	増減率
	千円	千円	千円	千円	%
一般会計	754,156,000	746,497,000	7,659,000	7,659,000	1.0
特別会計	105,594,280	106,284,779	-△ 690,499	△ 690,499	△ 0.6
公営企業会計	116,584,388	108,444,531	8,139,857	8,139,857	7.5
計	976,334,668	961,226,310	15,108,358	15,108,358	1.6

第1図 当初予算の推移



5 一般会計予算の概要
平成28年度一般会計予算は次のとおりです。

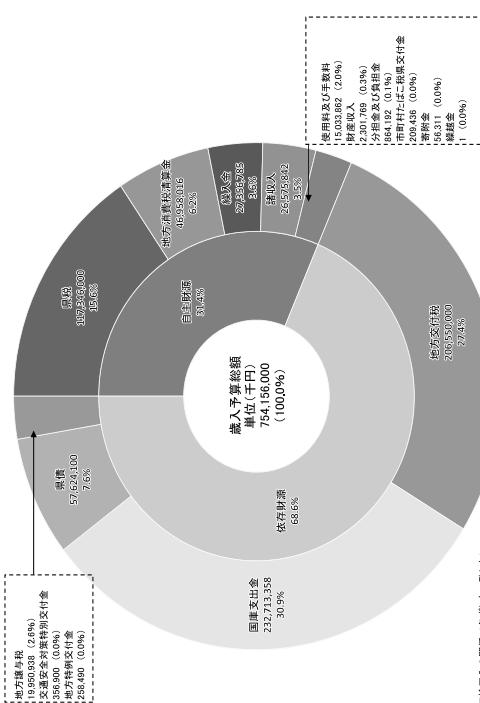
- (1) 岐入予算の状況
岐入予算は、第2表、第3表及び第2図のとおりです。

第2表 平成28年度一般会計岐入予算額別対前年度比較

歳	年度	平成28年度		平成27年度		歳成比	当期予算B	当期予算A	税	税	比較増減額	伸び率
		当期予算A	歳成比	当期予算B	歳成比							
1 帳		117,346,000	15.6	105,046,000	14.1						12,300,000	11.7
2 地方消費税清算金		46,958,016	6.2	40,139,587	5.4						6,818,429	17.0
3 地方譲り税		19,950,938	2.6	21,303,030	2.9						△ 1,352,092	△ 6.3
4 市町村たばこ税交付金		209,436	0.0	202,018	0.0						7,418	3.7
5 地方特例交付金		258,490	0.0	197,954	0.0						60,536	30.6
6 地方交付税		206,550,000	27.4	207,450,000	27.8						△ 900,000	△ 0.4
7 交通安全対策特別交付金		356,900	0.0	373,300	0.1						△ 16,400	△ 4.4
8 分担金及び負担金		864,192	0.1	988,135	0.1						△ 123,943	△ 12.5
9 施用料及び手数料		15,033,862	2.0	13,112,474	1.8						1,921,388	14.7
10 国庫支出手料		232,713,358	30.9	232,607,921	31.2						105,137	0.0
11 財産取扱い料		2,301,769	0.3	3,860,424	0.5						△ 1,558,655	△ 40.4
12 寄附金		56,311	0.0	19,484	0.0						36,827	189.0
13 繙入金		27,356,785	3.6	36,926,512	4.9						△ 9,569,727	△ 25.9
14 繙出金		1	0.0	1	0.0						0	0.0
15 諸取入		26,575,842	3.5	23,931,960	3.2						2,643,882	11.0
16 保有財産		57,624,100	7.6	60,338,200	8.1						△ 2,714,190	△ 4.5
		754,156,000	100.0	746,497,000	100.0						7,659,000	1.0

(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

第2図 一般会計岐入予算額別分類



(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

第3表 平成28年度一般会計歳入予算財源別対前年度比較

参考 主な歳入項目の概要

歳 入 年 度	平成28年度		平成27年度		構成比 △	当初予算B △	構成比 △	△	△	伸び率 △
	当初予算A	構成比 △	当初予算B	構成比 △						
(自主財源)										
県税	236,702,214	31.4	224,226,595	30.0	12.4	475,619	5.6			
地方消費税清算金	117,346,000	15.6	105,046,000	14.1	12,300,000	11.7				
市町村たばこ税保付金	46,958,016	6.2	40,139,587	5.4	6,818,429	17.0				
市町村たばこ税保付金 分担金及び負担金	209,436	0.0	202,018	0.0	7,418	3.7				
使 用 料 及 び 手 数 料	864,192	0.1	988,135	0.1	△ 123,943	△ 12.5				
財 産 税 附 附 金	15,033,892	2.0	13,112,474	1.8	1,921,388	14.7				
財 産 税 附 附 金	2,301,769	0.3	3,860,424	0.5	△ 1,558,055	△ 40.4				
財 産 税 附 附 金	56,311	0.0	19,484	0.0	36,827	189.0				
緑 縁 越 收 入	27,356,785	3.6	36,926,512	4.9	△ 9,569,727	△ 25.9				
地 方 特 例 交 付 税	1	0.0	1	0.0	0	0.0				
地 方 交 付 税	26,575,842	3.5	23,931,960	3.2	2,643,882	11.0				
（依存財源）	517,453,786	68.6	522,270,405	70.0	△ 4,816,619	△ 0.9				
地 方 譲 与 税	19,950,938	2.6	21,303,030	2.9	△ 1,352,092	△ 6.3				
地 方 特 例 交 付 税	258,490	0.0	197,954	0.0	60,536	30.6				
地 方 交 付 税	206,550,000	27.4	207,450,000	27.8	△ 900,000	△ 0.4				
交通安全対策特別交付金	356,900	0.0	373,300	0.1	△ 16,400	△ 4.4				
国 庫 支 出 金	232,113,338	30.9	232,607,921	31.2	△ 1,505,437	△ 0.9				
県 債	57,624,100	7.6	60,338,200	8.1	△ 2,714,100	△ 4.5				
歳入合計	754,156,000	100.0	746,497,000	100.0	7,659,000	1.0				

(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

歳 入 年 度	平成28年度		平成27年度		構成比 △	当初予算B △	構成比 △	△	△	伸び率 △
	当初予算A	構成比 △	当初予算B	構成比 △						
(特定財源)										
分担金及び負担金	298,609,500	39.6	308,182,540	41.3	△ 9,573,040	△ 3.1				
使用料及び手数料	14,380,155	1.9	12,671,179	1.7	△ 123,943	△ 12.5				
国 庫 支 出 金	232,713,558	30.9	232,607,921	31.2	△ 1,352,092	△ 6.3				
財 産 税 附 附 金	1,763,470	0.2	3,298,648	0.4	△ 1,535,178	△ 46.5				
緑 縁 越 收 入	10,771,236	1.4	19,824,492	2.7	△ 9,053,166	△ 45.7				
諸 収 入	9,092,899	1.2	8,053,965	1.1	△ 1,038,934	12.9				
県 債	29,024,100	3.8	30,738,200	4.1	△ 1,714,100	△ 5.6				
（一般財源）	455,546,500	60.4	438,314,460	58.7	17,232,040	3.9				
県 税	117,346,000	15.6	105,046,000	14.1	12,300,000	11.7				
地方消費税清算金	46,958,016	6.2	40,139,587	5.4	6,818,429	17.0				
地 方 特 例 交 付 税	19,950,938	2.6	21,303,030	2.9	△ 1,352,092	△ 6.3				
市町村たばこ税保付金	209,436	0.0	202,018	0.0	7,418	17.8				
地 方 特 例 交 付 税	258,490	0.0	197,954	0.0	60,536	30.6				
地 方 交 付 税	206,550,000	27.4	207,450,000	27.8	△ 900,000	△ 0.4				
交通安全対策特別交付金	356,900	0.0	373,300	0.1	△ 16,400	△ 4.4				
使 用 料 及 び 手 数 料	653,107	0.1	441,295	0.1	22,412	48.1				
財 産 税 附 附 金	538,299	0.1	561,776	0.1	△ 23,477	△ 4.2				
緑 縁 越 收 入	56,311	0.0	19,484	0.0	36,827	189.0				
諸 収 入	16,585,459	2.2	17,102,020	2.3	△ 516,561	△ 3.0				
県 債	1	0.0	1	0.0	0	0.0				
（一般財源）	17,482,943	2.3	15,877,995	2.1	1,604,948	10.1				
備 附 金	28,600,000	3.8	29,600,000	4.0	△ 1,000,000	△ 3.4				
歳入合計	754,156,000	100.0	746,497,000	100.0	7,659,000	1.0				

(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

- (7) 県民税
個人県民税は、納税義務者数の増等を勘案し、7.0パーセントの增收を見込みました。
法人県民税は、平成26年度税制改正により、法人税制の税率が引き下げられた影響
が大きいため、17.5パーセントの減収を見込みました。
利子割は、低金利の状態が続いていることを勘案し、
20.6パーセントの減収を見込みました。
- (1) 事業税
個人事業税は、不動産賃貸業や請負業を中心に収益が増加していることを勘案し、
21.1パーセントの增收を見込みました。
法人事業税は、税制改正の影響や景気の拡大が見込まれることなどを勘案し、30.8パーセントの增收を見込みました。
- (オ) 県たばこ税
平成28年4月より旧3級品たばここの増税による駆け込み需要等を勘案し、17.8パーセントの増収を見込みました。
- (カ) ゴルフ場利用税
ゴルフ場利用税の推移等を勘案し、6.0パーセントの增收を見込みました。
- (キ) 自動車取得税
平成27年度税制改正における新燃費基準の適用車が少なかったこと等を勘案し、81.9パーセントの增收を見込みました。
- (ク) 軽油取税
課税台数の推移等を勘案し、3.6パーセントの增收を見込みました。
- (ケ) 自動車税
課税台数の推移等を勘案し、2.6パーセントの增收を見込みました。
- (コ) 産業廃棄物税
産業廃棄物の排出抑制、再利用が浸透してきていることを勘案し、
3パーセントの減収を見込みました。
- (メ) その他他の税については、前年度実績等を勘案し見込みました。
- (イ) 地方消費税清算金
地方消費税の累積への払い込み額が増加すること等を勘案し、17.0パーセントの增收を見込みました。
- (ウ) 地方譲与税
(7) 地方法人特別譲与税は、税額の偏在を是正を図るために、法人が都道府県に納めている
法人事業税の一部を、国が国税として徴収し、都道府県との人口と事業所の從業員

数であん分して、都道府県に地方法人特別譲与税として再配分されるものです。

本年度は地方財政計画の伸び率等を勘案し、191億9,680万円見込みました。

(イ) 地方揮発油譲与税は、地方揮発油税の収入額を財源とし、都道府県、指定市及び市町村の区域内に存する一般国道、都道府県道及び市町村道の延長及び面積であん分して譲与されるものです。

本年度は地方財政計画の伸び率等を勘案し、5億7,505万5千円を見込みました。

(ロ) 石油ガス譲与税は、石油ガス税の収入額の2分の1に相当する額を都道府県及び指定市に対し、その区域内に存する一般国道及び都道府県道の延長及び面積であん分して譲与されるものです。

本年度は地方財政計画の伸び率等を勘案し、2,636万1千円を見込みました。

(エ) 航空機燃料譲与税は、航空機燃料税の収入額の13分の2に相当する額を財源とし、その5分の4に相当する額を空港関係市町村に、5分の1に相当する額を都道府県に、着陸料取入額及び航空機の騒音が特に著しい地区内の世帯数であん分して譲与されるもので、航空機の騒音により生じる障害の防止、空港及びその周辺の整備等空港対策に関する費用に充てるための目的財源です。

本年度は地方財政計画の伸び率等を勘案し、1億5,272万2千円を見込みました。

市町村たばこ税県交付金
浦添市たばこ税収を勘案し、3.7ペーセントの増収を見込みました。

オ 地方特例交付金
地方財政計画の伸び率等を勘案し、2億5,849万円を見込みました。

カ 地方交付税
国の方財政対策の動向等を勘案し、2,065億5,000万円を見込みました。

キ 交通安全対策特別交付金
交通安全対策特別交付金は、交通反則通告制度によって納付された反則金を道路交通安全施設整備事業の財源として地方公共団体に交付されるものです。

本年度は地方財政計画の伸び率等を勘案し、3億5,690万円を見込みました。

ク 分担金及び負担金
(ア) 分担金は、地方自治法第224条及び各種特別法等により、数人又は普通地方公共団体の一部に対し利益のある事件に關し、その必要な費用に充てるため当該事件により特に利益を受ける者から、その受益の限度において徵収するものです。

本年度は8,231万7千円を見込みました。

(イ) 負担金は、地方財政法第27条及び各種特別法等により、県が行う建設事業及びその他の事業について、その受益の限度において市町村等が負担するものです。

本年度は7億8,187万5千円を見込みました。

ケ 使用料及び手数料
(ア) 使用料は、許可を受けてする行政財産の使用又は公の施設利用につき条例に基づいて徵収するものです。

本年度は124億8,701万1千円を見込みました。その主なものは、全日制高等学校受

業料49億8,896万6千円、県営住宅使用料49億4,551万5千円、空港使用料4億3,975万円等となっています。

(イ) 手数料は、特定人に地方公共団体が提供する役務についての経費の全部又は一部を負担させることによる収入です。

本年度は2億4,403万円を見込みました。

(ロ) 証紙収入は、使用料及び手数料の徵収について条例の定めるところにより証紙でもつて収入するものです。

本年度は23億382万1千円を見込みました。その主なものは、公安委員会関係手料14億1,633万2千円、土木建築部関係手数料3億2,813万8千円等となっています。

コ 国庫支出金
(ア) 国が法令等に基づいて負担する国庫負担金は、429億3,669万3千円で、前年度当初予算額424億5,846万円に比べ4億7,823万3千円、1.1ペーセントの増となっています。

(イ) 事業奨励等のための国庫補助金は、1,878億7,822万2千円で、前年度当初予算額1,882億3,476万9千円に比べ3億5,654万7千円、0.2ペーセントの減となっています。

その主なものは沖縄振興特別推進交付金806億3,543万6千円、沖縄振興公共投資交付金674億650万5千円等となっています。

(ロ) 国の事業委託による委託金は、18億9,844万3千円で、前年度当初予算額19億1,469万2千円に比べ1,624万9千円、0.8ペーセントの減となっています。

サ 県 債
本年度は576億2,410万円で、前年度当初予算額603億3,820万円に比べ27億1,410万円、4.5ペーセントの減となっています。

主なものは、公共事業等146億9,450万円、沖縄振興特別推進交付金事業45億2,920万円等となっています。

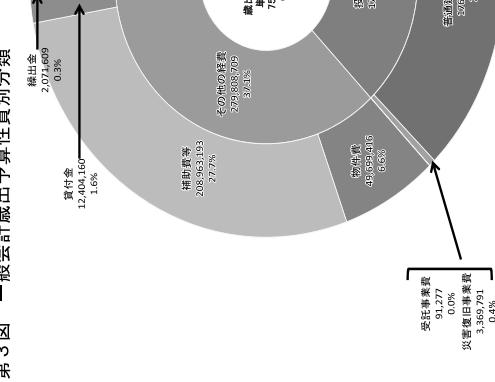
(2) 岐出予算の状況
岐出予算は、第4表、第5表、第3図及び第4図のとおりです。

第4表 平成28年度一般会計歳出予算性質別対前年度比較

区分	平成28年度		平成27年度		当初予算額		構成比		当初予算額		構成比		平成28年度		当初予算額		構成比		平成27年度		当初予算額		構成比		比較増△減額	
	当初予算額(A)	構成比(A)	当初予算額(B)	構成比(B)	(A)	(B)	(C)	(C)/(B)	(A)	(B)	(C)	(C)/(B)	(A)	(B)	(C)	(C)/(B)	(A)	(B)	(C)	(C)/(B)	(A)	(B)	(C)	(C)/(B)	(A)	(B)
義務的経費	394,558,159	39.1	294,321,019	39.4	237,140	0.1	946,201	0.5	1,450,374	0.2	1,355,240	0.2	76,828,052	10.0	106,282,635	14.1	105,958,363	14.2	33,280,258	4.4	36,615,532	4.9	△3,335,274	△9.1	△1,470,010	△1.9
人件費	193,477,943	25.7	192,531,742	25.8	946,201	0.5	1,088,726	3.7	75,358,042	10.3	75,358,042	10.3	106,282,635	14.1	33,280,258	4.4	39,471,941	5.9	57,055,441	7.6	2,416,500	4.2	324,272	0.3		
助成費	30,708,150	4.1	29,619,424	4.0	946,201	0.5	△1,797,787	△2.5	1,088,726	3.7	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	2,372,926	1.5	2,372,926	1.5	△4,433,620	5.9	43,412,940	5.8	1,020,680	2.4		
扶助費	70,372,066	9.3	72,169,853	9.7	946,201	0.5	△4,999,266	△22.5	946,201	0.5	△4,999,266	△22.5	106,301,162	14.1	105,125,127	14.1	105,125,127	14.1	△1,176,035	1.1	1,176,035	1.1	△151,864	△3.7		
公債費	179,789,132	23.8	182,290,894	24.4	946,201	0.5	116,288	3.6	1,088,726	3.7	116,288	3.6	3,928,363	0.5	3,928,363	0.5	4,080,227	0.5	4,080,227	0.5	△1,511,864	△3.7	△1,511,864	△3.7		
投資的経費	176,328,064	23.4	178,954,404	24.0	946,201	0.5	116,288	3.6	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△4,433,620	5.9	43,412,940	5.8	1,020,680	2.4		
普通建設事業費	159,119,740	21.1	156,746,814	21.0	946,201	0.5	116,288	3.6	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△4,433,620	5.9	43,412,940	5.8	1,020,680	2.4		
補助事業費	17,298,324	2.3	22,297,590	3.0	946,201	0.5	116,288	3.6	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△4,433,620	5.9	43,412,940	5.8	1,020,680	2.4		
災害復旧事業費	3,369,791	0.4	3,253,503	0.4	946,201	0.5	116,288	3.6	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△4,433,620	5.9	43,412,940	5.8	1,020,680	2.4		
補助事業費	3,076,514	0.4	3,076,926	0.4	946,201	0.5	116,288	3.6	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△2,471,762	△1.4	△4,433,620	5.9	43,412,940	5.8	1,020,680	2.4		
単独事業費	293,277	0.0	176,577	0.0	946,201	0.5	116,700	66.1	116,700	66.1	116,700	66.1	116,700	66.1	116,700	66.1	116,700	66.1	116,700	66.1	116,700	66.1	116,700	66.1		
受託事業費	91,277	0.0	52,987	0.0	946,201	0.5	38,290	72.3	38,290	72.3	38,290	72.3	38,290	72.3	38,290	72.3	38,290	72.3	38,290	72.3	38,290	72.3	38,290	72.3		
その他の経費	279,808,709	37.1	269,915,087	36.2	946,201	0.5	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7	9,893,622	3.7		
維持修繕費	49,659,416	6.6	48,303,426	6.5	946,201	0.5	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9	1,395,990	2.9		
扶助費	3,422,003	0.5	2,989,715	0.4	946,201	0.5	432,288	14.5	432,288	14.5	432,288	14.5	432,288	14.5	432,288	14.5	432,288	14.5	432,288	14.5	432,288	14.5	432,288	14.5		
投資及び立替金	208,963,193	27.7	200,506,181	26.9	946,201	0.5	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2	8,457,012	4.2		
積立金	151,300	0.0	154,913	0.0	946,201	0.5	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4	2,895,681	0.4		
繰り戻し積立金	2,071,609	1.6	2,116,438	1.3	946,201	0.5	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7	12,748,733	1.7		
予備金	200,000	0.0	200,000	0.0	946,201	0.5	200,000	0.0	200,000	0.0	200,000	0.0	200,000	0.0	200,000	0.0	200,000	0.0	200,000	0.0	200,000	0.0	200,000	0.0		
歳出合計	754,156,000	100.0	746,497,000	100.0	946,201	0.5	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0	7,659,000	1.0		

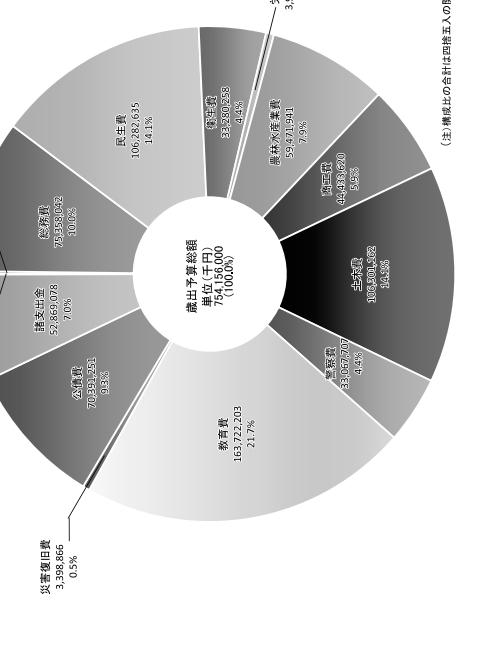
(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

第3図 一般会計歳出予算性質別分類



(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

第4図 一般会計歳出予算額別(目的別)分類



(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

第6表 平成23年度一般会計歳出予算科目別一覧

参考 各款別の主な事業内容と事業担当部局		事業担当部局			
款	主な事業の内容	当初予算額A		平成27年度 当初予算額B	
		平成28年度	平成27年度	A - B = C	C / B × 100
1 議会費	議会運営、議会史編さん	1,350,874	1,355,240	95,634	7.1
2 総務費	県の行政組織や長期計画の策定、職員の人事、予算の編成、県税の徴収、文書学事、出納事務、市町村指導、選挙、消防、災害対策、監査、統計、広報、土地対策、土地調査	1,450,874 871,880 75,358,042 16,487,171 3,492,885 2,954,927 186,109 548,747 132,681 255,561 2,631,514 209,821 567 6,074,359 16,014,529 2,440,651 13,573,878 4,821,041 1,352,949 3,468,092 32,901,885 391,020 795,140 31,715,725 1,069,032 39,839 8,375 484,169 37,068 499,581 3,097,755 2,915,969 181,786 597,811 333,211 264,600 177,697 174,232 170,182	1,355,240 870,734 484,506 76,828,052 16,718,117 3,396,515 3,808,145 189,121 547,841 41,219 142,576 2,341,434 192,454 1,710 6,057,102 17,968,989 4,452,840 13,516,149 4,643,699 1,348,609 3,295,090 32,886,312 355,935 793,483 31,716,894 45,727 39,537 6,190 0 0 0 1,138,196 3,083,312 2,910,688 112,624 1,138,196 330,288 897,908 174,232 7,515 166,717	95,634 1,146 94,488 △ 1,470,010 △ 230,946 96,370 △ 853,218 △ 3,012 906 91,462 112,985 290,080 17,367 △ 1,433 17,257 △ 1,954,460 △ 2,012,189 57,729 177,342 4,340 173,002 35,573 35,085 1,657 △ 1,169 1,023,305 302 2,185 484,169 37,068 499,581 14,443 △ 54,719 69,162 540,385 2,923 △ 543,308 3,465 0 3,465	7.1 0.1 19.5 △ 1.9 △ 1.4 2.8 △ 22.4 △ 1.6 0.2 221.9 79.2 12.4 9.0 △ 66.8 0.3 △ 10.9 △ 45.2 0.4 3.8 0.3 5.3 0.1 9.9 0.2 △ 0.0 2,37.9 35.3 皆 増 0.5 △ 1.8 61.4 △ 47.5 0.9 △ 67.2 2.0 0.0 2.1
3 民生費	生活保護、児童・母子福祉、老人・身障者の福祉対策、物価対策				
4 衛生費	公衆衛生、伝染病予防等の保健衛生、環境衛生、公害対策				
5 労働費	労働関係の調整、職業訓練、失業対策等の労働行政				
6 農林水産業費	農業、畜産業、水産業の振興、土地改良、林業振興、治山、農地開発等				
7 商工費	商業、工芸業、貿易振興、中小企業対策、観光、伝統工芸				
8 土木費	道路、河川海岸、砂防、港湾、都市計画、住宅、空港				
9 警察費	生命、財産の安全、犯罪の捜査、交通事故、交通安全				
10 教育費	学校教育（大学含む）、社会教育、青少年教育、学校給食の運営、保健体育、文化財保護				
11 災害復旧費	農林水産、土木、学校施設の災害復旧				
12 公債費	県債の元金償還金と利子支払				
13 諸支出金	水道用水供給事業会計等への繰出金、地方消費税清算金、財政調整基金等への積立金の交付金、地方消費税清算金、財政調整基金等への積立金				
14 予備費					

款・項・目		当初予算額A	当初予算額B	比較増△減額	伸び率
議会費		1,450,874	1,355,240	95,634	7.1
議会費	事務局費	1,450,874	1,355,240	95,634	7.1
総務費	総務費	871,880	870,734	1,146	0.1
総務費	総務管理費	75,358,042	76,828,052	△ 1,470,010	△ 1.9
人事管理費	人事管理費	16,487,171	16,718,117	△ 230,946	△ 1.4
広報費	広報費	3,492,885	3,396,515	96,370	2.8
文書費	文書費	2,954,927	3,808,145	△ 853,218	△ 22.4
財政管理費	財政管理費	186,109	189,121	△ 3,012	△ 1.6
会計管理費	会計管理費	548,747	547,841	906	0.2
財産管理費	財産管理費	132,681	41,219	91,462	221.9
地方事務所費	地方事務所費	2,631,514	2,341,434	290,080	12.4
恩給及び退職年金費	恩給及び退職年金費	209,821	192,454	17,367	9.0
諸費	諸費	567	6,074,359	△ 1,433	△ 66.8
企画費	企画費	16,014,529	17,968,989	△ 1,954,460	△ 10.9
企画総務費	企画総務費	2,440,651	4,452,840	△ 2,012,189	△ 45.2
計画調査費	計画調査費	13,573,878	13,516,149	57,729	0.4
徴税費	徴税費	4,821,041	4,643,699	177,342	3.8
税務総務費	税務総務費	1,352,949	1,348,609	4,340	0.3
賦課徴収費	賦課徴収費	3,468,092	3,295,090	173,002	5.3
市民村振興費	市民村振興費	32,901,885	32,886,312	35,573	0.1
市町村連絡調整費	市町村連絡調整費	391,020	355,935	35,085	9.9
自治振興費	自治振興費	795,140	793,483	1,657	0.2
沖縄振興特別推進交付金	沖縄振興特別推進交付金	31,715,725	31,716,894	△ 1,169	△ 0.0
選舉費	選舉費	1,069,032	45,727	1,023,305	2,37.9
選挙管理委員会費	選挙管理委員会費	39,839	39,537	302	0.8
選挙啓券費	選挙啓券費	8,375	6,190	2,185	35.3
参議院議員選舉費	参議院議員選舉費	484,169	0	484,169	皆 増
海区漁業調整委員会委員選舉費	海区漁業調整委員会委員選舉費	37,068	0	37,068	皆 増
防災費	防災費	499,581	0	499,581	0.5
参議院議員選舉費	参議院議員選舉費	3,097,755	3,083,312	14,443	0.5
防災総務費	防災総務費	2,915,969	2,910,688	△ 54,719	△ 1.8
消防指導費	消防指導費	181,786	112,624	69,162	61.4
統計調査費	統計調査費	597,811	1,138,196	△ 540,385	△ 47.5
統計調査総務費	統計調査総務費	333,211	330,288	2,923	0.9
人口社会経済統計費	人口社会経済統計費	264,600	897,908	△ 543,308	△ 67.2
人事委員会費	人事委員会費	177,697	174,232	3,465	2.0
委員会費	委員会費	7,515	7,515	0	0.0
事務局費	事務局費	170,182	166,717	3,465	2.1

款・項・目	平成28年度		平成27年度		比較増△減額		平成28年度		平成27年度		比較増△減額	
	当初予算額A	C / B × 100	当初予算額B	A - B = C	C / B × 100	当初予算額A	C / B × 100	当初予算額B	A - B = C	C / B × 100	当初予算額B	C / B × 100
監査委員費	191,121		189,468	1,653	0.9	環境保全費	2,320,853	2,812,492	△ 491,639	△ 17.5		
委員費	19,549		19,597	△ 48	△ 0.2	環境保全総務費	529,888	501,349	28,539	5.7		
事務局費	171,572		169,871	1,701	1.0	環境保全費	1,054,833	1,819,630	△ 754,797	△ 41.5		
民生費	106,282,635		105,958,363	324,272	0.3	自然保護費	726,132	491,513	234,619	47.7		
社会福祉費	67,881,669		65,376,009	2,505,660	3.8	保健所費	1,850,833	1,982,934	122,101	△ 5.6		
社会福利総務費	2,498,226		2,436,371	61,855	2.5	保健所費	1,870,313	1,987,512	117,199	△ 5.9		
障害者福祉費	1,433,889		1,512,827	△ 78,938	△ 5.2	保健所施設整備費	10,520	5,422	5,098	94.0		
老人福祉費	29,586,709		28,767,243	819,466	2.8	医療費	6,948,773	7,356,994	△ 388,221	△ 5.3		
遺族等接護費	112,395		113,140	△ 745	△ 0.7	医療総務費	364,355	358,388	5,967	1.7		
国民健康保険指導費	20,001,872		20,633,640	△ 631,768	△ 3.1	医務費	5,962,680	6,354,219	△ 391,539	△ 6.2		
社会福利施設費	186,970		158,634	△ 1,664	△ 1.0	保健師等指導管理費	432,276	451,586	△ 19,010	△ 4.2		
老人福祉施設費	2,367,992		916,764	1,451,228	158.3	薬務費	140,462	133,315	7,347	5.5		
県民生活費	121,575		118,778	2,797	2.4	ハブ対策費	48,800	39,786	9,014	22.7		
障害者自立支援賃費	11,602,441		10,718,612	883,429	8.2	保健衛生費	5,899,788	5,660,454	239,334	4.2		
児童福祉費	29,438,087		31,446,935	△ 2,008,848	△ 6.4	病院事業会計繰出金	5,899,788	5,660,154	239,334	4.2		
児童福祉施設費	10,059,905		12,807,388	△ 2,747,483	△ 21.5	労働費	3,928,363	4,080,227	△ 151,864	△ 3.7		
児童福祉総務費	15,410,475		15,185,246	225,229	1.5	労政費	2,665,718	2,887,765	222,047	△ 7.7		
児童指揮費	3,074,648		2,896,987	177,661	6.1	労政総務費	2,539,980	2,807,060	△ 267,080	△ 9.5		
母子福祉費	893,059		557,314	335,745	60.2	労働教育費	32,157	31,373	784	2.5		
児童福祉施設費	8,827,610		8,975,399	△ 147,989	△ 1.6	労働福祉費	87,272	43,023	44,249	102.8		
生活保護費	234,878		261,513	△ 26,635	△ 10.2	涉外労働費	6,309	6,309	0	0.0		
生活保護扶助費	8,592,732		8,714,086	△ 121,354	△ 1.4	職業訓練費	1,131,129	1,059,048	72,081	6.8		
災害救助費	135,269		159,820	△ 24,551	△ 15.4	職業訓練総務費	128,421	94,589	33,832	35.8		
災害救助費	131,421		155,983	△ 24,562	△ 15.7	職業能力開発校費	1,002,708	964,459	38,249	4.0		
備蓄費	3,848		3,837	11	0.3	労働委員会費	131,516	133,414	△ 1,898	△ 1.4		
公衆衛生費	33,280,258		36,615,532	△ 3,335,274	△ 9.1	委員会費	35,142	35,318	△ 176	△ 0.5		
公衆衛生費	14,509,685		17,304,106	△ 2,794,421	△ 16.1	事務局費	96,374	98,096	△ 1,722	△ 1.8		
原爆被災対策費	256,698		258,293	△ 1,595	△ 0.6	農林水産業費	59,471,941	57,055,441	2,416,500	4.2		
予防費	249,044		209,153	39,891	19.1	農業費	23,296,847	22,340,374	956,473	4.3		
ハジゼン病対策費	9,056		8,693	363	4.2	農業改良普及費	7,215,529	6,154,761	1,060,768	17.2		
結核対策費	72,594		89,407	△ 16,813	△ 18.8	農業振興費	1,322,730	1,210,403	112,327	9.3		
精神衛生費	8,445,376		8,696,085	△ 250,709	△ 2.9	農作物対策費	5,615,383	5,566,152	49,231	0.9		
母子保健衛生費	1,916,646		1,629,936	286,710	17.6	肥料対策費	210,996	160,450	50,546	31.5		
小児慢性特定疾患等対策費	547,855		709,133	△ 161,278	△ 22.7	植物防疫費	196,062	187,560	8,502	4.5		
健美推進費	320,655		313,260	7,395	2.4	農業協同組合指導費	1,557,788	1,654,563	△ 96,775	△ 5.8		
原爆被災対策費	78,525		85,006	△ 6,481	△ 7.6	農業共済団体指導費	4,769	4,963	△ 194	△ 3.9		
特定疾患対策費	2,056,383		2,580,944	△ 524,561	△ 20.3	195,116	180,910	14,206	7.9			
衛生研究所費	556,853		2,724,196	△ 2,167,343	△ 79.6	647	647	0	0.0			
環境衛生費	1,720,326		1,508,552	211,774	14.0	畜産振興費	6,977,827	7,219,965	△ 242,138	△ 3.4		
環境衛生指導費	129,489		126,603	2,886	2.3	畜産業費	3,128,750	2,139,074	989,676	46.3		
食品衛生指導費	753,549		732,479	21,070	2.9	畜産業総務費	791,943	742,296	49,647	6.7		
環境衛生指導費	837,288		649,470	187,818	28.9	畜産振興費	1,197,904	1,169,757	28,147	2.4		
						1,138,903	227,021	911,882	401.7			

(単位：千円、%)												
款・項・目	平成28年度	当初予算額A	平成27年度	当初予算額B	比較増△減額	平成28年度	当初予算額A	平成27年度	当初予算額B	比較増△減額	伸縮率	伸び率
監査委員費	191,121	189,468	1,653	1,597	△ 48	△ 0.2	環境保全費	2,320,853	2,812,492	△ 491,639	△ 17.5	
委員費	19,549	19,597	△ 48	1,701	1.0	△ 0.2	環境保全費	529,888	501,349	28,539	5.7	
事務局費	171,572	169,871	324,272	324,272	0.3	△ 1.0	環境保全費	1,054,833	1,819,630	△ 754,797	△ 41.5	
民生費	106,282,635	105,958,363	2,505,660	2,505,660	3.8	△ 0.3	自然保護費	726,132	491,513	234,619	47.7	
社会福祉費	67,881,669	65,376,009	61,855	61,855	2.5	△ 2.5	保健所費	1,850,833	1,982,934	122,101	△ 5.6	
社会福利総務費	2,498,226	2,436,371	△ 78,938	△ 78,938	△ 5.2	△ 5.2	保健所費	1,870,313	1,987,512	117,199	△ 5.9	
障害者福祉費	1,433,889	1,512,827	819,466	819,466	2.8	△ 1.0	保健所施設整備費	10,520	5,422	5,098	94.0	
老人福祉費	29,586,709	28,767,243	△ 745	△ 745	△ 0.7	△ 0.7	医療費	6,948,773	7,356,994	△ 388,221	△ 5.3	
遺族等接護費	112,395	113,140	△ 745	△ 745	△ 0.7	△ 0.7	医療総務費	364,355	358,388	5,967	1.7	
国民健康保険指導費	20,001,872	20,633,640	△ 631,768	△ 631,768	△ 3.1	△ 3.1	医務費	5,962,680	6,354,219	△ 391,539	△ 6.2	
社会福利施設費	186,970	158,634	△ 1,664	△ 1,664	△ 1.0	△ 1.0	保健師等指導管理費	432,276	451,586	△ 19,010	△ 4.2	
老入福祉費	2,367,992	916,764	1,451,228	1,451,228	158.3	△ 1.0	薬務費	140,462	133,315	7,347	5.5	
県民生活費	121,575	118,778	2,797	2,797	2.4	△ 2.4	ハブ対策費	48,800	39,786	9,014	22.7	
障害者自立支援賃費	11,602,441	10,718,612	883,429	883,429	8.2	△ 8.2	保健衛生費	5,899,788	5,660,454	239,334	4.2	
児童福祉費	29,438,087	31,446,935	△ 2,008,848	△ 2,008,848	△ 6.4	△ 6.4	病院事業会計繰出金	5,899,788	5,660,154	239,334	4.2	
児童福祉施設費	10,059,905	12,807,388	△ 2,747,483	△ 2,747,483	△ 21.5	△ 21.5	労働費	3,928,363	4,080,227	△ 151,864	△ 3.7	
児童福祉総務費	15,410,475	15,185,246	225,229	225,229	1.5	△ 1.5	労政費	2,665,718	2,887,765	222,047	△ 7.7	
児童指揮費	15,410,475	15,185,246	△ 24,562	△ 24,562	△ 1.5	△ 1.5	労政総務費	2,539,980	2,807,060	△ 267,080	△ 9.5	
母子福祉費	3,074,648	2,896,987	177,661	177,661	6.1	△ 6.1	労働教育費	32,157	31,373	784	2.5	
母子福祉費	893,059	837,314	335,745	335,745	60.2	△ 60.2	労働福祉費	87,272	43,023	44,249	102.8	
生活保護費	234,878	261,513	△ 26,635	△ 26,635	△ 10.2	△ 10.2	涉外労働費	6,309	6,309	0	0.0	
生活保護扶助費	8,592,732	8,714,086	△ 121,354	△ 121,354	△ 1.4	△ 1.4	職業訓練費	1,131,129	1,059,048	72,081	6.8	
災害救助費	135,269	159,820	△ 24,551	△ 24,551	△ 15.4	△ 15.4	職業訓練総務費	128,421	94,589	33,832	35.8	
災害救助費	131,421	155,983	△ 24,562	△ 24,562	△ 15.7	△ 15.7	職業能力開発校費	1,002,708	964,459	38,249	4.0	
備蓄費	3,848	3,837	11	11	0.3	△ 0.3	労働委員会費	131,516	133,414	△ 1,898	△ 1.4	
公衆衛生費	33,280,258	36,615,532	△ 3,335,274	△ 3,335,274	△ 9.1	△ 9.1	委員会費	35,142	35,318	△ 176	△ 0.5	
公衆衛生費	14,509,685	17,304,106	△ 2,794,421	△ 2,794,421	△ 16.1	△ 16.1	事務局費	96,374	98,096	△ 1,722	△ 1.8	
原爆被災対策費	256,698	258,293	△ 1,595	△ 1,595	△ 0.6	△ 0.6	農林水産業費	59,471,941	57,055,441	2,416,500	4.2	
予防費	249,044	209,153	39,891	39,891	19.1	19.1	農業費	23,296,847	22,340,374	956,473	4.3	
ハジゼン病対策費	9,056	8,693	363	363	4.2	△ 4.2	農業改良普及費	7,215,529	6,15			

款・項・目	平成28年度		比較増△減額		当初予算額A	平成27年度		当初予算額A	平成28年度		比較増△減額	A-B=C	C/B×100	伸C率	C/B×100	伸C率
	A-B=C	当初予算額B														
農地費	23,799,511	23,354,759	1.9	444,752	1.9	1,306,482	△ 132,747	△ 10.2	1,450,384	217,908	△ 100,255	△ 46.0				
農地総務費	1,173,735	1,19,574,473	1.9	1,402,295	7.2	1,846,081	△ 466,738	△ 25.3	30,677,542	973,425	476,959	49.0				
土地改良費	20,976,868	1,379,343	4,728	4,589	139	4,589	△ 358,197	3.0	2,088,723	30,559,473	118,069	0.4				
農地防災事業費			264,837	623,034	△ 358,197	△ 57.5	△ 21,131	△ 1.2	7,562,040	7,716,764	△ 221,661	△ 9.6				
開墾及GP開拓事業費			1,812,611	1,833,742	△ 21,131	△ 1.2	6,936,301	7,307,509	20,532,325	494,454	△ 154,724	△ 2.0				
農地調整費			421,575	420,544	1,031	0.2	6,936,301	7,307,509	7,307,509	△ 351,208	△ 165,395	△ 4.8				
林業費			85,145	122,455	△ 37,310	△ 30.5	4,042,046	4,379,393	1,016,330	165,395	△ 337,347	△ 19.4				
林業振興指導費			185,345	182,860	2,485	1.4	240,712	220,570	1,119,301	220,570	20,142	9.1				
森林病害虫防除費			480,593	410,011	70,582	17.2	1,448,850	1,448,850	1,448,850	△ 329,549	△ 329,549	△ 22.7				
造林費			12,324	25,990	△ 13,666	△ 52.6	537,912	497,761	537,912	130,151	130,151	31.9				
林道費			627,629	671,882	△ 44,253	△ 6.6	12,052,914	11,604,856	11,604,856	448,058	448,058	3.9				
治山費			7,434,222	7,387,492	46,730	0.6	3,716,734	3,281,969	3,281,969	434,765	434,765	13.2				
水産業費			494,282	580,207	△ 175,925	△ 30.3	7,984,867	7,948,028	7,948,028	36,639	36,639	0.5				
水産業振興費			980,528	545,301	435,227	79.8	52,839	55,254	55,254	△ 2,415	△ 2,415	△ 4.4				
水産業協同組合指導費			2,288	2,772	△ 484	△ 17.5	298,674	319,605	298,674	△ 20,931	△ 20,931	△ 6.5				
漁業調整費			16,410	16,296	114	0.7	20,153,011	21,455,860	20,153,011	△ 1,302,849	△ 1,302,849	△ 6.1				
漁業取締費			164,172	283,834	△ 119,662	△ 42.2	1,918,377	1,832,523	1,918,377	85,854	85,854	4.7				
漁港漁場管理費			124,042	139,292	△ 15,250	△ 10.9	2,222,543	1,319,747	2,222,543	902,796	902,796	68.4				
漁港整備費			5,742,500	5,819,790	△ 77,290	△ 1.3	12,990,699	15,029,604	12,990,699	△ 2,038,905	△ 2,038,905	△ 13.6				
商工費			44,433,620	43,412,940	1,020,680	2.4	3,021,392	3,273,986	3,021,392	3,273,986	△ 252,594	△ 252,594	△ 7.7			
商業費			5,113,165	4,375,903	737,262	16.8	8,127,536	6,325,435	8,127,536	1,802,101	1,802,101	28.5				
商業総務費			1,474,905	1,425,480	49,425	3.5	2,256,802	2,219,847	2,256,802	36,955	36,955	1.7				
商業振興費			3,638,260	2,950,423	687,837	23.3	5,870,734	4,105,588	5,870,734	1,765,146	1,765,146	43.0				
工鉱業費			22,094,964	29,505,444	△ 7,410,480	△ 25.1	6,277,723	5,735,007	6,277,723	542,716	542,716	9.5				
計量検定費			13,701	13,847	△ 146	△ 1.1	2,056,225	1,585,604	2,056,225	470,621	470,621	29.7				
中小企業総務費			1,820	1,820	0	0.0	4,221,498	4,149,403	4,221,498	72,095	72,095	1.7				
中小企業振興費			13,573,114	12,505,546	1,067,568	8.5	33,067,707	32,873,729	33,067,707	193,978	193,978	0.6				
工業技術センター費			314,813	230,686	84,127	36.5	30,021,506	30,046,369	30,021,506	△ 24,863	△ 24,863	△ 0.1				
工業振興費			6,277,172	14,175,329	△ 7,898,157	△ 55.7	27,705,721	27,870,556	27,705,721	△ 164,835	△ 164,835	△ 0.6				
資源開発費			330,508	64,483	△ 800	△ 1.2	571,599	530,872	571,599	△ 150,419	△ 150,419	△ 20.8				
観光費			17,225,491	9,531,593	7,693,898	80.7	519,942	530,872	519,942	△ 10,930	△ 10,930	△ 2.1				
観光費			16,586,882	8,923,445	7,663,437	85.9	424,208	386,628	424,208	37,580	37,580	9.7				
県民文化費			638,609	608,148	30,461	5.0	2,102,051	1,909,860	2,102,051	192,191	192,191	10.1				
土木費			106,301,162	105,125,127	1,176,035	1.1	163,722,203	163,147,632	163,722,203	574,571	574,571	0.4				
土木管理費			22,056,135	22,136,987	△ 80,852	△ 0.4	16,580,939	15,283,177	16,580,939	1,297,762	1,297,762	8.5				
土木総務費			20,290,775	20,776,435	△ 485,660	△ 2.3	13,700	14,124	13,700	△ 424	△ 424	△ 3.0				
土木出張所費			197,323	169,219	28,104	16.6	3,842,279	3,842,279	3,842,279	△ 146,256	△ 146,256	△ 3.8				

款・項・目	平成28年度		比較増△減額		当初予算額A	平成27年度		当初予算額A	平成28年度		比較増△減額	A-B=C	C/B×100	伸C率	
	A-B=C	当初予算額B													
農地費	23,799,511	23,354,759	1.9	444,752	1.9	1,306,482	△ 132,747	△ 10.2	1,450,384	217,908	△ 100,255	△ 46.0			
農地総務費	1,173,735	1,19,574,473	1.9	1,402,295	7.2	1,846,081	△ 466,738	△ 25.3	30,677,542	973,425	476,959	49.0			
土地改良費	20,976,868	1,379,343	4,728	4,589	139	4,589	△ 358,197	3.0	2,310,384	30,559,473	118,069	0.4			
開墾及GP開拓事業費			264,837	623,034	△ 358,197	△ 57.5	21,131	△ 1.2	7,716,764	7,716,764	△ 221,661	△ 9.6			
農地調整費			1,812,611	1,833,742	△ 21,131	△ 1.2	6,936,301	7,307,509	7,307,509	△ 351,208	△ 165,395	△ 4.8			
林業費			421,575	420,544	1,031	0.2	6,936,301	7,307,509	7,307,509	△ 351,208	△ 165,395	△ 4.8			
林業振興費			85,145	122,455	△ 37,310	△ 30.5	4,042,046	4,379,393	4,379,393	△ 337,347	△ 337,347	△ 7.7			
森林病害虫防除費			185,345	182,860	2,485	1.4	240,712	220,570	220,570	20,142	20,142	9.1			
造林費			480,593	410,011	70,582	17.2	1,119,301	1,448,850	1,448,850	△ 329,549	△ 329,549	△ 22.7			
林道費			12,324	25,990	△ 13,666	△ 52.6	537,912	537,912	537,912	130,151	130,151	31.9			
治山費			627,629	671,882	△ 44,253	△ 6.6	12,052,914	11,604,856	11,604,856	448,058	448,058	3.9			
水産業費			7,434,222	7,387,492	46,730	0.6	3,716,734	3,281,969	3,281,969	434,765	434,765	13.2			
水産業総務費			494,282	580,207	△ 175,925	△ 30.3	7,984,867	7,948,028	7,948,028	36,639	36,639	0.5			
水産業振興費			980,528	545,301	435,227	79.8	52,839	55,254	55,254	△ 2,415	△ 2,415	△ 4.4			
水産業協同組合指導費			2,288	2,772	△ 484	△ 17.5	298,674	319,605	298,674	△ 20,931	△ 20,931	△ 6.5			
漁業調整費			16,410	16,296	114	0.7	20,153,011	21,455,860	20,153,011	△ 1,302,849	△ 1,302,849	△ 6.1			
漁業取締費			164,172	283,834	△ 119,662	△ 42.2	1,918,377	1,832,523	1,918,377	85,854	85,854	4.7			
漁港漁場管理費			124,042	139,292	△ 15,250	△ 10.9	2,222,543	1,319,747	2,222,543	902,796	902,796	68.4			
漁港整備費			5,742,500	5,819,790	△ 77,290	△ 1.3	12,990,699	15,029,604	12,990,699	△ 2,038,905	△ 2,038,905	△ 13.6			
商工費			44,433,620	43,412,940	1,020,680	2.4	3,021,392	3,273,986	3,021,392	3,273,986	△ 252,594	△ 252,594	△ 7.7		
商業費			5,113,165	4,375,903	737,262	16.8	8,127,536	6,325,435	8,127,536	1,802,101	1,802,101	28.5			
商業総務費			1,474,905	1,425,480	49,425	3.5	2,256,802	2,219,847	2,256,802	36,955	36,955	1.7			
商業振興費			3,638,260	2,950,423	687,										

款・項・目	平成28年度		平成27年度		比較増△減額 A-B=C	初予算額B C/B×100	款・項・目		当初予算額A C/B×100	平成28年度		平成27年度	比較増△減額 A-B=C	伸縮率 C/B×100	
	当初予算額A	平成28年度	当初予算額B	平成27年度			当初予算額A	平成28年度		当初予算額B	平成28年度				
教職員人事費	313,461	259,631	83,830	36,5	36,5	36,5	教育施設災害復旧費	66,374	66,374	0	0,0	0,0	0,0	0,0	0,0
教育指導費	1,252,605	1,234,542	18,063	1,5	1,5	1,5	公立学校施設等災害復旧費	66,374	66,374	0	0,0	0,0	0,0	0,0	0,0
教育センター費	287,889	292,547	△ 4,658	△ 1,6	△ 1,6	△ 1,6	公債費	70,391,251	72,191,176	△ 1,799,925	△ 2,5	△ 2,5	△ 2,5	△ 2,5	△ 2,5
教育振興費	11,017,261	9,670,054	1,347,207	13,9	13,9	13,9	公債費	70,391,251	72,191,176	△ 1,799,925	△ 2,5	△ 2,5	△ 2,5	△ 2,5	△ 2,5
小学校費	49,622,085	49,348,255	273,830	0,6	0,6	0,6	元金	63,767,103	64,583,161	△ 816,058	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3
教職員費	49,622,085	49,348,255	273,830	0,6	0,6	0,6	利息	6,590,963	7,556,692	△ 965,729	△ 12,8	△ 12,8	△ 12,8	△ 12,8	△ 12,8
中学校費	31,089,026	31,130,169	△ 41,143	△ 0,1	△ 0,1	△ 0,1	公債詰費	33,185	51,323	△ 18,138	△ 35,3	△ 35,3	△ 35,3	△ 35,3	△ 35,3
教職員費	31,023,745	30,956,587	67,158	0,2	0,2	0,2	諸支出金	52,869,978	44,371,745	8,497,333	19,2	19,2	19,2	19,2	19,2
学校管理費	65,281	47,457	17,824	37,6	37,6	37,6	ゴルフ場利用税交付金	556,508	555,608	30,828	5,9	5,9	5,9	5,9	5,9
学校建設費	0	126,125	△ 126,125	皆 減	△ 2,2	△ 2,2	ゴルフ場利用税交付金	556,508	555,608	30,828	5,9	5,9	5,9	5,9	5,9
高等学校校費	43,395,252	44,355,033	△ 959,781	△ 0,3	△ 0,3	△ 0,3	自動車取得税交付金	527,689	289,943	237,746	82,0	82,0	82,0	82,0	82,0
高等学校総務費	35,475,692	35,585,348	△ 109,656	1,9	1,9	1,9	自動車取得税交付金	527,689	289,943	237,746	82,0	82,0	82,0	82,0	82,0
全日制高等学校校管理費	2,967,057	2,912,076	55,581	1,9	1,9	1,9	公営企業費	643,726	648,842	△ 5,116	△ 0,8	△ 0,8	△ 0,8	△ 0,8	△ 0,8
定時制高等学校校管理費	116,899	107,491	9,408	8,8	8,8	8,8	水道用水供給事業費	570,314	570,254	60	0,0	0,0	0,0	0,0	0,0
教育振興費	1,114,149	1,048,521	65,628	6,3	6,3	6,3	工業用管道事業費	73,412	78,588	△ 5,176	△ 6,6	△ 6,6	△ 6,6	△ 6,6	△ 6,6
学校建設費	3,447,046	4,549,785	△ 1,102,739	△ 24,2	△ 24,2	△ 24,2	財政調整基金積立金	17,701	17,936	△ 235	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3
通信教育費	24,139	23,565	874	3,7	3,7	3,7	財政調整基金積立金	17,701	17,936	△ 235	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3	△ 1,3
実習船運営費	249,370	128,247	121,123	94,4	94,4	94,4	県有施設整備基金積立金	850,591	1,042,204	△ 191,613	△ 18,4	△ 18,4	△ 18,4	△ 18,4	△ 18,4
特別支援学校費	15,592,057	15,240,226	351,831	2,3	2,3	2,3	県有施設整備基金積立金	850,591	1,042,204	△ 191,613	△ 18,4	△ 18,4	△ 18,4	△ 18,4	△ 18,4
特別支援学校費	15,592,057	15,240,226	351,831	2,3	2,3	2,3	利子剰交付金	194,052	251,504	△ 57,452	△ 22,8	△ 22,8	△ 22,8	△ 22,8	△ 22,8
社会教育費	3,980,401	4,476,139	△ 495,738	△ 11,1	△ 11,1	△ 11,1	利子剰交付金	194,052	251,504	△ 57,452	△ 22,8	△ 22,8	△ 22,8	△ 22,8	△ 22,8
社会教育総務費	2,021,846	2,453,014	△ 431,168	△ 17,6	△ 17,6	△ 17,6	配当割交付金	407,040	315,943	91,097	28,8	28,8	28,8	28,8	28,8
視聴覚教育費	448	429	19	4,4	4,4	4,4	配当割交付金	407,040	315,943	91,097	28,8	28,8	28,8	28,8	28,8
文化財保護費	576,767	462,564	114,203	24,7	24,7	24,7	株式等譲渡所得割交付金	358,436	377,103	△ 18,667	△ 5,0	△ 5,0	△ 5,0	△ 5,0	△ 5,0
図書館費	211,236	197,739	13,497	6,8	6,8	6,8	和子剰精算金	358,436	377,103	△ 18,667	△ 5,0	△ 5,0	△ 5,0	△ 5,0	△ 5,0
青少年教育施設費	270,060	610,657	△ 340,597	△ 55,8	△ 55,8	△ 55,8	利子剰精算金	2,032	2,032	0	0,0	0,0	0,0	0,0	0,0
保健体育費	900,044	751,736	148,308	19,7	19,7	19,7	利子剰精算金	2,032	2,032	0	0,0	0,0	0,0	0,0	0,0
保育園施設費	865,347	892,548	△ 27,201	△ 3,0	△ 3,0	△ 3,0	退職手当基金積立金	7,082	6,875	6,875	207	3,0	3,0	3,0	3,0
灾害復旧費	382,871	357,120	25,751	7,2	7,2	7,2	退職手当基金積立金	7,082	6,875	6,875	207	3,0	3,0	3,0	3,0
体操振興費	263,465	249,052	14,413	5,8	5,8	5,8	減債基金積立金	32,880	30,448	2,432	8,0	8,0	8,0	8,0	8,0
体育施設費	219,011	236,376	△ 67,365	△ 23,5	△ 23,5	△ 23,5	減債基金積立金	32,880	30,448	2,432	8,0	8,0	8,0	8,0	8,0
大学費	2,597,096	2,422,085	175,011	7,2	7,2	7,2	地域振興基金積立金	417	414	3	0,7	0,7	0,7	0,7	0,7
大学費	1,740,239	1,569,020	171,219	10,9	10,9	10,9	地域振興基金積立金	417	414	3	0,7	0,7	0,7	0,7	0,7
看護大学費	856,857	853,065	3,792	0,4	0,4	0,4	地方消費稅交付金	23,599,730	20,166,486	3,433,244	17,0	17,0	17,0	17,0	17,0
災害復旧費	3,398,866	3,281,796	117,070	3,6	3,6	3,6	地方消費稅交付金	23,599,730	20,166,486	3,433,244	17,0	17,0	17,0	17,0	17,0
農林水産施設災害復旧事業	1,800,000	1,792,650	7,350	0,4	0,4	0,4	地方消費稅清算金	25,632,907	20,688,216	4,974,691	24,0	24,0	24,0	24,0	24,0
耕地地災害復旧費	600,000	600,000	0	0,0	0,0	0,0	地方消費稅清算金	25,632,907	20,688,216	4,974,691	24,0	24,0	24,0	24,0	24,0
林業災害復旧費	722,890	723,540	△ 650	△ 0,1	△ 0,1	△ 0,1	特別会計等繰出金	8,287	8,119	168	2,1	2,1	2,1	2,1	2,1
漁業用施設災害復旧費	452,110	444,110	8,000	1,8	1,8	1,8	予備費	8,287	8,119	168	2,1	2,1	2,1	2,1	2,1
農林水産施設災害復旧事業	25,000	25,000	0	0,0	0,0	0,0	予備費	200,000	200,000	0	0	0	0	0	0
土木施設災害復旧費	1,532,492	1,422,772	109,720	7,7	7,7	7,7	予備費	200,000	200,000	0	0	0	0	0	0
河川等災害復旧費	1,154,312	1,120,892	33,420	3,0	3,0	3,0	予備費	200,000	200,000	0	0	0	0	0	0
港湾災害復旧費	378,180	301,880	76,300	25,3	25,3	25,3	歳 出 合 計	754,156,000	746,497,000	7,659,000	1,0	1,0	1,0	1,0	1,0

(単位：千円、%)

6 特別会計予算の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合その他歳入をもつて特定の歳出に充てる等、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合において、法律又は条例でこれを設置するのです。

本県における平成28年度特別会計は、第7表のとおりです。

第7表 特別会計予算の内訳

会計名	平成28年度当初予算額	A構成比	当初予算額	B構成比	平成27年度比較増減額	△単率	歳入予算			(単位：千円)
							C／B×100	A-B=C	平成28年度	
農業改良資金特別会計	231,988	0.2	58,988	0.1	173,010	293.3				
小規模企業者等設備会計	292,385	0.3	380,634	0.4	△ 88,259	△ 23.2				
中小企業振興資金特別会計	520,163	0.5	520,163	0.5	0	0.0				
下地島空港特別会計	368,665	0.3	384,509	0.4	△ 15,844	△ 4.1				
母子父子寡婦福祉資金特別会計	197,557	0.2	155,929	0.1	41,628	26.7				
下水道事業物別会計	11,921,029	11.3	13,374,733	12.6	△ 1,453,674	△ 10.9				
所有者不明土地管理特別会計	354,053	0.3	342,974	0.3	11,079	3.2				
沿岸漁業改善資金特別会計	52,299	0.0	242,493	0.2	△ 190,194	△ 78.4				
中央卸売市場事業特別会計	411,174	0.4	468,956	0.4	△ 57,782	△ 12.3				
林業改善資金特別会計	15,818	0.0	15,849	0.0	△ 31	△ 0.2				
中部土地造成事業特別会計	2,180,469	2.1	3,382,915	3.2	△ 1,202,446	△ 35.5				
宜野湾港整備事業特別会計	599,490	0.6	417,859	0.4	181,631	43.5				
国際物流拠点事業特別会計	576,900	0.5	2,007,673	1.9	△ 1,430,773	△ 71.3				
産業振興基金特別会計	291,554	0.3	417,180	0.4	△ 125,626	△ 30.1				
中城漁港(新漁地区)整備事業特別会計	508,722	0.5	798,417	0.8	△ 289,695	△ 36.3				
中城湾港マリン・タウン特別会計	1,884,375	1.8	1,495,865	1.4	388,510	26.0				
駐車場事業特別会計	123,891	0.1	166,890	0.2	△ 42,999	△ 25.8				
中部土地造成事業特別会計	510,248	0.5	515,475	0.5	△ 5,227	△ 1.0				
公債管理制度特別会計	84,553,490	80.1	84,137,297	76.3	3,416,193	4.2				
合計	105,594,280	100.0	106,284,779	100.0	△ 690,499	△ 0.6				

(注) 備考欄の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

第8表 農業改良資金特別会計予算

区分	繰入金	繰越金	諸収入	歳入予算			区分	繰入金	繰越金	諸収入	合計	(単位：千円)
				平成28年度	平成27年度	比較増△減額						
農林水産業費	205,378	47,630	11,091	157,748	116,929	48,365	105,123	271,912	275,521	△ 3,609	109,847	
公債費	26,363	15,272	△ 88,259	58,645	58,988	△ 3,541	231,998	231,998	380,644	△ 88,259	54,924	
合計	231,998	58,988	173,010	173,010	合計	173,010	231,998	231,998	380,644	△ 88,259	54,924	

第9表 小規模企業者等設備導入資金特別会計予算

区分	繰入金	繰越金	諸収入	歳入予算			区分	繰入金	繰越金	諸収入	合計	(単位：千円)
				平成28年度	平成27年度	比較増△減額						
農林水産業費	20,473	78,244	△ 10,015	281,927	271,912	20,473	105,123	271,912	275,521	△ 3,609	109,847	
公債費	271,912	275,521	△ 3,609	380,644	△ 88,259	380,644	380,644	△ 88,259	380,644	△ 88,259	54,924	
合計	292,385	380,644	△ 88,259	380,644	△ 88,259	380,644	380,644	△ 88,259	380,644	△ 88,259	54,924	

- (3) 中小企業振興資金特別会計
中小企業振興資金特別会計は、資本力に乏しく対外的に信用度の低い中小企業の経営安定を図るため、(公財)沖縄県産業振興公社が中小企業に機械類を貸与するために必要な経費として、本年度は5億2千万円の貸付金を計上しています。

第10表 中小企業振興資金特別会計予算

歳入予算						
区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度
繰越金	184,680	176,345	8,335	中小企業振興費	520,163	520,163
諸収入	335,483	343,818	△ 8,335			
合 計	520,163	520,163	0	合 計	520,163	520,163

- (4) 下地島空港特別会計
下地島空港特別会計は、航空機操縦訓練の用に供することを目的として設置された下地島空港を管理運営するためのもので、空港の基本施設及び航空保安施設等の適正な維持管理等に要する経費として、本年度は3億6,866万5千円を計上しています。

第11表 下地島空港特別会計予算

歳入予算						
区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度
機械料及び手数料	6,354	6,461	△ 107	土木費	368,665	384,509
財産収入	3,209	3,468	△ 259			
繰入金	358,511	373,943	△ 15,432			
繰越金	1	1	0			
諸収入	590	636	△ 46	合 計	368,665	384,509
合 計	368,665	384,509	△ 15,844			

第12表 母子父子寡婦福祉資金特別会計予算

歳入予算						
区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度
繰入金	5,678	2,590	3,088	民生費	197,557	155,929
繰越金	75,452	30,332	45,120			
諸収入	116,427	123,007	△ 6,580			
合 計	197,557	155,929	41,628	合 計	197,557	155,929

歳入予算						
区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度
分租金及び料金	5,567,729	5,567,729	△ 9,612	土木費	10,563,354	12,013,728
使用料及び料金	630	646	△ 16	公債費	1,367,675	1,360,975
国庫支出金	4,348,000	5,359,800	△ 1,011,800			
財産収入	61,127	329	60,798			
繰入金	927,959	897,982	30,017			
繰越金	124,308	483,826	△ 359,518			
諸収入	36	79	△ 43			
賃借	901,200	1,064,700	△ 163,500			
合 計	11,321,029	13,374,703	△ 1,453,674	合 計	11,921,029	13,374,703

第13表 下水道事業特別会計予算

歳入予算						
区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度
分租金及び料金	5,567,729	5,567,729	△ 9,612	土木費	10,563,354	12,013,728
使用料及び料金	630	646	△ 16	公債費	1,367,675	1,360,975
国庫支出金	4,348,000	5,359,800	△ 1,011,800			
財産収入	61,127	329	60,798			
繰入金	927,959	897,982	30,017			
繰越金	124,308	483,826	△ 359,518			
諸収入	36	79	△ 43			
賃借	901,200	1,064,700	△ 163,500			
合 計	11,321,029	13,374,703	△ 1,453,674	合 計	11,921,029	13,374,703

- (7) 所有者不明土地管理特別会計
所有者不明土地管理特別会計は、去る大戦によって公簿・公園等が消失したため、所有権の認定が未だされていない所有者不明の土地の管理のための経費として、本年度は3億5,405万3千円を計上しています。
- (9) 中央卸売市場事業特別会計
中央卸売市場事業特別会計は、御亮市場法及び沖縄県中央卸売市場条例に基づき、生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図り、もって県民生活の安定に資することを目的に、中央卸売市場を適正かつ健全に運営するための経費として、本年度は4億1,117万4千円を計上しています。

第14表 所有者不明土地管理特別会計予算

(単位：千円)

歳 入 予 算		歳 出 予 算		歳 入 予 算		歳 出 予 算	
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額
国庫支出金	206,046	197,123	8,923	土地管理業務費	235,649	223,491	12,158
財産収入	19,344	19,825	△ 481	予備費	118,404	119,483	△ 1,079
繰越金	128,661	126,024	2,637				
諸収入	2	2	0				
合 計	354,053	342,974	11,079	合 計	354,053	342,974	11,079

- (8) 沿岸漁業改善資金特別会計
沿岸漁業改善資金特別会計は、沿岸漁業改善資金助成法に基づき、沿岸漁業従事者等の経営、操業状態及び生活の改善を目的に設置されており、近代的な操業技術及び合理的な生活方式の導入促進を図るため、国の助成のもとに造成された資金をもって、無利子で貸し付けるための経費として、本年度は5,229万9千円を計上しています。

第15表 沿岸漁業改善資金特別会計予算

歳 入 予 算		歳 出 予 算		歳 入 予 算		歳 出 予 算	
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額
繰越金	34,486	221,384	△ 186,898	農林水産業費	52,299	242,493	△ 190,194
諸収入	17,813	21,109	△ 3,296				
合 計	52,299	242,493	△ 190,194	合 計	52,299	242,493	△ 190,194

第16表 中央卸売市場事業特別会計予算

(単位：千円)

歳 入 予 算		歳 出 予 算		歳 入 予 算		歳 出 予 算	
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額
使用料及び手数料	225,884	208,000	17,884	中央卸売市場事業費	113,884	113,085	779
繰入金				繰越金	1	1	0
諸収入				諸収入	71,425	69,074	2,351
国庫支出金				国庫支出金	0	26,296	△ 26,296
県債				県債	0	52,500	△ 52,500
合 計	411,174	468,956	△ 57,782	合 計	411,174	468,956	△ 57,782

第17表 林業改善資金特別会計予算

(単位：千円)

歳 入 予 算		歳 出 予 算		歳 入 予 算		歳 出 予 算	
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額
繰入金	818	849	△ 31	農林水産業費	6,751	7,164	△ 413
繰越金				諸収入	8,249	7,836	413
諸収入				合 計	15,818	15,849	△ 31
合 計	52,299	242,493	△ 190,194	合 計	52,299	242,493	△ 190,194

- [11] 中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計
中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計は、中城湾港（新港地区）の土地造成・管理のために設置されており、本年度は、警備等委託料、分譲地や道路管理に使用する重機等の使用料、貸付用地に係る国有資産等所在市町村交付金及び一般会計の貸付金に対する利子分に要する経費として、21億8,046万9千円を計上しています。

第18表 中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計予算

第18表 中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計予算												
(単位：千円)												
区分	歳入予算			歳出予算			歳入予算			歳出予算		
	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成27年度			
財産収入	743,126	770,012	△ 26,886	商工費	67,696	46,540	21,156	公用費	380,336	394,876	△ 14,490	商工費
繰越金	1	1	0	公債費	2,112,773	3,336,375	△ 1,223,602	0	196,513	185,284	11,229	公債費
諸収入	42	2	40					0	1,427,512	△ 1,427,512		
県債	1,437,300	2,612,900	△ 1,175,600									
合計	2,180,469	3,382,915	△ 1,202,446	合計	2,180,469	3,382,915	△ 1,202,446	合計	576,900	2,007,673	△ 1,430,773	合計

- [12] 宜野湾港整備事業特別会計
宜野湾港整備事業特別会計は、宜野湾港マリーナをヨット、モーターボート等を主体とした海洋スポーツ及び海洋レクリエーション基地として整備・運営するもので、同マリーナの管理運営を行うための経費として、本年度は5億9,949万円を計上しています。

第19表 宜野湾港整備事業特別会計予算

第19表 宜野湾港整備事業特別会計予算												
(単位：千円)												
区分	歳入予算			歳出予算			歳入予算			歳出予算		
	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成27年度			
使用料及び手数料	136,875	126,644	10,231	土木費	69,421	67,019	2,402	公用費	125,666	130,027	△ 4,361	公用費
繰入金	82,473	93,370	△ 10,897	公債費	530,069	350,840	179,229	0	142,543	263,033	△ 120,490	0
繰越金	24,914	19,045	5,869					23,345	24,120	△ 775		
県債	355,228	178,800	176,428									
合計	599,490	417,859	181,631	合計	599,490	417,859	181,631	合計	291,554	417,180	△ 125,626	合計

- [13] 國際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計
國際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計は、那覇空港に隣接する国際物流拠点産業集積地域那覇地区の管理運営として5億7,690万円を計上しています。

第20表 國際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計予算

第20表 國際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計予算												
(単位：千円)												
区分	歳入予算			歳出予算			歳入予算			歳出予算		
	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成27年度			
使用料及び手数料	380,336	394,876	△ 14,490	商工費	0	0	0	公用費	487,202	1,923,121	△ 1,435,919	公用費
繰越金	1	1	0						89,698	84,552	5,146	
諸収入	196,513	185,284	11,229									
繰入金	0	1,427,512	△ 1,427,512									
合計	576,900	2,007,673	△ 1,430,773	合計	576,900	2,007,673	△ 1,430,773	合計	291,554	417,180	△ 125,626	合計

- [14] 産業振興基金特別会計
産業振興基金特別会計は、本県の地域特性を活用した戦略的産業の育成及び海外に展開するグローバルな産業人材等の育成を支援するため設置されたものであり、本年度は産業振興費として2億9,155万4千円を計上しています。

第21表 産業振興基金特別会計予算

第21表 産業振興基金特別会計予算												
(単位：千円)												
区分	歳入予算			歳出予算			歳入予算			歳出予算		
	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区分	平成27年度			
財産収入	125,666	130,027	△ 4,361	産業振興費	0	0	0	公用費	291,554	417,180	△ 125,626	公用費
繰入金	142,543	263,033	△ 120,490									
繰越金	23,345	24,120	△ 775									
合計	291,554	417,180	△ 125,626	合計	291,554	417,180	△ 125,626	合計	291,554	417,180	△ 125,626	合計

(15) 中城湾港（新港地区）整備事業特別会計
中城湾港（新港地区）整備事業特別会計は、中城湾（新港地区）の管理運営費及び東ふ
頭上屋の整備費のほか、港湾施設使用料収入等に係る消費税納付金の経費として、本年度
は5億872万2千円を計上しています。

第22表 中城湾港（新港地区）整備事業特別会計予算

歳 入 予 算						
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度
使用料及び手数料	90,418	78,682	11,736	土木費	282,769	548,213
繰入金	337,048	468,580	△ 131,532	公債費	225,953	△ 265,444
繰越金	12,456	25,255	△ 12,799		250,204	△ 24,251
累積	68,800	225,500	△ 157,100			
合 計	508,722	798,417	△ 289,695	合 計	508,722	798,417
						△ 289,695

(17) 駐車場事業特別会計
駐車場事業特別会計は、行政・商業の中心地である県庁周辺地区の駐車場不足や交通混
雑の緩和を図るため、県民広場地下駐車場の管理運営に要する経費として、本年度は1億
2,389万1千円を計上しています。

第24表 駐車場事業特別会計予算

歳 入 予 算						
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度
繰入金	52,935	71,699	△ 18,704	土木費	66,391	4,505
諸収入	70,896	0	70,896	公債費	28,800	△ 28,800
累積						
合 計	123,891	166,890	△ 42,999	合 計	123,891	166,890
						△ 42,999

第23表 中城湾港マリン・タウン特別会計予算

歳 入 予 算						
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度
使用料及び手数料	26,172	0	26,172	土木費	190,398	153,383
財産収入	533,222	214,309	318,913	公債費	1,693,977	1,342,482
繰入金	103,062	0	103,062			351,495
繰越金	19,233	19,236	△ 3			
累積	1,202,636	1,262,320	△ 59,634			
合 計	1,884,375	1,495,865	388,510	合 計	1,884,375	1,495,865
						388,510

第24表 駐車場事業特別会計予算

歳 入 予 算						
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度
繰入金	52,935	71,699	△ 18,704	土木費	66,391	4,505
諸収入	70,896	0	70,896	公債費	28,800	△ 28,800
累積						
合 計	123,891	166,890	△ 42,999	合 計	123,891	166,890
						△ 42,999

第25表 中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計予算

歳 入 予 算						
区 分	平成28年度	平成27年度	比較増△減額	区 分	平成28年度	平成27年度
繰越金	84	67	17	土木費	510,164	515,495
累積						
合 計	510,248	515,495	△ 5,227	合 計	510,248	515,495
						△ 5,227

(9) 公債管理特別会計
公債管理特別会計は、県債の元利償還等に要する経費として、本年度は845億5,349万円を計上しています。

7 公営企業会計予算の概要

(1) 病院事業会計

病院事業会計は、本島北部、中部、南部（那覇を含む。）、宮古及び八重山の各地域に一般病院5及び精神科病院1を設置するとともに、16か所の県立病院附属診療所を運営しています。

第26表 公債管理特別会計予算

歳 人 予 算							(単位：千円)		
区 分	平成28年度		平成27年度		比較増△減額		歳 出 予 算	(単位：千円)	
	総入金	70,353,490	72,137,297	△ 1,785,807	公債費	84,553,490	81,137,297	3,416,153	
合 計	14,200,000	9,000,000	5,200,000						
	84,553,490	81,137,297	3,416,193	合 計	84,553,490	81,137,297	3,416,153		

(1) 平均患者数

(7) 病床数	2,188床
(4) 年間患者数	1,528,194人
入 院	701,661人
外 来	826,533人
病 院	763,571人
診 療 所	62,962人

(2) 一日平均患者数

(7) 一日平均患者数	1,922人
入 院	3,415人
外 来	3,155人
病 院	260人
診 療 所	

(3) 主要な建設改良事業

新八重山病院施設整備事業

(4) 収益的収入及び支出

収 入			支 出			(単位：千円、%)		
科 目	金 額	構 成 比	科 目	金 額	構 成 比	科 目	金 額	構 成 比
医業収益	50,015,042	86.9%	医業費用	55,974,662	98.2%			
医業外収益	7,336,514	12.8%	医業外費用	772,959	1.4%			
特別利益	154,490	0.3%	特 别 備 費	203,855	0.4%			
			予 備	10,000	0.0%			
合 計	57,506,046	100.0%	合 計	56,961,516	100.0%			

(5) 資本的収入及び支出

収 入			支 出			(単位：千円、%)		
科 目	金 額	構 成 比	科 目	金 額	構 成 比	科 目	金 額	構 成 比
企 業 債	4,806,300	58.3%	建 設 改 良 費	6,702,078	66.9%			
他 会 計 負 担 金	1,835,402	22.2%	企 業 債 償 戻 金	2,722,769	27.1%			
国 庫 補 助 金	1,607,313	19.5%	会 会 計 債 入 金 償 戻 金	600,006	6.0%			
			無 形 固 定 資 産	1	0.0%			
			国 庫 補 助 金 儻 戻 金	1	0.0%			
合 計	8,249,015	100.0%	合 計	10,024,855	100.0%			

(2) 水道事業会計
水道事業会計は、県民の水需要に対処するため、独自の水源を持たない県内市町村等へダムや河川などから取水し浄水処理した水道用水を広域的に供給しています。

平成28年における水道事業の業務及び予算の概要は、次のとおりです。

ア 業務の概要

区 分			事 項	平成28年度予定	備 考
1 給水予定量	(1) 給水対象	22カ所			
	(2) 当年度総給水量	151,305千m ³	郡陽市ほか20市町村及び1企業団		
	(3) 一日平均給水量	415千m ³			
2 主要な建設改良事業	(1) 増送取水施設整備事業	5,458,815千円			
	(2) 北谷浄水場施設整備事業	4,724,261千円			
	(3) 名護浄水場施設整備事業	2,086,752千円			
			計	12,269,828千円	

イ 収益的収入及び支出

(7) 収益的収入
水道事業収益は、総額293億2,073万2千円で、前年度当初予定額294億5,692万7千円に比較すると0.5ペーセントの減となっています。
その主な要因は、営業費用の減価償却費の減等が見込まれることによるものです。

も

(1) 収益的支出

水道事業費用は、総額1,541万9千円で、前年度当初予定額294億5,293万9千円に比較すると0.5ペーセントの減となっています。
その主な要因は、営業費用の減価償却費の減等が見込まれることによるものです。

款 項			平 成 28 年 度	平 成 27 年 度	比較増減額	伸び率
	予定額A	構成比	予定額B	構成比	A - B = C	C / B × 100
水道事業収益	29,320,732	100.0	29,456,927	100.0	△ 136,195	△ 0.5
営業収益	16,709,423	57.0	16,510,448	56.2	168,975	1.0
営業外収益	12,339,319	42.1	12,168,059	43.3	△ 428,740	△ 3.4
特別利益	271,990	0.9	148,420	0.5	123,570	83.3

収 入			平 成 28 年 度	平 成 27 年 度	比較増減額	伸び率
款 項	予定額A	構成比	予定額B	構成比	A - B = C	C / B × 100
水道事業費用	29,315,419	100.0	29,452,939	100.0	△ 137,520	△ 0.5
営業費用	27,160,358	92.6	27,115,266	92.1	45,092	0.2
営業外費用	1,773,746	6.1	2,009,165	6.8	△ 235,419	△ 11.7
特別損失	376,315	1.3	323,508	1.1	52,807	16.3
子備費	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0

支 出			平 成 28 年 度	平 成 27 年 度	比較増減額	伸び率
款 項	予定額A	構成比	予定額B	構成比	A - B = C	C / B × 100
水道事業費用	19,430,679	100.0	17,137,138	100.0	2,293,541	13.4
建設改良費	14,978,629	77.1	12,586,282	73.4	2,392,367	19.0
企業償還金	4,119,155	21.2	4,015,678	23.4	103,477	2.6
国庫補助金返還金	32,895	0.2	235,198	1.4	△ 202,303	△ 86.0
投 資	300,000	1.5	300,000	1.8	0	0.0

(3) 工業用水道事業会計
工業用水道事業会計は、本県の産業振興を図るために製造業を中心とする企業等に対して
工業用水を供給し、企業の生産活動を側面から支援しています。
平成28年度における工業用水道事業の業務及び予算の概要是、次のとおりです。

ア 業務の概要

区 分		事 項	平成28年度予定	備 考
1 給水予定量	(1) 給水対象	98事業所		
	(2) 当年総給水量	7,740千m ³		
	(3) 一日平均給水量	21千m ³		
2 主要な建設改良事業	(1)導水施設整備事業	41,922千円		
	(2)久志浄水場施設整備事業	7,936千円		
	計	49,858千円		

イ 収益的収入及び支出

(ア) 収益的収入
工業用水道事業収益は、総額6億8,883万円で、前年度当初予定額6億8,732万9千
円に比較しますと、0.2パーセントの増となっています。
その主な要因は、営業収益の給水収益の増が見込まれることによるものです。

(イ) 収益的支出

工業用水道事業費用は、総額6億8,875万3千円で、前年度当初予定額6億8,245万
8千円に比較すると0.9パーセントの増となっています。
その主な要因は、営業外費用の増が見込まれることによるものです。

区 分		平 成 28 年 度	平 成 27 年 度	比 較 増 減 額	伸 引 率
款 項	予 定 額 A	構 成 比	予 定 額 B	A - B = C	C / B × 100
工業用水道事業収益	688,830	100.0	687,329	100.0	1,501
營業収益	303,100	44.0	284,154	41.3	18,946
營業外収益	385,729	56.0	403,174	58.7	△ 17,445
特別利益	1	0.0	1	0.0	△ 4.3

支 出		平 成 28 年 度	平 成 27 年 度	比 較 増 減 額	伸 引 率
款 項	予 定 額 A	構 成 比	予 定 額 B	A - B = C	C / B × 100
資本的支出	163,166	100.0	133,944	100.0	29,252
建設改良費	61,153	37.5	27,603	20.6	33,550
企業償償金	52,012	31.9	56,310	42.1	△ 4,298
国庫補助金返還金	1	0.0	1	0.0	0.0
投 資	50,000	30.6	50,000	37.3	0.0

ウ 資本的収入及び支出

(ア) 資本的収入

資本的収入は、総額1億677万5千円で、前年度当初予定額8,056万1千円に比較する
と、25.0パーセントの増となっています。
その主な要因は、国庫補助金の増が見込まれることによるものです。

(イ) 資本的支出

資本的支出は、総額1億6,316万6千円で、前年度当初予定額1億3,391万4千円に
比較すると21.8パーセントの増となっています。
その主な要因は、建設改良費の増が見込まれることによるものです。

(ウ) 資本的支出

資本的支出は、総額1億6,316万6千円で、前年度当初予定額1億3,391万4千円に
比較すると21.8パーセントの増となっています。
その主な要因は、建設改良費の増が見込まれることによるものです。

8 平成27年度予算の補正概要

平成27年度の一般会計予算是、当初7,464億9,700万円となっていましたが、9月補正で20億2,827万1千円、11月補正で19億7,471万3千円、2月補正で68億2,969万2千円を追加し、最終予算額は7,573億2,967万6千円となっています。

(1) 岐入予算の補正状況

第27表 平成27年度一般会計歳入予算の補正状況（自主財源、依存財源）

区 分		当 初 予 算 領	補 正 の 状 況		最 終 予 算 領	構成比
			9月補正	11月補正	2月補正	
(自主財源)						
県 地 方	消 費 費	税 金	清 算			
市 町 村	た な ば	こ そ と	交 付			
分 使 用	担 金	及 び	負 担			
財 寄 繩 繩	使 用 料	及 び	手 数 料			
諸	産 附 附	收 入	入 金			
地 方	特 例	交 付	税 金			
通 安 全	対 策	特 别	交 付			
国 庫	支 支	出 金	税 金			
	合 計		746,497,000	2,028,271	1,974,713	100.0
(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。						

(単位：千円、%)

第28表 平成27年度一般会計歳入予算の補正状況（一般財源、特定財源）

(単位：千円、%)

区分	分	当初予算額	補正の状況			最終予算額	構成比
			9月補正	11月補正	2月補正		
県地 方 消 費 税 税 清 算 税	(一般財源)	438,314,460	736,034	1,256,492	15,366,639	455,673,625	60.2
税	105,046,000		582,671	8,166,014	113,794,685		15.0
税	40,139,587			6,281,367	46,420,954		6.1
税	21,303,030			612,000	21,915,030		2.9
税	202,018			△ 24,996	177,022		0.0
税	197,954			60,536	258,490		0.0
税	207,450,000		2,768,442		210,218,442		27.8
税				0	0		0.0
税				373,300	373,300		0.0
税				△ 54	441,241		0.1
税					561,776		0.1
税					29,484		0.0
税					7,899,583		1.0
税					3,465,183		0.5
税					15,932,935		2.1
税					34,185,500		4.5
税					301,656,051		39.8
（特定財源）							
分担金及び手数料	支	4,615					
分担金及び手数料	支	15,877,995					
分担金及び手数料	支	29,600,000					
分担金及び手数料	支	308,182,540					
分担金及び手数料	支	988,135					
分担金及び手数料	支	12,671,179					
分担金及び手数料	支	570					
分担金及び手数料	支	232,607,921					
分担金及び手数料	支	559,767					
分担金及び手数料	支	25,507					
分担金及び手数料	支	13,488					
分担金及び手数料	支	3,298,648					
分担金及び手数料	支	19,824,492					
分担金及び手数料	支	233,737					
分担金及び手数料	支	8,053,965					
分担金及び手数料	支	438,463					
分担金及び手数料	支	30,738,200					
分担金及び手数料	支	59,700					
合計		746,497,000	2,028,271	1,974,713	6,829,692	757,329,676	100.0

(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

(2) 岳出予算の補正状況

第29表 平成27年度一般会計歳出予算の補正状況（目的別）

(単位：千円、%)

款	当初予算額	構成比	補正の状況			最終予算額	構成比
			9月補正	11月補正	2月補正		
1 議会費	1,355,240	0.2			△ 15,143	1,340,097	0.2
2 総務費	77,623,955	10.4	4,827	1,132,025	△ 849,857	77,910,950	10.3
3 民生費	105,240,751	14.1	413,548	142,668	5,320,449	5,876,665	14.7
4 衛生費	36,509,047	4.9	458,322	△ 25,579	△ 1,245,111	△ 812,368	4.7
5 労働費	4,080,227	0.5			263,643	263,643	0.6
6 農林水産業費	57,055,441	7.6	38,156	△ 137,834	△ 650,908	△ 750,586	7.4
7 商工費	43,441,134	5.8	158,874	△ 283,825	△ 102,257	△ 227,208	43,213,926
8 土木費	105,125,127	14.1	521,265	614,079	△ 2,022,312	△ 886,968	13.8
9 警察費	32,873,729	4.4	31,889	28,300	△ 235,693	△ 175,504	32,698,225
10 教育費	163,147,632	21.9	12,390	47,970	△ 1,585,422	△ 1,525,062	161,622,570
11 災害復旧費	3,281,796	0.4	389,000	66,700	△ 1,167,213	△ 711,513	2,570,283
12 公債金	72,191,176	9.7			△ 1,034,700	△ 1,034,700	71,156,476
13 諸支出国費	44,371,745	5.9	200,000	0.0	390,209	10,154,216	10,544,425
14 予備費						0	200,000
合計	746,497,000	100.0	2,028,271	1,974,713	6,829,692	10,832,676	757,329,676
							100.0

(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

第30表 平成27年度一般会計歳出予算の補正状況（性質別）

(単位：千円、%)

区分	分類	当初予算額	構成比	補正の状況			最終予算額	構成比
				9月補正	11月補正	2月補正		
義務的経費	人件費	294,321,019	39.4	41,198	0	△ 4,293,911	△ 4,252,713	290,068,306
		192,531,742	25.8	1,100	△ 2,128,970	△ 2,127,870	190,403,872	25.1
扶助費	助助費	29,619,424	4.0	40,098	△ 1,130,241	△ 1,090,143	28,529,281	3.8
公債	助助費	72,169,853	9.7	1,061,773	△ 1,034,700	△ 1,034,700	71,135,153	9.4
投資	助助費	182,260,894	24.4	797,282	△ 3,092,055	△ 1,233,000	181,027,894	23.9
普通	建設事業費	178,954,404	24.0	672,773	695,356	△ 1,922,383	△ 554,254	178,400,150
補助	事業費	156,746,814	21.0	514,829	161,012	△ 608,288	67,553	156,814,367
単独	事業費	22,207,590	3.0	157,944	534,344	△ 1,314,095	△ 621,807	21,585,783
災害復旧事業費		3,253,503	0.4	389,000	66,700	△ 1,169,672	△ 713,972	2,539,531
補助	事業費	3,076,926	0.4	339,000	△ 1,169,672	△ 830,672	2,246,254	0.3
単独	事業費	176,577	0.0	50,000	66,700	116,700	35,226	293,277
受託	事業費	52,987	0.0	925,300	1,177,431	14,215,658	16,318,389	88,213
その他	経費	269,915,087	36.2	325,546	96,267	△ 397,835	23,978	286,233,476
物	人件費	48,303,426	6.5	86,518	105,600	192,118	192,118	37.8
維持	修繕費	2,989,715	0.4	295,043	974,215	7,291,948	8,561,206	48,327,404
補助	資本修繕費	200,506,181	26.9	1,349	6,822,112	7,041,654	0	6.4
積立	資金	154,913	0.0	2,895,681	0.4	2,895,681	0	3,181,833
出	出資	2,116,438	0.3	12,748,733	1.7	499,433	499,433	2,116,438
貸付		200,000	0.0	1,974,713	2,028,271	0	0	13,248,166
予備	費			6,829,692	10,832,676	757,329,676	200,000	0.0
合計		746,497,000	100.0					100.0

(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

(3) 特別会計予算の補正状況
 一般会計のほかに、県民の福祉の向上と産業の発展のため特別会計を設置しており、それぞれの目的に沿った特定の事業を実施しています。これらは、第31表のとおりです。

第31表 平成27年度特別会計予算の補正状況

(単位：千円、%)

会 計 名	当初予算額	構成比	補 正 の 状 況			最終予算額	構成比
			9月補正	11月補正	2月補正		
農業改良資金特別会計	58,988	0.1			△ 10,911	△ 10,911	0.0
小規模企業者等設備導入資金計	380,644	0.4				380,644	0.4
中小企業振興資金特別会計	520,163	0.5				520,163	0.5
下地島空港特別会計	384,509	0.4		20,000	20,000	404,509	0.4
母子父子寡婦福祉資金特別会計	155,929	0.1		61,134	61,134	217,063	0.2
下水道事業特別会計	13,374,703	12.6		△ 130,306	△ 130,306	13,244,397	12.6
所有者不明土地管理特別会計	342,974	0.3				342,974	0.3
沿岸漁業改善資金特別会計	242,493	0.2		△ 59,128	△ 59,128	183,365	0.2
中央卸売市場事業特別会計	468,956	0.4				468,956	0.4
林業改善資金特別会計	15,849	0.0				15,849	0.0
中城湾港（新潟港区）臨海部土地計	3,382,915	3.2		205,258	205,258	3,588,173	3.4
造成野湾港整備事業特別会計	417,859	0.4		2,035	2,035	419,894	0.4
国際物流拠点開拓区特別会計	2,007,673	1.9		△ 257,859	△ 257,859	1,749,814	1.7
那賀産業振興基金特別会計	417,180	0.4		△ 73,026	△ 73,026	344,154	0.3
中城湾港（新潟地区）整備事業特別会計	798,417	0.8				798,417	0.8
中城湾港マリン・タウン特別会計	1,495,865	1.4		△ 108,739	△ 108,739	1,387,126	1.3
駐車場事業特別会計	166,890	0.2				166,890	0.2
中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地計	515,475	0.5				515,475	0.5
造成公債管理制度特別会計	81,137,297	76.3		△ 1,034,700	△ 1,034,700	80,102,597	76.4
合 計	106,284,779	100.0	0	2,035	△ 1,388,277	104,898,537	100.0

(注) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

9 県債及び一時借入金の状況

(1) 県債の状況
県債は、文教施設・社会福祉施設・農林・土木施設等の公共・公用施設の建設事業や災害復旧事業等、一時的に多額の経費を要する事業で、その効果が後年度に及ぶ事業の財源に充てるためには起債し、後年度の県民に応分の負担をしていくため、一定の割合で償還する長期の借入金です。平成27年度中における一般会計及び特別会計の県債の増減並びに平成27年度末における現在高の状況は、第32表のとおりで、平成26年度末に比べ1.4ペーセント減少し、額にして707,446.2百万円の現在高となり、そのうち93.2ペーセントが、一般会計の現在高となっています。なお、これを借入先別に示したのが第33表で、その48.2ペーセントが政府資金(財政融資資金及び郵貯・簡保資金)です。

(2) 一時借入金の状況
一時借入金とは、一会计年度において歳計現金が不足した場合、その不足を補うために借り入れることで、平成27年度は4日間の借り入れで最高183億円の一時借り入れを行ったところです。なお、平成28年3月31日現在高は0円です。

第32表 平成27年度末の会計別現在高

会 計 别	会 計	平成26年度末 現在高	平成27年度中借入額			平成27年度中 償還額	平成27年度末 現在高	対前年度 増減率	構成比
			前年度から 繰越借入額	当該年度借入額	計				
一 般	会 計	665,691,331	9,676,300	57,462,700	67,139,000	73,641,364	659,188,967	△ 1.0	93.2
農業改良資金特別会計		215,819	0	0	0	7,082	208,737	△ 3.3	0.0
小規模企業者等設備導入資金特別会計		5,121,284	0	0	0	2,181,279	2,940,005	△ 42.6	0.4
中央卸売市場事業特別会計		412,200	118,000	0	118,000	84,474	445,726	8.1	0.1
母子父子寡婦福祉資金特別会計		798,376	0	0	0	0	798,376	0.0	0.1
下水道事業特別会計		20,838,714	410,700	791,500	1,202,200	930,627	21,110,287	1.3	3.0
中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計		9,203,783	0	2,453,700	2,453,700	3,476,369	8,181,114	△ 11.1	1.2
中城湾港（新港地区）整備事業特別会計		1,943,677	31,600	155,500	187,100	217,929	1,912,848	△ 1.6	0.3
宜野湾港整備事業特別会計		2,925,826	0	178,800	178,800	310,148	2,794,478	△ 4.5	0.4
国際物流拠点整備事業特別会計		397,650	0	0	0	83,486	314,164	△ 21.0	0.0
中城湾港マリン・タウン特別会計		7,965,234	0	1,156,920	1,156,920	1,253,027	7,869,127	△ 1.2	1.1
駐車場事業特別会計		269,017	0	26,200	26,200	107,696	187,521	△ 30.3	0.0
中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計		1,486,439	0	459,608	459,608	451,154	1,494,893	0.6	0.2
特 別 别	会 計 合 計	51,578,019	560,300	5,222,228	5,782,528	9,103,271	48,257,276	△ 6.4	6.8
合 计		717,269,350	10,236,600	62,634,928	72,921,528	82,744,637	707,446,241	△ 1.4	100.0

(注1) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

(注2) 一般会計における「当該年度償借入額」及び「平成27年度中償還額」については、公債管理特別会計における一般会計債の償換債(90億円)及び償還額を含む。

第33表 平成27年度末の借入先別現在高（一般会計＋特別会計）

借入先別		平成26年度末現在高		平成27年度中借入額		平成27年度中償還額		平成27年度末現在高		対前年度増減率		構成比		
				前年度から 繰越借入額	当該年度借入額	計								
財政貯金	融資	282,864,872	4,603,700	15,706,200	20,309,900	23,170,421	280,004,351	△ 1.0	39.6					
郵便・簡易保険		70,854,146	0	0	0	9,872,757	60,981,389	△ 13.9	8.6					
地方公共団体金融機関		67,430,668	2,204,100	1,960,400	4,164,500	3,248,338	68,346,830		9.7					
市中銀組合		240,082,708	3,428,800	37,412,128	40,840,928	37,663,791	243,259,845		1.4					
公共済金融機関		61,200	0	0	0	37,700	23,500	△ 61.6	0.0					
その他の金融機関		45,840,279	0	7,606,200	7,606,200	6,563,269	46,883,210		2.3					
国の予算貸付		10,135,479	0	0	0	2,188,361	7,947,118	△ 21.6	1.1					
合計		717,269,350	10,236,600	62,684,928	72,921,528	82,744,637	707,446,241	△ 1.4	100.0					

(注1) 構成比の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

(注2) 公営企業金融公庫は平成20年10月に廃止、地方公営企業等金融機構に承継。さらに、平成21年6月に地方公共団体金融機関に改組。

(注3) 借換債を含む。

10 平成27年度の予算執行状況

平成28年3月31日現在における歳入歳出予算の執行状況は、一般会計において収入率73.6ペーセント、支出率75.9ペーセント、特別会計において収入率31.6ペーセント、支出率93.4ペーセントとなっています。

(1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況

第34表 一般会計歳入予算執行状況

款 別	平成27年度 予算現額	3月末現在				
		調定額	率%	収入額	率%	
県	税	113,794,685	117,450,180	103.2	111,576,948	98.1
地 方 消 費 税 清 算 金	税	46,420,954	46,419,540	100.0	46,419,540	100.0
地 方 議 譲 与 税	税	21,915,030	22,169,020	101.2	22,169,020	101.2
市町村たばこ税県交付金		177,022	177,022	100.0	177,022	100.0
地 方 特 例 交 付 金		258,490	258,490	100.0	258,490	100.0
地 方 交 付 税		210,218,442	210,382,793	100.1	210,382,793	100.1
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		373,300	409,034	109.6	409,034	109.6
分 担 金 及 び 負 担 金		1,001,635	1,047,579	104.6	383,459	38.3
使 用 料 及 び 手 数 料		13,061,202	10,672,839	81.7	9,733,908	74.5
国 庫 支 出 金		308,187,098	294,901,525	95.6	143,942,879	46.7
財 産 収 入		4,033,007	4,361,271	108.1	4,260,866	105.6
寄 附 金		29,484	61,215	207.6	60,485	205.4
繰 入 金		26,809,607	3,742,433	14.0	3,661,167	13.7
繰 越 金		13,340,162	13,522,307	100.6	13,522,307	100.6
諸 収 入		26,546,154	28,245,119	106.0	47,155,609	177.0
県 債 債		69,443,700	16,068,897	23.1	16,048,700	23.1
合 計		856,109,973	769,889,262	89.9	630,162,227	73.6

(注) 様々分を含む。
(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

第35表 平成27年度一般会計歳出予算の執行状況（3月末現在）

(総括表) (単位：千円、%)

款	予算現額 (A)	配当済額 (B)	配当未済額 (C)	支出負担行為済額				支出去額 (H)	支出去率 (I)
				本月分 (D)	累計 (E)	執行率 (F)	本月分 (G)		
議 議 会 費	1,340,097	1,339,174	923	63,778	1,297,650	96.8	69,525	1,286,727	96.0
総務費	88,060,028	88,003,045	56,983	1,325,822	77,450,869	88.0	9,090,862	46,351,328	32.6
生 民 術	117,302,437	117,291,607	10,830	15,956,230	113,369,512	96.6	14,430,946	91,990,872	78.4
衛 生 費	35,837,908	35,805,139	31,869	2,578,705	31,736,764	88.6	2,927,861	25,593,916	71.4
労 勵 費	4,377,884	4,374,997	2,887	563,142	4,102,373	93.7	684,671	3,616,067	82.6
農 林 水 産 業 費	70,561,688	70,515,461	46,227	2,671,361	66,204,218	93.8	9,363,949	45,096,719	63.9
商 工 木 素 費	52,827,487	52,803,817	23,670	2,002,398	46,345,353	87.7	12,198,437	39,011,973	73.8
土 士 費	154,296,867	154,276,002	20,865	16,700,505	137,492,646	89.1	36,844,182	95,550,057	61.9
警 禁 費	32,803,769	32,800,319	3,450	1,968,495	29,918,201	91.2	2,607,206	29,434,217	89.7
教 育 費	167,452,503	167,411,259	41,244	10,408,862	152,582,502	91.1	12,644,490	147,265,730	87.9
災 害 費	5,025,904	5,025,904	0	401,809	2,774,561	55.2	210,399	1,827,547	36.4
公 債 費	71,156,476	71,155,244	1,232	71,039,569	71,052,556	99.9	71,039,569	71,052,556	99.9
諸 支 出 金	54,916,170	54,916,170	0	31,209,471	51,657,626	94.1	31,209,471	51,657,626	94.1
予 備 費	151,656	0	151,656	0	0	0.0	0	0	0.0
合 計	856,109,973	855,718,137	391,836	156,890,146	785,984,832	91.8	203,321,568	649,735,335	75.9

(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

第36表 平成27年度一般会計歳出予算の執行状況（3月末現在）

(現年度)

(単位：千円、%)

款	予算額 (A)	配当額 (B)	配当未済額 (C)	支出負担行為額			支出額	
				本月分 (D)	累計 (E)	執行率 (F)	本月分 (G)	累計 (H)
議 議 会 費	1,340,097	1,339,174	923	63,778	1,297,630	96.8	69,525	1,286,727
総務費	77,910,950	77,853,967	56,983	2,718,345	68,176,900	87.5	7,380,785	39,965,862
民 生 費	111,165,760	111,154,930	10,830	16,031,987	107,328,460	96.5	13,912,272	89,522,106
衛 術 労 働 費	35,696,679	35,664,810	31,869	2,578,695	31,599,325	88.5	2,921,164	25,576,054
農 林 水 産 業 費	4,343,870	4,340,983	2,887	563,142	4,068,589	93.7	684,671	3,596,648
商 工 本 費	56,304,855	56,258,628	46,227	2,022,711	52,523,053	93.3	7,608,047	32,902,400
土 警 譲 費	43,213,926	43,190,256	23,670	1,035,025	40,351,893	93.4	10,858,951	34,577,484
士 木 費	104,238,159	104,217,294	20,865	15,130,589	89,324,969	85.7	21,979,313	51,820,497
警 察 費	32,698,225	32,694,775	3,450	1,965,917	29,818,181	91.2	2,604,240	29,334,586
教 育 費	161,622,570	161,581,326	41,244	10,331,391	147,820,349	91.5	11,917,086	142,916,310
災 害 費	2,570,283	2,570,283	0	383,766	885,331	34.4	134,220	398,178
公 債 費	71,156,476	71,155,244	1,232	71,039,569	71,052,556	99.9	71,039,569	71,052,556
諸 支 出 金	54,916,170	54,916,170	0	31,209,471	51,657,626	94.1	31,209,471	51,657,626
予 備 費	151,656	0	151,656	0	0	0.0	0	0.0
合 計	757,329,676	756,937,840	391,836	155,074,385	695,904,904	91.9	182,319,314	574,607,032
								75.9

(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

第37表 平成27年度一般会計歳出予算の執行状況（3月末現在）

(単位：千円、%)
(墨年度)

款	予算現額 (A)	配当済額 (B)	配当未済額 (C)	支出負担行為額				支出額 累計 (H)	支出率 (I)
				本月分 (D)	累計 (E)	執行率 (F)	本月分 (G)		
(明 許 繼 越)	98,266,019	98,266,019	0	1,815,762	89,571,252	91.2	21,002,254	74,619,628	75.9
総務費	10,103,187	10,103,187	0	△ 1,392,523	9,233,680	91.4	1,710,077	6,345,178	62.8
生民衛労農商土警教災	6,136,677	6,136,677	0	△ 75,756	6,041,051	98.4	518,674	2,468,766	40.2
工水林木教災復害事故	140,329	140,329	0	10	137,438	97.9	6,697	17,862	12.7
業育	34,014	34,014	0	0	33,784	99.3	0	19,419	57.1
産	14,160,393	14,160,393	0	648,649	13,584,725	95.9	1,755,902	12,097,879	85.4
業	9,336,869	9,336,869	0	967,373	5,716,768	61.2	1,339,486	4,157,797	44.5
業	50,058,708	50,058,708	0	1,569,917	48,167,677	96.2	14,864,868	43,729,559	87.4
業	105,544	105,544	0	2,577	100,020	94.8	2,966	99,631	94.4
育	5,734,678	5,734,678	0	77,471	4,666,878	81.4	727,404	4,254,166	74.2
復	2,455,621	2,455,621	0	18,044	1,889,230	76.9	76,179	1,429,370	58.2
災	514,278	514,278	0	0	508,675	98.9	0	508,675	98.9
害	45,891	45,891	0	0	40,289	87.8	0	40,289	87.8
事	96,440	96,440	0	0	96,440	100.0	0	96,440	100.0
故	276,692	276,692	0	0	276,692	100.0	0	276,692	100.0
越	95,255	95,255	0	0	95,255	100.0	0	95,255	100.0
合計	98,780,297	98,780,297	0	1,815,762	90,079,927	91.2	21,002,254	75,128,303	76.1

(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

(2) 特別会計歳入歳出予算の執行状況

第38表 特別会計歳入予算執行状況

(単位：千円)

会 計 別	平成27年度 予算現額	3月末現在			
		調定額	率%	収入額	率%
農業改良資金特別会計	48,077	767,182	1595.7	274,991	572.0
小規模企業者等設備導入資金特別会計	380,644	5,356,370	1407.2	1,490,322	391.5
中小企業振興資金特別会計	520,163	979,747	188.4	880,880	169.3
下地島空港特別会計	404,509	388,225	96.0	387,968	95.9
母父子家賃補助資金特別会計	217,063	480,444	221.3	329,187	151.7
下水道事業特別会計	16,361,833	15,538,363	95.0	12,688,012	77.5
所有者不明土地管理特別会計	342,974	365,261	106.5	154,360	45.0
沿岸漁業改善資金特別会計	183,365	741,842	404.6	692,861	377.9
中央卸売市場事業特別会計	1,113,457	901,302	80.9	281,818	25.3
林業改善資金特別会計	15,849	108,519	684.7	64,612	407.7
中城湾港(新港区)臨海部土地造成特別会計	3,588,173	3,819,562	106.4	3,819,562	106.4
宜野湾港整備事業特別会計	419,894	319,127	76.0	300,251	71.5
国際物流拠点産業集積地域那覇港地区特別会計	1,749,814	1,798,961	102.8	1,740,742	99.5
産業振興基金特別会計	344,154	177,117	51.5	177,117	51.5
中城湾港(新港区)整備事業特別会計	988,036	470,012	47.6	188,452	19.1
中城湾港マリン・タウン特別会計	1,795,912	1,891,596	105.3	1,588,490	88.5
駐車場事業特別会計	166,890	134,439	80.6	134,439	80.6
中城湾港(泊地地区)臨海部土地造成特別会計	515,475	360,713	70.0	360,713	70.0
公債管理制度特別会計	80,102,597	80,039,403	99.9	9,000,000	11.2
合 計	109,258,880	114,638,126	104.9	34,554,777	31.6

第39表 平成27年度特別会計歳出予算の執行状況（3月末現在）

(総括表)

(単位：千円、%)

会 計	名	予算現額 (A)	配当額 (B)	配当未済額 (C)	支出負担行為額			支出額		
					本月分 (D)	累計 (E)	執行率 (F)	本月分 (G)	累計 (H)	支出率 (I)
農業改良資金特別会計		48,077	48,077	0	3,543	43,768	91.0	3,543	43,768	91.0
小規模企業者等設備導入資金特別会計		380,644	380,644	0	149,262	315,222	82.8	149,353	315,132	82.8
中型企业振興資金特別会計		520,163	520,163	0	103	520,164	100.0	103	260,154	50.0
下地島空港特別会計		404,509	404,509	0	29,020	374,425	92.6	24,705	295,517	73.1
母子父子寡婦福祉資金特別会計		217,063	217,063	0	35,409	163,279	75.2	36,286	162,765	75.0
下水道事業特別会計		16,361,833	16,361,833	0	1,674,836	13,633,367	83.3	2,865,847	10,970,579	67.0
所有者不明土地管理特別会計		342,974	223,491	119,483	△ 13,876	187,279	54.6	85,541	108,064	31.5
沿岸漁業改善資金特別会計		183,365	183,365	0	2	182,147	99.3	2	182,147	99.3
中央卸売市場事業特別会計		1,113,457	1,113,457	0	45,328	969,237	87.0	53,135	951,638	85.5
林業改善資金特別会計		15,849	15,849	0	0	501	3.2	0	501	3.2
中城湾港(新港地区)臨海部事業特別会計		3,588,173	3,588,173	0	3,121,362	3,577,620	99.7	3,122,906	3,576,753	99.7
土地造成事業特別会計		419,894	419,894	0	149,413	414,513	98.7	149,413	414,513	98.7
宜野湾港整備事業特別会計		1,749,814	1,749,814	0	113,313	1,702,187	97.3	113,313	1,702,187	97.3
国際物流拠点整備事業特別会計		344,154	344,154	0	△ 3,678	330,990	96.2	12,474	206,800	60.1
那産業振興基金特別会計		988,036	988,036	0	499,740	855,924	86.6	262,429	604,961	61.2
中城湾港(新港地区)整備事業特別会計		1,795,912	1,795,912	0	1,040,766	1,671,710	93.1	1,042,158	1,609,190	89.6
中城湾港マリン・タウン特別会計		166,890	166,890	0	58,213	160,624	96.2	101,283	160,624	96.2
駐車場事業特別会計		515,475	515,475	0	408,705	459,744	89.2	408,705	459,744	89.2
中城湾港(泡瀬地区)臨海部事業特別会計		80,102,597	80,102,597	0	42,364,045	80,039,403	99.9	42,364,045	80,039,403	99.9
合 计		109,258,879	109,139,396	119,483	49,675,506	105,602,094	96.7	50,795,241	102,064,440	93.4

(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

第40表 平成27年度特別会計歳出予算の執行状況（3月末現在）

(現年度) (単位：千円、%)

会 計 名	予算現額 (A)	配当済額 (B)	配当未済額 (C)	支出負担行為額			本月分 (G)	支出去額 累計 (H)	支出率 (I)
				本月分 (D)	累計 (E)	執行率 (F)			
農業改良資金特別会計	48,077	48,077	0	3,543	43,768	91.0	3,543	43,768	91.0
小規模企業者等設備導入資金特別会計	380,644	380,644	0	149,262	315,222	82.8	149,353	315,132	82.8
中小企業振興資金特別会計	520,163	520,163	0	103	520,154	100.0	103	260,154	50.0
下地島空港特別会計	404,509	404,509	0	29,020	374,425	92.6	24,705	295,517	73.1
母子父子寡婦福祉資金特別会計	217,063	217,063	0	35,409	163,279	75.2	36,286	162,765	75.0
下水道事業特別会計	13,244,397	13,244,397	0	1,675,131	10,532,662	79.5	2,491,192	8,261,888	62.4
所有者不明土地管理特別会計	342,974	223,491	119,483	△ 13,876	187,279	54.6	85,541	108,064	31.5
沿岸漁業改善資金特別会計	183,365	183,365	0	2	182,147	99.3	2	182,147	99.3
中央卸売市場事業特別会計	468,956	468,956	0	45,328	379,164	80.9	53,135	361,565	77.1
林業改善資金特別会計	15,849	15,849	0	0	501	3.2	0	501	3.2
中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計	3,588,173	3,588,173	0	3,121,362	3,577,620	99.7	3,122,906	3,576,753	99.7
宜野湾整備事業特別会計	419,894	419,894	0	149,413	414,513	98.7	149,413	414,513	98.7
国際物流拠点産業集積地域那覇地区特別会計	1,749,814	1,749,814	0	113,313	1,702,187	97.3	113,313	1,702,187	97.3
産業振興基金特別会計	344,154	344,154	0	△ 3,678	330,990	96.2	12,474	206,800	60.1
中城湾港（新港地区）整備事業特別会計	798,417	798,417	0	499,740	697,343	87.3	262,429	446,381	55.9
中城湾港マリン・タウン特別会計	1,387,126	1,387,126	0	1,035,558	1,339,291	96.6	1,023,209	1,326,670	95.6
駐車場事業特別会計	166,890	166,890	0	58,213	160,624	96.2	101,283	160,624	96.2
中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計	515,475	515,475	0	408,705	459,744	89.2	408,705	459,744	89.2
公債管理制度特別会計	80,102,597	80,102,597	0	42,364,045	80,039,403	99.9	42,364,045	80,039,403	99.9
合 计	104,898,537	104,779,054	119,483	49,670,593	101,420,316	96.7	50,401,637	98,324,576	93.7

(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

第41表 平成27年度特別会計歳出予算の執行状況（3月末現在）

(過年度) (単位：千円、%)

会 計 名	予算現額 (A)	配当済額 (B)	配当未済額 (C)	支出負担行為済額			支出額	
				本月分 (D)	累計 (E)	執行率 (F)	本月分 (G)	累計 (H)
農業改良資金特別会計	0	0	0	0	0	0.0	0	0
小規模企業者等設備導入資金特別会計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
中 小 企 業 振 興 資 金 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
下 地 島 空 港 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
母 子 父 子 寡 暮 福 福 社 資 金 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
下 水 道 事 業 特 別 会 計	3,117,436	3,117,436	0	△ 295	3,100,705	99.5	374,655	2,708,691
所 有 者 不 明 土 地 管 理 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
沿 岸 漁 農 改 善 資 金 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
中 央 銀 売 市 場 事 業 特 別 会 計	644,501	644,501	0	0	590,073	91.6	0	590,073
林 業 改 善 資 金 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
中 城 湾 港 (新港地区) 臨 海 部 地 造 成 事 業 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
宜 野 湾 港 整 備 事 業 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
国 際 物 流 基 地 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
那 產 業 振 興 基 金 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
中 城 湾 港 (新港地区) 整 備 事 業 特 別 会 計	189,619	189,619	0	0	158,581	83.6	0	158,581
中 城 湾 港 マ リ ン ・ タ ウ ン 特 別 会 計	408,786	408,786	0	5,208	332,419	81.3	18,950	282,520
駐 車 場 事 業 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
中 城 湾 港 (泡瀬地区) 臨 海 部 地 造 成 事 業 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
公 廉 管 理 特 別 会 計	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
合 计	4,360,342	4,360,342	0	4,913	4,181,778	95.9	393,605	3,739,865
								85.8

(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

11 平成27年度下半期の公営企業等の業務状況

(1) 沖縄県病院事業の業務状況

平成27年度下半期（平成27年10月1日から平成28年3月31日まで）県立病院の業務状況については、次のとおりです。

ア 事業の概況

(7) 業務の状況

県立病院事業は6病院（一般病院5、精神病院1）及び16か所の診療所を運営し、地域医療の確保に努めています。また、県民の要望する医療ニーズに対応するため、施設の整備充実についても引き続き努力しています。
下半期の建設改良事業についても引き続き努力しています。
精和病院におけるリハビリ棟空調設備改修工事が27年度末までに完了しています。
また、八重山病院における新八重山病院施設整備事業は平成29年度完了予定です。
なお、八重山病院における新八重山病院施設改良事業の詳細は、次表のとおりです。

(表1) 平成27年度下半期建設改良事業

事業名		契約金額	契約年月日	完了了定期日	契約年月日	完了了定期日	契約年月日	完了了定期日	契約年月日
1 県立八重山病院	新八重山病院施設整備事業	9,997,252,040	平成28年1月8日	平成29年12月27日					
2 県立北部病院	無停電電源装置更新工事	22,680,000	平成27年9月30日	平成28年3月8日					
3 県立精和病院	リハビリ棟空調設備改修工事	12,830,400	平成27年9月4日	平成27年11月10日					

(注) 北部、八重山病院の本院外来患者延数には巡回診療も含む。

（表2）患者の状況

（単位：人、%）

病院名	入院患者数	外来患者数	延長	計	1日平均患者数			外来	120日	456	691	74.8
					入院	183日	235					
北部病院	43,035	54,686		97,721	49,457	92,492	235	412	647	44	44	94.6
本診療所	43,035	—	5,229	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中部病院	94,945	114,840		209,785	519	957	1,476	1,465	1,465	1,465	1,465	94.6
本診療所	94,945	113,548		208,493	519	946	1,476	1,476	1,476	1,476	1,476	94.6
・南北医療センター・こども医療センター	73,300	87,655		160,365	401	730	1,131	1,131	1,131	1,131	1,131	93.2
本診療所	73,300	74,522		147,822	401	621	1,022	1,022	1,022	1,022	1,022	93.2
古病院	—	13,133		13,133	—	109	109	109	109	109	109	81.4
本診療所	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—
八重山病院	45,014	64,479		109,493	246	537	783	783	783	783	783	81.4
本診療所	45,014	61,969		106,983	246	516	762	762	762	762	762	81.4
本診療所	—	2,510		2,510	—	21	21	21	21	21	21	62.1
本診療所	40,998	59,034		100,032	224	492	716	716	716	716	716	62.1
本診療所	40,998	51,708		92,706	224	431	635	635	635	635	635	62.1
精神科病院	—	7,326		7,326	—	61	61	61	61	61	61	62.1
本診療所	36,483	15,617		52,100	199	130	330	330	330	330	330	80.2
合計	333,775	396,311		730,086	1,824	3,302	5,126	5,126	5,126	5,126	5,126	82.8
本診療所	333,775	366,821		700,596	1,824	3,056	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	82.8
本診療所	—	29,490		—	—	246	246	246	246	246	246	82.8

(4) 患者の状況

下半期における入院患者延数は333,775人で、1日平均入院患者数1,824人、病床利用率は82.8%となっています。また外来患者延数は396,311人（病院366,821人、診療所29,490人）で、1日平均外来患者数3,302人（病院3,056人、診療所246人）となっています。これを病院別にみると次表のとおりです。

(注) 北部、八重山病院の本院外来患者延数には巡回診療も含む。

（表3）職員の状況

（単位：人）

年度	職種	医師	薬剤師	放射線技師	臨時鍼灸師	その他技術員	看護師	准看護師	事務職	その他職員	計
平成26年度	341	59	72	106	107	1,747	12	17	159	35	2,655
平成27年度	340	60	73	106	125	1,742	8	17	157	36	2,664
増減	△ 1	1	1	0	18	△ 5	△ 4	0	△ 2	1	9

ウ 経理の状況

(7) 経理の概要
C 資本的支出の財源として借り入れた企業債の状況は、次表のとおりです。

(表 6) 企業債の状況

(表 6) 企業債の状況

種 類	既借入額	平成22年度		償還額	未償還額
		同額	借入額		
財政融資資金	63,146,466,200		0	0	43,798,186,714
郵便貯金資金	692,000,000		0	0	692,000,000
簡易生命保険積立金	621,000,000		0	0	(8,665,478)
地方公営企業等金融機関	10,342,100,000	2,474,700,000	1,858,800,000	4,191,951,297	6,150,148,703
その他	19,676,700,000		0	0	15,694,713,904
計	94,478,266,200	2,474,700,000	1,858,800,000	64,714,083,838	29,764,182,362

(注) 債務清済額中()は内訳で、平成22年度下半期償還額である。

(表 4) 収益と費用の状況 (H27下半期)

区分	(A) 収 益			(B) 費 用			差引 (A)-(B)	患者一人一日当り 収益 費用	差引
	医療収益	医療外 収益	計	医療費用	医療外 費用	計			
	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
北 部	2,652,904	399,006	3,051,907	3,166,048	176,677	3,494,725	△ 442,818	31,231	36,762
中 部	7,681,714	1,685,976	9,367,690	9,569,517	533,368	10,102,885	△ 735,195	44,941	48,469
医療法人	6,501,428	1,710,276	8,211,704	8,424,271	436,439	8,860,710	△ 589,006	51,391	55,651
宮 古	2,606,963	545,702	3,152,725	3,695,549	242,236	3,937,785	△ 785,060	28,794	36,964
八重山	2,324,739	547,441	2,872,171	3,134,521	158,071	3,292,592	△ 420,421	28,713	32,915
精 和	736,390	78,678	865,068	1,414,096	52,684	1,466,780	△ 601,712	16,604	28,153
県立病院課	12	72,328	72,340	350,857	△ 251,166	99,701	△ 27,301	—	—
計	22,614,138	5,039,407	27,653,905	29,904,859	1,350,319	31,255,178	△ 3,601,573	37,947	42,889
(注) 1 医療外収益には特別会員を含む。 2 医療外費用には特別会員によるものである。 3 収益及び費用の△の数値は決算時ににおける部分によるものである。									

a 収益的収入及び支出の状況
下半期における収益、費用の状況は、次表のとおりです。

b 資本的収入及び支出の状況
下半期における収入及び支出の状況は、次表のとおりです。

(表 5) 資本的収入及び支出の状況 (H27下半期)

全 業 他 会 計 負 担 金	收 入			支 出			未償還額
	債 金	1,858,800,000	建 設 改 良	費 用	企 業 債 金	償 還 金	
国 庫 補 助 金	1,570,065,000	197,570,000	借 入 金	企 業 債 金	償 還 金	企 業 債 金	1,202,917,450
寄 付 金	0	0	借 入 金	企 業 債 金	償 還 金	企 業 債 金	1,577,799,035
固 定 資 産 光 却 代 金	8,066,500	8,066,500	計	企 業 債 金	償 還 金	企 業 債 金	400,000,000
計	3,634,501,500	3,634,501,500	計	企 業 債 金	償 還 金	企 業 債 金	3,240,716,485

(注) 債務清済額中()は内訳で、平成22年度下半期償還額である。

種 類	既借入額	平成22年度		償還額	未償還額
		同額	借入額		
財政融資資金	63,146,466,200		0	0	43,798,186,714
郵便貯金資金	692,000,000		0	0	692,000,000
簡易生命保険積立金	621,000,000		0	0	337,231,923
地方公営企業等金融機関	10,342,100,000	2,474,700,000	1,858,800,000	4,191,951,297	6,150,148,703
その他	19,676,700,000		0	0	15,694,713,904
計	94,478,266,200	2,474,700,000	1,858,800,000	64,714,083,838	29,764,182,362

種 類	既借入額	平成22年度		償還額	未償還額
		同額	借入額		
財政融資資金	63,146,466,200		0	0	43,798,186,714
郵便貯金資金	692,000,000		0	0	692,000,000
簡易生命保険積立金	621,000,000		0	0	(8,665,478)
地方公営企業等金融機関	10,342,100,000	2,474,700,000	1,858,800,000	4,191,951,297	6,150,148,703
その他	19,676,700,000		0	0	15,694,713,904
計	94,478,266,200	2,474,700,000	1,858,800,000	64,714,083,838	29,764,182,362

種 類	既借入額	平成22年度		償還額	未償還額
		同額	借入額		
財政融資資金	63,146,466,200		0	0	43,798,186,714
郵便貯金資金	692,000,000		0	0	692,000,000
簡易生命保険積立金	621,000,000		0	0	(8,665,478)
地方公営企業等金融機関	10,342,100,000	2,474,700,000	1,858,800,000	4,191,951,297	6,150,148,703
その他	19,676,700,000		0	0	15,694,713,904
計	94,478,266,200	2,474,700,000	1,858,800,000	64,714,083,838	29,764,182,362

種 類	既借入額	平成22年度		償還額	未償還額
		同額	借入額		
財政融資資金	63,146,466,200		0	0	43,798,186,714
郵便貯金資金	692,000,000		0	0	692,000,000
簡易生命保険積立金	621,000,000		0	0	(8,665,478)
地方公営企業等金融機関	10,342,100,000	2,474,700,000	1,858,800,000	4,191,951,297	6,150,148,703
その他	19,676,700,000		0	0	15,694,713,904
計	94,478,266,200	2,474,700,000	1,858,800,000	64,714,083,838	29,764,182,362

種 類	既借入額	平成22年度		償還額	未償還額
		同額	借入額		
財政融資資金	63,146,466,200		0	0	43,798,186,714
郵便貯金資金	692,000,000		0	0	692,000,000
簡易生命保険積立金	621,000,000		0	0	(8,665,478)
地方公営企業等金融機関	10,342,100,000	2,474,700,000	1,858,800,000	4,191,951,297	6,150,148,703
その他	19,676,700,000		0	0	15,694,713,904
計	94,478,266,200	2,474,700,000	1,858,800,000	64,714,083,838	29,764,182,362

(イ) 経理の内容
平成27年度の損益計算書及び貸借対照表は、次のとおりです。

平成27年度 沖縄県病院事業損益計算書
(平成27年 4月 1日から平成28年 3月 31日まで)

支出の部		収入の部	単位：千円
医業費用	50,988,773	医業収益	45,548,547
医業外費用	2,084,230	医業外収益	7,341,532
特別損失	173,418	特別利益	216,779
支出合計	53,246,421		
当期純損失	△ 139,563		
合 計	53,106,858	合 計	53,106,858

平成27年度 沖縄県病院事業貸借対照表
(平成28年 3月 31日)

資産の部		負債・資本の部	単位：千円
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	38,401,230	固定負債	30,706,610
流动資産	17,966,632	流动負債	8,826,333
		繰延収益	12,866,231
		負債合計	52,399,144
		(資本の部)	
		資本金	1,878,555
		剰余金	2,090,053
		資本合計	3,968,608
資産合計	56,367,862	負債資本合計	56,367,862

(2) 沖縄県水道事業の業務状況
平成27年度下半期(平成27年10月から平成28年3月31日まで)の県水道事業の業務
状況は、次のとおりです。

ア 業務の概要

(ア) 事業の状況

企業局の行っている水道事業は、市町村等の水道事業者に対し用水の供給を行う水道用供給事業で、一般需要者への給水は、市町村等の水道事業者が行っています。

a 給水対象者

平成27年度下半期の給水対象者は那覇市ほか20市町村及び1企業団です。

b 給水量

平成27年度下半期の給水量は次のとおりです。

区分	(単位：千m ³)					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給 水 量	12,842	12,558	12,460	12,728	12,175	12,527

区分	(単位：千m ³)					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給 水 量	12,842	12,558	12,460	12,728	12,175	12,527

(イ) 各種工事

a 拡張工事等計画概要
安全で安心な水道用水の安定供給を図るため、沖縄振興公共投資交付金を得て、
水資源の確保、水道用水供給施設の拡張整備、及び老朽化施設の更新を進めています。

水道用水供給施設整備としては、北谷浄水場施設整備工事、名護浄水場施設整備
工事、導送水施設整備工事等を行っています。

イ 経理の状況
 (7) 予算の進捗状況
 平成27年度の下半期の予算執行状況は、以下のとおりとなっています。

b 資本的収入及び支出

a 収益的収入及び支出

収入				（単位：千円）			
区分	予算額	執行額	清算額	区分	予算額	執行額	清算額
水道事業収益	29,456,927	(14,879,041)	29,716,628	△ 259,701			
営業収益	16,540,448	(8,314,715)	16,800,658	△ 260,210			
営業外収益	12,768,059	(6,309,565)	12,631,269	136,790			
特別利益	148,420	(254,761)	284,701	△ 136,281			

（注）（ ）書きは、下半期分で内数である。			
水道事業費用	29,627,267	(13,337,143)	未執行額
営業費用	27,184,928	28,598,042	1,029,225
営業外費用	2,073,190	(11,877,348)	923,104
特別損失	364,149	(1,263,273)	2,073,188
予備費	5,000	(196,522)	263,030

（注）1 （ ）書きは、下半期分で内数である。
 2 収益的支出には、前年度繰越分174,328千円を含む。
 3 次年度への繰越額は、254,582千円である。

支出				（単位：千円）			
区分	予算額	執行額	清算額	区分	予算額	執行額	清算額
水道事業費用	29,627,267	(13,337,143)	未執行額				
営業費用	27,184,928	28,598,042	1,029,225				
営業外費用	2,073,190	(11,877,348)	923,104				
特別損失	364,149	(1,263,273)	2,073,188				
予備費	5,000	(196,522)	263,030	101,119	5,000	0	

（注）1 （ ）書きは、下半期分で内数である。
 2 収益的支出には、前年度繰越分2,732,400千円を含む。
 3 資本的収入額が資本的支出額に不足する5,199,854千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額253,428千円、減債積立金 497,374千円及び過年度分預益勘定留保資金4,419,052千円で補てんした。
 4 次年度への繰越額は、2,584,790千円である。

（注）1 （ ）書きは、下半期分で内数である。
 2 資本的支出には、前年度繰越分2,732,400千円を含む。
 3 資本的収入額が資本的支出額に不足する5,199,854千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額253,428千円、減債積立金 497,374千円及び過年度分預益勘定留保資金4,419,052千円で補てんした。

(1) 損益計算書及び貸借対照表
平成27年度の損益計算書及び貸借対照表は、以下のとおりとなっています。

平成27年度 沖縄県水道事業損益計算書
(平成27年 4月 1日から平成28年 3月 31日まで)

支出の部		収入の部	
営業費用	25,751,393	営業収益	15,556,165
営業外費用	1,603,579	営業外収益	12,630,828
特別損失	254,709	特別利益	284,692
支出合計	27,609,681		
当期純利益	862,004		
合 計	28,471,685		28,471,685

平成27年度 沖縄県水道事業貸借対照表
(平成28年 3月 31日)

資産の部		負債・資本の部	
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	430,917,623	固定負債	67,856,046
流动資産	19,220,690	流动負債	10,595,788
		繰延収益	328,380,924
		負債合計	406,832,758
		(資本の部)	
		資本金	22,465,418
		剰余金	20,840,137
		資本合計	43,305,555
資産合計	450,138,313	負債資本合計	450,138,313

(3) 沖縄県工業用水道事業の業務状況
平成27年度下半期(平成27年10月1日から平成28年3月31日まで)の県工業用水道事業の業務状況は、次のとおりです。

ア 業務の概要
(7) 事業の状況
工業用水道事業は、給水対象地域において工業を営むものに対して工業用水を給水する事業です。

a 給水対象企業等
平成27年度下半期の給水対象企業等は、97事業所です。

b 給水量
平成27年度下半期の給水量は次のとおりです。

月 別		年			(単位:千t)	
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給 水 量	512	496	486	467	470	495

(4) 各種工事

a 拡張事業等計画概要
工業用水道事業は、昭和47年度から拡張事業を進め、平成21年度に施設整備が完了しました。引き続き、工業用水の安定供給を図るため、老朽化した工業用水道施設の計画的な更新を行うこととしており、沖縄振興公共投資交付金を得て東系列導水路トンネルの改築に係る調査等を行っています。

b 平成27年度下半期における主要な建設改良事業

主要な建設改良事業	主な工事(調査)
東系列導水路トシネル改築事業	東系列導水路トシネル対策調査

イ 経理の状況

(7) 予算の進捗状況

平成27年度の下半期の予算執行状況は、以下のとおりとなっています。

収入				(単位：千円)			
区分	予算額	実行額	未執行額	区分	予算額	実行額	未執行額
工業用水道事業収益	687,329	(369,954) 699,052 (146,170)	△ 11,723	資本的収入	80,561	(61,594) 69,573 (3,712)	10,988
営業収益	284,154	296,271 (223,784)	△ 12,117	国庫補助金	14,700	3,712 (7,979)	10,988
営業外収益	403,174	402,775 (0)	399	他会計補助金	15,958	15,958 (49,903)	0
特別利益	1	6	△ 5	投資償還金	49,903	49,903	0

(注) ()書きは、下半期分で内数である。

支出				(単位：千円)			
区分	予算額	実行額	未執行額	区分	予算額	実行額	未執行額
工業用水道事業費用	682,458	(340,321) 659,372 (331,807)	23,086	資本的支出	235,759	(32,125) 218,647 (3,761)	17,112
営業費用	666,571	643,988 (8,514)	22,583	建設改良費	129,448	112,424 (28,364)	17,024
営業外費用	15,386	15,384 (0)	2	企業償償還金	56,310	56,310 (0)	0
特別損失	1	0 (0)	1	国庫補助金返還金	1	0 (0)	1
予備費	500	0	500	投資	50,000	49,913 (87)	

(注) 1 ()書きは、下半期分で内数である。

2 資本的支出には、前年度繰越分101,845千円を含む。

3 資本的収支額が資本的支出額に不足する149,074千円は、当年度分消費税及び建設改良積立金101,352千円及び減債積立金101,309千円で補てんした。

b 資本的収入及び支出

収入				(単位：千円)			
区分	予算額	実行額	未執行額	区分	予算額	実行額	未執行額
資本的収入				資本的支出			
国庫補助金				建設改良費			
他会計補助金				企業償償還金			
投資償還金				国庫補助金返還金			

(注) ()書きは、下半期分である。

支出				(単位：千円)			
区分	予算額	実行額	未執行額	区分	予算額	実行額	未執行額
資本的支出				建設改良費			
建設改良費				企業償償還金			
企業償償還金				国庫補助金返還金			
国庫補助金返還金				投資			

(注) 1 ()書きは、下半期分である。

2 資本的支出には、前年度繰越分101,845千円を含む。

3 資本的収支額が資本的支出額に不足する149,074千円は、当年度分消費税及び建設改良積立金101,352千円及び減債積立金101,309千円で補てんした。

(イ) 損益計算書及び貸借対照表

平成27年度の損益計算書及び貸借対照表は、以下のとおりとなっています。

平成27年度　沖縄県工業用水道事業損益計算書
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

支出の部		収入の部	
営業費用	627,577	営業収益	274,335
営業外費用	17,301	営業外収益	402,774
特別損失	0	特別利益	6
支出合計	644,878		
当期純利益	32,227		
合計	677,105	合計	677,105

平成27年度　沖縄県工業用水道事業貸借対照表
(平成28年3月31日)

資産の部		負債・資本の部	
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	7,029,950	固定負債	676,159
流動資産	772,420	流动負債	179,095
		繰延収益	5,608,749
		負債合計	6,464,003
		(資本の部)	
		資本金	372,541
		剰余金	965,826
資産合計	7,802,370	資本合計	1,338,367
		負債資本合計	7,802,370

発行所
沖縄県総務部
総務私学課
電話番号 098-866-2074

印刷所 文進印刷株式会社
〒901-0306 糸満市西崎町五丁目10番地の14